

2003(平成15)年度

講義内容

教職課程・資格講座

 駒澤大學

講義内容（教職課程・資格講座）

目 次

I 教 職 課 程	9
II 学校図書館司書教諭講座	119
III 社会教育主事講座	127
IV 博物館学講座	145
V 社会福祉主事講座	165

※上記の教職課程および資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりです。
 (履修についての詳細は、『教職課程・資格講座履修要項』を参照すること。)

学部・学科		課程・講座	教職課程	学校図書館司書教諭講座	社会教育主事講座	博物館学講座	社会福祉主事講座
仏 教 学 部			●	●	●	●	●
文 学 部			●	●	●	●	●
経 済 学 部	経済学科フレックス A・商学科		●	●	●		●
	経済学科フレックス B (平成12年度以降入学生)		●	○	○		
	経済学科フレックス B (平成11年度以前入学生)		●				
法 学 部	法律学科フレックス A・政治学科		●	●	●		●
	法律学科フレックス B (平成12年度以降入学生)		●	○	○		
	法律学科フレックス B (平成11年度以前入学生)		●				
経 営 学 部	第1部経営学科・経営学科フレックス A		●	●	●		●
	第2部経営学科 (平成12年度以降入学生)		●	○	○		
	経営学科フレックス B						
	第2部経営学科 (平成11年度以前入学生)		●				

(注意) ○印は、フレックス A の時間帯を履修することにより取得可能。

講義内容（教職課程・資格講座）の配当学科表記について

文学部地理学科地域文化研究専攻
文学部地理学科地域環境研究専攻
文学部地理学科（12年度以前入学生）

は、「地理」でまとめて表記しています。

I 教 職 課 程

I 教 職 課 程

〔フレックスA・第1部〕

(1) 教職に関する科目 (必修)

教 職 入 門	〈藤 木 篤 典〉	9
教 育 の 思 想	〈豊 田 千 代 子〉	10
教 育 の 思 想	〈北 村 三 子〉	11
教 育 の 思 想	〈伊 藤 茂 樹〉	11
教 育 の 思 想	〈萩 原 建 次 郎〉	12
教 育 の 思 想	〈坂 本 信 昭〉	13
教 育 と 社 会	〈豊 田 千 代 子〉	13
教 育 と 社 会	〈北 村 三 子〉	14
教 育 と 社 会	〈伊 藤 茂 樹〉	14
教 育 と 社 会	〈萩 原 建 次 郎〉	15
教 育 と 社 会	〈坂 本 信 昭〉	16
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈大 浜 幾 久 子〉	16
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈川 田 三 夫〉	17
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈山 本 政 人〉	18
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈角 野 善 司〉	18
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈大 浜 幾 久 子〉	19
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈川 田 三 夫〉	20
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈山 本 政 人〉	21
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈角 野 善 司〉	21
教 育 と メ デ ィ ア	〈小 倉 康 仁〉	22
教 育 と メ デ ィ ア	〈石 橋 達 也〉	23
教 育 と メ デ ィ ア	〈芝 崎 順 司〉	24
道 徳 教 育 の 研 究	〈加 藤 幸 夫〉	25
道 徳 教 育 の 研 究	〈関 根 和 夫〉	26
道 徳 教 育 の 研 究	〈井 上 勝 夫〉	27
特 別 活 動	〈加 藤 幸 夫〉	27
特 別 活 動	〈関 根 和 夫〉	28
特 別 活 動	〈井 上 勝 夫〉	29
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈小 宮 山 要〉	29
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈目 良 秋 子〉	30
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈佐 藤 尚 人〉	30
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈遠 藤 司〉	31
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈川 原 誠 司〉	31
教 育 臨 床	〈小 宮 山 要〉	32
教 育 臨 床	〈目 良 秋 子〉	33
教 育 臨 床	〈佐 藤 尚 人〉	33
教 育 臨 床	〈遠 藤 司〉	34
教 育 臨 床	〈川 原 誠 司〉	34
総 合 演 習 (1) [障 害 児 と 教 育]	〈遠 藤 司〉	35
総 合 演 習 (2) [障 害 児 と 福 祉]	〈遠 藤 司〉	35
総 合 演 習 (3) [環 境 教 育]	〈北 村 和 夫〉	36
総 合 演 習 (4) [近 代 社 会 と 身 体]	〈北 村 和 夫〉	36
総 合 演 習 (5) [対 人 関 係 と ス ト レ ス]	〈川 原 誠 司〉	37
総 合 演 習 (6) [学 校 に お け る 対 人 関 係]	〈川 原 誠 司〉	37
総 合 演 習 (7) [精 神 障 害 者 と 地 域]	〈野 中 弘 敏〉	38

総合演習(8)〔精神障害者とボランティア〕	〈野中弘敏〉	38
総合演習(9)〔教育と法律〕	〈広沢明〉	39
総合演習(10)〔子どもの人権〕	〈広沢明〉	39
総合演習(11)〔生と死の教育〕	〈柳堀素雅子〉	40
総合演習(12)〔生命倫理〕	〈柳堀素雅子〉	41
総合演習(13)〔現代的学习課題とジェンダー〕	〈高井葉子〉	41
総合演習(14)〔学校教育におけるジェンダー〕	〈高井葉子〉	42
総合演習(15)〔持続可能性と技術〕	〈北村三子〉	42
総合演習(16)〔豊かさの多様性〕	〈北村三子〉	43
総合演習(17)〔現代家族の諸問題と教育〕	〈鈴木朋実〉	43
宗教科教育法	〈小山一乗〉	44
国語科教育法	〈神谷道倫〉	45
書道科教育法	〈那須隆吉〉	45
英語科教育法	〈佐藤真二〉	46
地理歴史科教育法Ⅰ	〈生田清人〉	46
地理歴史科教育法Ⅱ	〈生田清人〉	47
地理歴史科教育法Ⅰ	〈小池とみ子〉	48
地理歴史科教育法Ⅱ	〈小池とみ子〉	48
地理歴史科教育法Ⅰ	〈藤木正国〉	49
地理歴史科教育法Ⅱ	〈藤木正国〉	49
公民科教育法Ⅰ	〈橋爪敏〉	50
公民科教育法Ⅱ	〈橋爪敏〉	50
公民科教育法Ⅰ	〈谷敷正光〉	51
公民科教育法Ⅱ	〈谷敷正光〉	52
公民科教育法Ⅰ	〈小川輝之〉	53
公民科教育法Ⅱ	〈小川輝之〉	53
社会科教育法Ⅰ	〈中明敏康〉	54
社会科教育法Ⅱ	〈中明敏康〉	54
社会科教育法Ⅰ	〈小川輝之〉	55
社会科教育法Ⅱ	〈小川輝之〉	55
社会科教育法Ⅰ	〈二井正浩〉	56
社会科教育法Ⅱ	〈二井正浩〉	56
商業科教育法	〈谷敷正光〉	57
職業科教育法	〈前田幸一〉	58
教育実習Ⅰ・Ⅱ	〈豊田千代子〉	58
教育実習Ⅰ・Ⅱ	〈坂本信昭〉	59
教育実習Ⅰ・Ⅱ	〈萩原建次郎〉	59
教育実習Ⅰ・Ⅱ	〈北村三子〉	60
教育実習Ⅰ・Ⅱ	〈伊藤茂樹〉	60
教育実習Ⅰ・Ⅱ	〈遠藤司〉	61

(2) 教科又は教職に関する科目〔平成12年度以降入学生〕

教職に関する科目〔平成11年度以前入学生〕

教育関係法規	〈広沢明〉	62
教育評価	〈大浜幾久子〉	62
教育哲学	〈北村三子〉	63
教育情報学	〈小倉康仁〉	63
教育臨床心理学	〈小野けい子〉	64
教育社会学	〈伊藤茂樹〉	64
教育史	〈山本敏子〉	65

教育調査	〈鈴木規夫〉	65
芸術教育	〈古関すま子〉	66
現代社会の諸問題と教育Ⅱ	〈鈴木朋実〉	66
青少年問題研究	〈讃岐真佐子〉	67
宗教教育	〈小山一乗〉	68
生涯学習概論Ⅰ	〈豊田千代子〉	68
生涯学習概論Ⅱ	〈豊田千代子〉	68
視聴覚教育	〈佐野博彦〉	68
社会教育施設	〈萩原建次郎〉	69
学校経営と学校図書館	〈山田節子〉	69
読書と豊かな人間性	〈山田節子〉	69
学校図書館メディアの構成	〈源昌久〉	69
学校図書館メディアの構成	〈篠田耀子〉	69
情報メディアの活用	〈源昌久〉	69
情報メディアの活用	〈篠田耀子〉	69
学習指導と学校図書館	〈山田節子〉	69

(3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

東洋思想史	〈末木恭彦〉	70
民間信仰論	〈谷口貢〉	70
人文地理学概説	〈小池とみ子〉	71
人文地理学概説	〈高橋健太郎〉	71
自然地理学概説	〈高木正博〉	72
自然地理学概説	〈早船元峰〉	72
地誌学概説	〈川元豊和〉	73
地誌学概説	〈新井祥穂〉	74
地誌学概説	〈橋詰直道〉	75
日本仏教史	〈松本信道〉	75
歴史哲学	〈山口祐弘〉	76
日本史概説	〈出口宏幸〉	76
日本史概説	〈小松寿治〉	77
世界史概説	〈井村行子〉	77
世界史概説	〈渡辺源樹〉	78
社会学原論	〈渡辺源樹〉	79
宗教人類学	〈佐藤憲昭〉	80
経済原論	〈阿部弘〉	81
経済原論	〈畠中貴〉	82
経済原論	〈浅野克巳〉	83
経済原論	〈荒木勝啓〉	84
経済原論	〈小野哲司〉	85
民法学Ⅰ	〈大宮官隆〉	86
政治学原論	〈井戸正伸〉	87
日本宗教文化史	〈小川順敬〉	88
民衆宗教成立史	〈津城寛文〉	88
宗教学概説	〈池上良正〉	89
宗教学概説	〈洗城寛文〉	89
宗教学概説	〈津城寛文〉	90
哲学概説	〈末木恭彦〉	90
哲学概説	〈中村友太郎〉	91

倫理学概説	〈河谷淳〉	91
【職業】		
産業界概説	〈前田幸一〉	92
職業業指	〈前田幸一〉	92
商業業実	〈前田幸一〉	93
農業業実	〈古沢紘造〉	93
【商業】		
職業業指	〈前田幸一〉	93

〔フレックスB・第2部〕

(1) 教職に関する科目 (必修)

教職入門	〈藤木篤典〉	94
教育の思想	〈伊藤茂樹〉	95
教育と社会	〈伊藤茂樹〉	95
発達と学習の心理学	〈川田三三夫〉	96
カリキュラムと学習	〈川田三三夫〉	97
教育とメディア	〈石橋達也〉	98
道徳教育の研究	〈山田忠行〉	99
特別活動	〈山田忠行〉	99
生徒指導論 (進路指導を含む)	〈遠藤藤司〉	100
教育臨床	〈遠藤藤司〉	100
総合演習(1) [障害児と教育]	〈遠藤藤司〉	101
総合演習(2) [子供・自然・家庭]	〈山本敏子〉	101
教育実習 I・II	〈伊藤茂樹〉	102
社会科教育法 I	〈中明敏康〉	102
社会科教育法 II	〈中明敏康〉	103
公民科教育法 I	〈谷敷正光〉	104
公民科教育法 II	〈谷敷正光〉	105
商業科教育法	〈谷敷正光〉	106
職業科教育法	〈前田幸一〉	107

(2) 教科に関する科目

日本史概説	〈北條文彦〉	108
世界史概説	〈松本弘〉	108
地誌学概説	〈川元豊和〉	109
地誌学概説	〈渡邊盾夫〉	109
人文地理学概説	〈渡邊盾夫〉	110
宗教学概説	〈田中かの子〉	110
宗教学概説	〈須藤寛人〉	111
哲学概説	〈河谷淳〉	111
政治学概原	〈大河塚桂〉	112
産業界概説	〈前田幸一〉	113
商業業実	〈前田幸一〉	113
農業業実	〈古沢紘造〉	114
職業業指	〈前田幸一〉	114

[フレックスA・第1部]

(1) 教職に関する科目 (必修)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 職 入 門 (後期)	ふじ 藤 木 篤 典	12以降入学生/教職1必	2

講義のねらい

高度消費社会のもと、国際化・情報化の進展の中で、過密・過疎、少子化による人間関係への影響、近年の不況等が及ぼす多様化した生徒をどう教育するか。日本の教育界は価値観の多様化で多くの問題を抱えている。

それらの問題を解決するための力量が教師に求められる。制度面でも多様な高校（通信制、昼夜間定時制、全・定単位制、総合学科）が設立されている。

この講義では、教師になるための勉強の第一歩として、知ってほしいことを学びます。生徒は、教師の接し方、アドバイス等で大きく変化します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教員免許状と学校
- ・教育課程の成立
- ・特別教育活動
- ・学校行事
- ・教育相談
- ・特色ある学校
- ・採用試験
- ・勤務条件と身分
- ・指導面：各教科、選択科目・種目 単位・科目の成立 板書の工夫
- ・教育内容：知・徳・体育 教育目標 禁止される教育
- ・教育方法
- ・制限・禁止されるもの—校内委員会
セクシャルハラスメント 両性の平等性・人種・民族・出自による差別
- ・地域との関係：学校評議員制度
- ・関係団体：PTA 同窓会 後援会
- ・研修：内地留学制度 校外での研修
- ・その他：ジェンダー 国際交流 障害児教育
- ・生徒指導：生徒の身分に変化のあるもの

成績評価の方法

出席点とレポート等の提出による評価

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 (前期)	とよ ちよこ 豊 田 千代子	教職2必 (禅・仏教・国文)	2

※経 B・法 B・営 B (12年度以降入学生) も履修できます。

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった(第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった)という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック(本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942)は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読んでみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点とレポートにより成績評価を行なう。

教 科 書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』(ほるぷ出版)

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きたむらみつ 北村三子	教職2必(禅・仏教・ 国文・英文・地理・歴史)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したものうち、代表的なものを取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周辺的だった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。

教科書

J, デューイ『学校と社会』(岩波文庫)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	いとうしげ 伊藤茂樹	教職2必(地理・歴史・社会・福祉・ 心理・経A・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・近代社会と教育
 - ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	はぎ わら けん じろう 萩原 建次郎	教職2必(英米文・ 福祉・心理・経A・商)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

この授業を通し、「私」とのかかわりにおいて「学ぶこと」「生きること」をとらえ直す機会をもちたい。そのために自らの学校教育体験を、人間形成の大きな流れ、ライフサイクルという視点から問い直すこと。そこから、自らの学校教育体験に依拠しながら暗黙のうちに意味付けてしまっている「教育」や「学習」について相対化する視点と感性を養いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①学習体験をふりかえる－「学び」のマップづくり
- ②人間形成のプロセスをふりかえる1－私のライフライン
- ③人間形成のプロセスをふりかえる2－「学び」の自分史
- ④人間形成のプロセスを考える－ライフサイクル論の検討
- ⑤人間形成に関わる「重要な他者」を考える－子育てエージェントの歴史と現状
- ⑥あらためて私・学校・教育・学習を考える

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業への積極的な参加姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

とくに使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	坂本信昭 <small>さかもと のぶ あき</small>	教職2必(商・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円

参考書等

J, デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	豊田千代子 <small>とよ た ちよこ</small>	教職2必(禪・仏教・国文)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。また、障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点とレポートにより成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	北村三子 <small>きたむらみつこ</small>	教職2必(禪・仏教・ 国文・英米文・地理・歴史)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①近代学校システムの特徴……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……教育に関する具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価します。

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	伊藤茂樹 <small>いとうしげき</small>	教職2必(地理・歴史・社会・福祉・ 心理・経A・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	はぎ わら けんじろう 萩原 建次郎	教職2必(英米文・ 福祉・心理・経A・商)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者(子ども・友人・親・先生など)とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり場」へ－』(学陽書房) 3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』(萌文社)
ロジャー・ハート著『子どもの参画』(萌文社)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	さか もと のが あき 坂 本 信 昭	教職2必(商・ 法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなる時、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おお はま きく こ 大 浜 幾 久 子	教職2必(理・仏教・国文・英文・ 経A・商法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	かわ だ みつ お 夫 川 田 三 夫	教職2必(経A・商・ 法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史的変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもとまさと 山本政人	教職2必(地理・歴史・社会・福祉・ 心理・経A・商・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②発達の要因
- ③発達理論
- ④人格発達
- ⑤認知発達
- ⑥学習理論
- ⑦学習の要因
- ⑧発達と学習
- ⑨発達と教育
- ⑩発達・学習と臨床

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	すみのぜんじ 角野善司	教職2必(簿・仏教・国文・ 地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

教育心理学は、教育場面に対して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習、および教育評価に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたってのヒントにしてほしいと願っています。

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で、受講を希望する人は受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出题して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めません。ですから、欠席すればもちろんのこと、出席していても講義をしっかり聴いていなければ、単位取得が難しくなります。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大 浜 幾久子	12以降入学生/教職2必 (禰・仏教・国文・英米文・ 経A・商・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	12以降入学生/教職2が (経A・商・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

- 1) 教授-学習過程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習(教育)をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育学・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史の変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程(学校教育の基本について)
- 8) 教授-学習過程(学習指導、学級集団、生徒指導)
- 9) 教育評価の歴史の変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領(改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等)
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題(授業時間、教科書、教科書検定、等)
- 13) その他(教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等)
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

ない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	やまもと まさ と 山 本 政 人	12以降入学生/教職2必 (地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

児童・生徒の学習のメカニズムを踏まえ、学習指導とカリキュラムのあり方、学習の評価、学習の障害とその指導、教育相談等について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

①学習のメカニズム ②学習と動機づけ ③学習方法 ④学習の評価 ⑤学習の障害と指導
⑥不適応の心理と教育 ⑦教育相談 ⑧学級集団 ⑨カリキュラムと学習 ⑩教師の役割

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

そ の 他

講義形式を中心とするが、可能ならば討論を行いたい。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。前期、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	すみ の ぜん し 角 野 善 司	12以降入学生/教職2必 (福・仏教・国文・英文文・ 地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

この科目では、カリキュラム編成を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。自分が受けてきた教育がどのようなカリキュラムに則って行われていたのかを省みつつ、これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で、受講を希望する人は受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めません。ですから、欠席すればもちろんのこと、出席していても講義をしっかり聴いていなければ、単位取得が難しくなります。

教 科 書

『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領解説 総則編』
講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参 考 書 等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

そ の 他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期)(後期)	小倉 康 仁 <small>くら やす よし</small>	教職2,3必(禅仏教・国文・英・文・ 地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

ここ十年あまりの間に、コンピュータ関連技術のめざましい進歩と同時に、我々とコンピュータとの係わり合いの在り方が以前と比べて様変わりしてきている。かつてルーティンワークの省力化・効率化の手段として我々の社会に導入されたコンピュータは、今や個人の表現・創造活動や問題解決思考のツール(道具)として不可欠のものとなっている。しかもそれらの活動を行うための単なる道具的手段に止まるものではなく、我々がそれらの活動を通じてこの世界に参加していく(世界と相互作用する)際のメディア(媒介物・媒体)としての役割を果たしていると言える。とくに最近では、個人と個人の間を取り持ち人間のネットワークを支える「コミュニケーションのメディア、コラボレーション(協働作業)のメディアとしてのコンピュータ」という位置づけが重要視されるようになってきている。

このようなコンピュータの利用形態と社会的位置づけの変化を背景として、教育分野におけるコンピュータ活用形態も大幅に変化してきている。そこでこの授業のねらいは、次の二つとする。

1. 教育分野におけるコンピュータの様々な利用形態を概観し、メディアとしてのコンピュータの活用方法について、教育学(教育方法論)の視点から理論的に考察する。
2. 問題解決思考のツール(メディア)としてコンピュータを利用してみる。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせることで授業を進める。実習部分の授業内容として、具体的には以下の事項を予定している。(なお実習授業の進行速度はパソコン初心者でも付いて来られるように配慮するつもりである。)

表計算ソフト EXCEL によるデータ整理・集計・分析、およびシミュレーション
インターネット(WWW)上での情報検索・収集-リンク集や検索エンジンの使い方など

履修上の留意点

授業内容に関する質問をEメールでも受け付ける予定なので、個人のメールアドレスを持っていない人はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。

成績評価の方法

平常点(出席、学習態度、提出物など)と期末試験(ペーパーテスト)との総合点によって、成績評価を行なう。

教 科 書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

参 考 書 等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

そ の 他

コンピュータ教室の収容人員の制約から履修者数の調整をする(履修時期を変更してもらう)場合があるので、前期履修あるいは後期履修を問わず履修希望者は必ず前期の第1回目授業に出席してエントリーシートに登録すること。当日やむを得ない事情で出席できない人は、知人友人等に登録を委託すること。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育とメディア (前期)(後期)	石橋達也 <small>いし ばし たつ や</small>	教職2・3必(全学科) 営B(1以前入学生)除く	2

講義のねらい

本授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育／学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な操作や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の注意点や問題点についても検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会の参加態度など。

履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、毎回まじめに出席することと授業に積極的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

参考書等

授業の中で必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく予定です。

その他

授業の中で、毎回コンピュータを使用する実習時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも積極的な「学ぶ意欲」があれば、安心して学習していけるはずですが、教室のパソコンの台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、学部（昼間）の後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期)(後期)	しば さき じゆん じ 芝 崎 順 司	教職2・3必(全学科) 営B(11以前入学生)除く	2

講義のねらい

本講義は、マルチメディア・ネットワーク時代の学校教育・社会教育等教育活動の担い手として、さらには、生涯学習者として、必須と思われる各種のリテラシー（知識・技能・態度）を修得する目的や方法論について検討することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 メディアの歴史を概観し、現状、および将来の展望について検討する。
- 2 学校教育・社会教育におけるマルチメディア・ネットワーク利用の目的・方法について具体的に検討する。
- 3 マルチメディア・ネットワークに対応する各種のリテラシーについて、主として、欧米の先行的事例を紹介し、かつ、検討する。
- 4 マルチメディア・ネットワークワークリテラシープログラムを具体的に体験し、自己の情報リテラシーを高めるとともに、その目的や方法論について検討する。

履修上の留意点

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を多く取り入れる。現在進行中の内容を扱うため、問題提起にならざるをえない内容も多く含む。授業への積極的参加を期待する。

成績評価の方法

出席重視。評価は小レポートと最終レポートを総合的に評価しておこなう。

教 科 書

授業中に紹介する。

参 考 書 等

必要に応じて、授業中に紹介する。

そ の 他

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を中心とする。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究(前期)	かとう ゆきお 加藤 幸夫	教職2・3必 (地理・歴史・経A・商)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

道徳教育の問題は、単に学校教育だけの問題ではなく、子どもを取り巻く社会生活全体に係わる問題である。すなわち、時代や社会の変化の中で、人間(子ども)はいかに生きるべきかという課題と密接に関連している。それ故、道徳教育の研究においては、道徳性の原理的追究と学校教育における実際の側面を精確に把握することが常に求められる。

このような視点に立って、人間形成における道徳教育の位置づけを明確にし、且つ、道徳教育の歴史の変遷を概観しながら、現代における道徳教育の基本的課題を分析・考察することが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 道徳および道徳教育の本質
2. 現代社会と道徳教育
3. 戦前・戦後における道徳教育
4. 道徳性の発達と道徳教育
5. 学習指導要領と道徳教育
6. 道徳の時間における道徳教育
7. 道徳教育の評価
8. 道徳教育の課題と展望

履修上の留意点

これまで各自が受けた道徳教育を想い起こし、整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

教科書

中野目直明・小川一郎編『新しい道徳教育』(酒井書店・育英堂) 1,995円

参考書等

岩村俊郎・志村欣一・他編『資料 道徳教育の研究』(北樹出版)

その他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道徳教育の研究(前期)	せき ね かず お 夫 関 根 和 夫	教職2・3必 (国文・英米文・法A・政治)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

この授業では、今日の教育における大きな課題として、教育課程に位置付けられている「道徳」の教育的意義や目標、内容及び指導方法等について講義をするものである。文献等に基づく理論的な研究だけでなく、レポート、学習指導案の作成、模擬授業の実施等を通して、現場における実践に役立つ指導力を身につけさせることをねらいとしている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①道徳教育の本質と意義
- ②戦前と戦後の道徳教育の特色
- ③教育改革の動向と心の教育
- ④道徳の時間の指導内容
- ⑤道徳の時間の指導の実際—その1—
- ⑥道徳の時間の指導の実際—その2—
- ⑦道徳の時間の学習指導案の書き方
- ⑧道徳の時間の模擬授業の実施
- ⑨道徳の時間の授業展開における問題点
- ⑩道徳の時間の資料の開発と活用
- ⑪道徳教育の評価と道徳的実践力
- ⑫今後における道徳教育の課題と展望

履修上の留意点

授業においては、レポートの提出、ディベート、ロールプレイ、模擬授業の実施等学生諸君の出番があるので、それらに対して積極的に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席状況、レポート、授業における参加状況、学習指導案の提出等を総合的に判断して評価する。

教 科 書

小川一郎・中野目直明編著『新しい道徳教育』(酒井書店) <第2版>1,900円

参 考 書 等

七條正典編著『改訂・中学校学習指導要領の展開』・道徳編・(明治図書)1,480円

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究(前期)	井上 勝 <small>いのうえ まさる</small>	教職2・3必(禅・仏教・社会・福祉・心理・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

21世紀の社会は変化の激しい社会であり、この変化の激しい社会の中で、他人と協調しつつ、主体的で自律的な社会生活を営み、自己実現を図ることのできる人間を育成すること、すなわち、「生きる力」を育成することが、今日の学校教育に課せられた課題である。そして、「生きる力」を育成する教育の中心となるものが心の教育であり、道徳教育である。

本講義では、新学習指導要領の道徳の趣旨に沿って、道徳教育の基本的な在り方やその目標及び内容について原理的に理解するとともに、他方、生徒の発達課題に即した道徳の時間の指導計画や指導方法について具体的、体験的に理解し、教師として必要な実践的な指導力を身につけることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1, 「生きる力」の育成と道徳教育 | 5, 道徳の時間の指導とその実際 |
| 2, 道徳教育の基本的な在り方 | 6, 道徳の時間の指導案作成の要点 |
| 3, 道徳の目標と内容 | 7, 全教育活動における道徳教育の在り方 |
| 4, 道徳の指導計画 | 8, 道徳教育の評価 |

履修上の留意点

道徳教育に関する広い視野を養うとともに、具体的な指導の内容及び方法について理解し、実践的な指導力を身につけて欲しい。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、授業中に提出するレポート、出席状況等で総合的に評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編一』(財務省印刷局) 260円

参考書等

その都度、紹介する。

その他

講義内容に即して、様々な授業方法を採用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
特別活動(後期)	加藤 幸夫 <small>かとう ゆきお</small>	教職2・3必(地理・歴史・経A・商)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

登校拒否やいじめ・非行など学校の内外を取り巻く諸問題が社会的問題となりつつある今日、児童・生徒の自主的・実践的態度を育成することを主なねらいとする特別活動が、現代の学校教育において果たすべき役割は誠に重要である。

教育現場において、これまで開発・展開されてきた特別活動の指導原理及びその方法について分析かつ考察し、特別活動の現代的意義と課題を明確にすることが本講の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) 学校教育の構造と特別活動 | (2) 児童会・生徒会活動の指導 |
| (3) 特別活動の歴史の変遷 | (4) クラブ活動・部活動の指導 |
| (5) 特別活動の特質と内容 | (6) 学校行事の意義と課題 |
| (7) 学級活動 | (8) 特別活動の評価 |
| (9) ホームルーム活動 | (10) 特別活動の課題と展望 |

履修上の留意点

小・中・高校時代に受けた特別活動の内容を整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

教科書

中野目直明・小川一郎 編『現代の特別活動』(酒井書店・育英堂)

参考書等

柴田義松 編『特別活動』(教職課程講座・第6巻)(ぎょうせい)

その他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 (後 期)	せき ね かず お 夫 関 根 和 夫	教職2・3必 (国文・英米文・法A・政治)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

特別活動が人間形成に果たす役割は極めて大きい。とりわけ「ゆとり」の中で「生きる力」を育むためには、特別活動の果たす役割は重要である。

この授業では、「特別活動」の特質や、教育的意義、目標、内容及び指導方法等について、理論と実践の両面から講義するものである。

「為すことによって学ぶ」といわれる特別活動は、特に実践的な面が重要であるので、活動内容や指導方法等に具体的な資料を活用して、教師としての実践的な指導力を身につけさせることをねらいとしている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①特別活動とは何か…特質と教育的意義…
- ②特別活動の歴史の変遷
- ③特別活動の内容
- ④学級(ホームルーム)活動の特質と内容
- ⑤学級(ホームルーム)活動の指導の実際
- ⑥生徒会活動の指導と活動の在り方
- ⑦学校行事の特質と活動内容
- ⑧特別活動の指導計画の作成
- ⑨特別活動とボランティア活動
- ⑩特別活動と総合的な学習の時間
- ⑪生徒指導の諸課題と特別活動(不登校、いじめ、教育相談等)
- ⑫特別活動の評価
- ⑬今後における特別活動の課題と展望

履修上の留意点

特別活動における実践的な指導力を身につけるために、授業における意見発表、課題レポートの提出、等の積極的な参加を期待している。

成績評価の方法

試験、レポート、出席状況、学習指導案の提出等を総合的に判断して評価する。

教 科 書

小川一郎・中野目直明編著『現代の特別活動』(酒井書店)2,000円

参 考 書 等

講義以外は、特に必要としない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
特別活動（後期）	井上 勝 <small>いのうえ まさる</small>	教職2・3必(禪・仏教・社会・福祉・心理・経A)	2

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい

特別活動とは学校での集団活動を通して生徒の心身の調和と個性の伸長を図り、集団の一員としての自覚を深め、自己実現を図る能力を養う活動である。今日の生徒をめぐる状況には、いじめ、不登校、社会体験の不足など、様々な課題がある。これらの課題を解決するために特別活動の果たすべき役割は大きく、また、その可能性は大きい。

本講義では、特別活動の意義や役割について理論的に理解し、それを踏まえて、具体的な指導方法とその要点について学び、教師としての実践的な力を身につけることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1, 特別活動の意義、内容
- 2, 学級活動の役割と内容
- 3, 生徒会活動の役割と内容
- 4, 学校行事の役割と内容
- 5, クラブ活動・部活動の役割と指導
- 6, 特別活動と生徒指導、教育相談
- 7, 特別活動とガイダンス
- 8, 特別活動の評価

履修上の留意点

特別活動の意義と内容を正確に理解するとともに、具体的な指導方法を理解し、実践的な指導力を身につけて欲しい。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、授業中に提出するレポート、出席状況等で総合的に評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説―特別活動編―』（財務省印刷局）70円

参考書等

その都度、紹介する。

その他

講義内容に即して、様々な授業方法を採用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生徒指導論 (進路指導を含む)(前期)	小宮山 要 <small>こみやま かなめ</small>	教職2・3必(禪・仏教・経A・商・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい

今日の学校現場には、「いじめ」「不登校」「校内暴力」「学級崩壊」等さまざまな問題が発生している。本講義ではこれらの問題を正しく理解し、適切に対応できる教師としての基礎的能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では生徒のいじめ問題に焦点を当てながら、生徒指導・生徒理解の理論と方法を下記のような流れに従って具体的に学習する。

- 1) 生徒指導の意義と課題
- 2) 生徒指導の原理
- 3) 生徒の問題行動の実態
- 4) 問題行動を理解するための理論と法則
- 5) 生徒の問題行動の発現メカニズムとその理解
- 6) 生徒の問題行動への対応と指導
- 7) 教師の生徒への係わり方と問題行動
- 8) 学校・家庭・関係機関との協力・連携

履修上の留意点

履修する学生は、教職志望者であることを念頭に置き、授業に積極的に参加することを希望する。

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席等をもとに総合的に判断する。

教科書

小宮山要著『間違いだらけのいじめ指導』（明治図書）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
生徒指導論 (進路指導を含む)(前期)	め 目 良 秋 子 め 目 良 秋 子	教職2・3必(文学部全学科)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

心理学をベースにして、生徒理解や、生徒の心の発達を促すうえで必要な基礎的な視点を学び、思春期・青年期についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「思春期」「青年期」とはいかなる時期か
- (2) 現代社会におけるアイデンティティ形成
- (3) 青年期における心理的な課題
- (4) アイデンティティ形成と青年期の対人関係
- (5) 進路選択と職業的なアイデンティティ
- (6) ジェンダーと進路選択
- (7) サポーターとしての教師の役割

履修上の留意点

教養教育科目として開設されている「発達と学習の心理学」「教育心理学」「心理学」のいずれかを履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

- (1) 論題に添ったレポートの作成ないしは課題の提出
 - (2) 「職業的アイデンティティ形成」に関するレポートを作成
 - (3) 定期試験
- 以上から総合的に評価する。

教科書

今年度は特に使用しない。授業中に配布する資料に沿って講義を進める

その他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得したものは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生徒指導論 (進路指導を含む)(前期)	さ とう なお と 佐 藤 尚 人	教職2・3必(地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

今日、様々な問題を抱える子どもを学校で教育するために、教師には教科学習についてはもちろん、様々な知識や技術が求められる。本講義では、子どもと触れ合う出発点と言える、『子どもの理解』を中心テーマとする。また、指導の際の具体的方法も考えていく。

履修上の留意点

講義の内容を覚えるだけでなく、自ら問題点を見つけ出し考える姿勢を求める。

成績評価の方法

原則として、筆記試験の点数で評価するが、授業への積極的な参加態度をプラスして最終的に成績をつける。

教科書

テキストは使用しない。

参考書等

参考書等は適宜指示する。

その他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生徒指導論 (進路指導を含む)(前期)	えん どう つかさ 遠藤 司	教職2・3必(国文・英米文・ 経A・商・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒(他者)の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷
2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題
3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察
4. 教師-生徒関係の中での生徒指導、進路指導
5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。また、「ただその場にいる」だけではなく、積極的に参加しているということを授業者に伝えるよう努めることを望む。

成績評価の方法

学期末のレポート提出を基とするが、授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行なう。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

その他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生徒指導論 (進路指導を含む)(前期)	かわ はら せい 川原 誠 司	教職2・3必(経A・商・ 法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

生徒を指導するとはどういうことか、生徒指導を行っていく上で必要なことは何かを、主に教師の「心のありよう」という点を中心にして、心理学的に解明していくことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業スケジュールについては初めの方の授業で述べる予定です。

履修上の留意点

一番最初の授業で受講人数を把握して、大まかなスケジュールを作成しますので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。いろいろな面で「自分で考えて動くこと」を授業の柱にしますので、そのことを念頭に置いて受講してください。

成績評価の方法

成績評価の形式は、受講人数や受講態度などによって変わるものなので、授業を進めていく中で決定しますが、試験を行う予定です。

教科書

教科書は授業中に指示します。

その他

授業の一部では、生徒指導に関する和文献や英文献をグループで発表してもらうこと、あるいは実技を行うことなども考えています。
この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 臨 床 (後 期)	こみやま 小宮山 かなめ 要	12以降入学生/教職2・3必修・ 仏教・経A・商・法A・政治(経営A)	2

※経B・法B・営Bも履修できます。

講義のねらい

教育現場では「いじめ」「不登校」「校内暴力」「学級崩壊」をはじめ「無気力」「学習不振」等さまざまな問題を抱えている。本講義では、学校現場で何らかの援助を必要としている生徒たちに、どのように対処していくかという具体的な手法を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では幅広い臨床心理学の考え方を柔軟に取り入れて、臨床指導の基本的考え方と方法について下記のような流れに従って学習する。

- 1) 心が病むとは何か
- 2) 生徒の問題行動の現状と理解（理解の基本的視座）
- 3) 犯罪少年はどこでどのように処遇されるか（司法との係わり、少年法）
- 4) 学校カウンセリングの諸問題
- 5) 指導（カウンセリング）の諸技法
- 6) 事例研究法
- 7) 父母面接の進め方

履修上の留意点

履修する学生は、教職志望者であることを念頭に置き、授業に積極的に参加することを希望する。

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席等をもとに総合的に判断する。

教 科 書

使用しない。授業時に資料を配付して講義を行う。

参 考 書 等

授業時に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育臨床（後期）	目良秋子	12以降入学生/教職2・3必 (文学部全学科)	2

※経B・法B・営Bも履修できます。

講義のねらい

現代社会における思春期・青年期についての理解を深め、カウンセリングの基本的な視点を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 臨床的な視点とは何か
- (2) 現代社会における「思春期」「青年期」
- (3) 思春期・青年期における臨床的な問題
- (4) 演習（「見る」・「聴く」を中心にして）
- (5) 教師の役割（カウンセリング・マインドとは）
- (6) カウンセリングの基礎知識

履修上の留意点

教養教育科目として開設されている「発達と学習の心理学」「教育心理学」「心理学」のいずれかを履修済みであることが望ましい。授業の後半部分は演習も予定しており、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

- (1) 指定図書（授業時に提示）を読み、論題に添ってレポートを作成
 - (2) 各演習後のレポート提出
 - (3) 定期試験（人数によっては数回の小テストで実施）
- 以上から総合的に評価する。

教科書

今年度は特に使用しない。授業中に配布する資料に沿って講義を進める。

参考書等

授業時に提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育臨床（後期）	佐藤尚人	12以降入学生/教職2・3必 (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・営Bも履修できます。

講義のねらい

不登校やいじめ、非行や学級崩壊など、具体的な子どもの問題行動を取りあげ、それについての理解と対応を考える。

履修上の留意点

課題を出し、授業では参加者による報告とディスカッションを行なう。

成績評価の方法

授業に出席するだけでは単位は認定しない。課題の報告とディスカッションへの参加を必須とする。試験は行わないが、最後にレポート課題を出し、日常の授業への参加の様子と合わせて成績評価をする。

教科書

テキストは使用しない。

参考書等

参考書等は適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育臨床（後期）	えん どう 遠 藤 つかさ 司	12以降入学生/教職2・3必(国文・ 英米文・経A・商・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営Bも履修できます。

講義のねらい

心の教育が重視されている現在の教育現場において、生徒が自らの生き方を考え、自己を確立するために、一方的な指導ではなく、相互の対話を基に生徒との関係を作ろうとする教師の姿勢が求められている。特に、カウンセリングに代表されるような、臨床心理学的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業においては、臨床心理学的視点に学びながら、生徒が陥りやすい心の危機に対する対処法や援助法について、実践的に学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人が人と関係をもつことの意味
2. カウンセリングマインドとは
3. 教師としてカウンセリングマインドをもつことの意味
4. 教師・生徒関係の見直しと再生の過程
5. 人間の生涯における思春期・青年期の諸問題

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。また、「ただその場にいる」だけではなく、積極的に参加しているということ、授業者に伝えるよう努めることを望む。

成績評価の方法

学期末のレポート提出を基とするが、授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育臨床（後期）	かわ はら せい し 川 原 誠 司	12以降入学生/教職2・3必 (経A・商・法A・政治・経営A)	2

※経B・法B・営Bも履修できます。

講義のねらい

心理療法に関する英文献を読み、主たる4つの心理療法（精神分析、行動療法、認知療法、クライエント中心療法）の基本的な考え方や知識、治療方法が、学校という場所で子どもに接する場合にどのような形で援用できるかという、教師の仕事を行うにあたっての視点の広がりや深まりを獲得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業スケジュールについては初めの方の授業で述べる予定です。

履修上の留意点

一番最初の授業で受講人数を把握して、大まかなスケジュールを作成しますので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。最初に英文献の分担を決めますので、出席しなければ分担できなくなり、単位の取得に困難をきたします。いろいろな面で「自分で考えて動くこと」を授業の柱にしますので、そのことを念頭に置いて受講してください。

成績評価の方法

成績評価の形式は、受講人数や受講態度などによって変わるものなので、授業を進めていく中で決定しますが、試験を行う予定です。

教科書

教科書は授業中に指示します。

その他

グループでの活動・発表をしてもらいますので、他者と関係をとれる能力のある人、関係をとろうとする意欲のある人の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(1) 〔障害児と教育〕(前期)	えん どう つかさ 遠 藤 司	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

「総合的な学習の時間」の本質とその意義について理解するという目的の上に、本時間の運営のために必要な教師としての諸能力や態度を養う。この授業においては、あらゆる教育の根本に位置するという意味で、教育問題を考える上で非常に重要な問題であるところの障害児教育問題について、障害児教育の在り方について、実践を含めて現在の在り方まで総合的に学んでいく。最終的には、このテーマに即した授業プランを作成できるように学びを深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

「総合的な学習の時間」を実際に授業することを仮定した案を参加者に作成してもらい発表してもらうことをもとに授業を進めていくことを考えている。具体的には、参加者の数や問題意識等を把握した上で決定する。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。また、「ただその場にいる」だけではなく、積極的に参加しているということを、授業者に伝えるよう努めることを望む。

成績評価の方法

学期末のレポート提出を基とするが、授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(2) 〔障害児と福祉〕(後期)	えん どう つかさ 遠 藤 司	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

「総合的な学習の時間」の本質とその意義について理解するという目的の上に、本時間の運営のために必要な教師としての諸能力や態度を養う。この授業においては、現在日本社会における様々な問題を根本的に考える意味において非常に重要な問題であるところの障害者福祉について、実践を含めて現在の在り方まで総合的に学んでいく。最終的には、このテーマに即した授業プランを作成できるように学びを深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

「総合的な学習の時間」を実際に授業することを仮定した案を参加者に作成してもらい発表してもらうことをもとに授業を進めていくことを考えている。具体的には、参加者の数や問題意識等を把握した上で決定する。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。また、「ただその場にいる」だけではなく、積極的に参加しているということを、授業者に伝えるよう努めることを望む。

成績評価の方法

学期末のレポート提出を基とするが、授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 演 習 (3) 〔環境教育〕(前期)	きたむらかずお 北村和夫	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

環境問題がなぜ解決できないのかを考えるを通して、環境教育の独自の役割を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

人間、社会、環境（自然）についての常識的な見方の問題点を考えるとともに、変革の方向を探る、ということを中心にする。したがって、暗記することよりも考えることを重視する。

履修上の留意点

全体の流れを理解する必要があるので、欠席しないこと。

成績評価の方法

試験

教 科 書

北村和夫『環境教育と学校の変革—ひとりの教師として何ができるか』(農山漁村文化協会) 2000年 2,900円(税込)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 演 習 (4) 〔近代社会と身体〕(後期)	きたむらかずお 北村和夫	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

人間の体が実に良くできていることを知ると同時に、日常生活において、そうした体を十分に生かしているかどうかを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

脳神経科学、免疫学、ロボット工学その他において、身体観、ひいては人間観の変革を迫る研究が進んでいるので、それらを紹介しながら、一般的な身体観の見直しについて考える。

履修上の留意点

欠席しないこと

成績評価の方法

レポート

参 考 書 等

毎時間、何冊か紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(5) 〔対人関係とストレス〕(前期)	かわ 川 はら 原 せい 誠 し 司	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

「ストレス」という言葉が日常頻繁に用いられているが、そのメカニズムについて考えることは少ない。本演習ではストレスの心理学的プロセスの詳細について学習し、自分自身のストレスのことを考え、学校現場でのストレスの実情を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業スケジュールについては初めの方の授業で述べる予定です。

履修上の留意点

一番最初の授業で受講人数を把握して、大まかなスケジュールを作成しますので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。いろいろな面で「自分で考えて動くこと」を授業の柱にしますので、そのことを念頭に置いて受講してください

成績評価の方法

成績評価の形式は、受講人数や受講態度などによって変わるものなので、授業を進めていく中で決定しますが試験を行う予定です。

教科書

教科書は授業中に指示します。

その他

ストレスに関する文献を毎週読んでもらい、それらに対してきちんと思考・批評してもらうことを考えています。

積極的に取り組み、考えてみようとする方の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(6) 〔学校における対人関係〕(後期)	かわ 川 はら 原 せい 誠 し 司	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

教師の精神的健康について、生徒との関係、保護者との関係、同僚との関係など対人関係の側面を中心に、心理学的に考えていくことを目的とする。とりわけ、対人関係における支え合い（ソーシャル・サポート）の面を中心に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業スケジュールについては初めの方の授業で述べる予定です。

履修上の留意点

一番最初の授業で受講人数を把握して、大まかなスケジュールを作成しますので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。いろいろな面で「自分で考えて動くこと」を授業の柱にしますので、そのことを念頭に置いて受講してください

成績評価の方法

成績評価の形式は、受講人数や受講態度などによって変わるものなので、授業を進めていく中で決定しますが、試験を行う予定です。

教科書

教科書は授業中に指示します。

その他

教師の精神的健康に関する文献を毎週読んでもらい、それらに対してきちんと思考・批評してもらうことを考えています。

積極的に取り組み、考えてみようとする方の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合演習(7) 〔精神障害者と地域〕(前期)	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

精神分裂病経験者をはじめとする、いわゆる精神障害者が抱える辛さには、疾病そのものの苦痛と共に、人間として生きつづけることをめぐる困難とでもいうようなことも含まれるようです。本講義では主に後者の問題を取りあげ、精神障害者と呼ばれる人々が日々どのような経験をしているのか、またこれらの人々と援助的・日常的に関わっていく人々との間でどのようなことが互いに経験されているのか、ということをもめぐる、臨床心理学的・現象学的な視点を手がかりに共に考えたいと思います。

履修上の留意点

- ①上のような問題に思いを馳せることは、ひいては私たち自身その一人である人間のあり方とはいかなるものか、という問いにつながります。本講義に参加するにあたっては、障害の有無や障害者との付き合いの有無に関わらず、時宜に応じて各人の日頃の経験を振り返りながら、講義の中で交わされる語りに真摯に聴きいる姿勢で望んでください。
- ②テキストの該当箇所を事前に繰り返し読んだ上で講義に参加して下さい。

成績評価の方法

出席・聴く姿勢・発表や発言・講義時間内のレポートを含めた平常点で評価します。

教科書

講義開始時に紹介します。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

その他

参加人数にもよりますが、いわゆるゼミ形式、または「対話」形式で進める予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合演習(8) 〔精神障害者とボランティア〕(後期)	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

精神分裂病経験者をはじめとする、いわゆる精神障害者が抱える辛さには、疾病そのものの苦痛と共に、人間として生きつづけることをめぐる困難とでもいうようなことも含まれるようです。本講義では主に後者の問題を取りあげ、精神障害者と呼ばれる人々が日々どのような経験をしているのか、またこれらの人々と援助的・日常的に関わっていく人々との間でどのようなことが互いに経験されているのか、ということをもめぐる、臨床心理学的・現象学的な視点を手がかりに共に考えたいと思います。

履修上の留意点

- ①上のような問題に思いを馳せることは、ひいては私たち自身その一人である人間のあり方とはいかなるものか、という問いにつながります。本講義に参加するにあたっては、障害の有無や障害者との付き合いの有無に関わらず、時宜に応じて各人の日頃の経験を振り返りながら、講義の中で交わされる語りに真摯に聴きいる姿勢で望んでください。
- ②テキストの該当箇所を事前に繰り返し読んだ上で講義に参加して下さい。

成績評価の方法

出席・聴く姿勢・発表や発言・講義時間内のレポートを含めた平常点で評価します。

教科書

講義開始時に紹介します。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

その他

参加人数にもよりますが、いわゆるゼミ形式、または「対話」形式で進める予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(9) 〔教育と法律〕(前期)	ひろさわあきら 広 沢 明	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

「総合演習」の一つとして、「教育と法律」について扱う。今年は教育基本法の改正問題に焦点を合わせ、教育基本法の各条文の理解を深めようと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

学生をテーマごとにグループ分けし、毎回担当者が報告し、全員で討論する。テーマについては、最初の授業で提示する。

履修上の留意点

演習形式で進めるので、授業への積極的参加が不可欠である。

成績評価の方法

出席状況、報告、レポートで評価する。

教科書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参考書等

授業にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(10) 〔子どもの人権〕(後期)	ひろさわあきら 広 沢 明	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

「総合演習」の一つとして、「子どもの人権」について扱う。子どもの権利条約に焦点を合わせ、様々な子どもの人権問題の理解を深めようと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

学生をテーマごとにグループ分けし、毎回担当者が報告し、全員で討論する。

履修上の留意点

演習形式で進めるので、授業への積極的参加が不可欠である。

成績評価の方法

出席状況、報告、レポートで評価する。

教科書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参考書等

授業にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習(11) 〔生と死の教育〕(前期)	やなぎ ぼり 柳 堀 素雅子	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

小学校、中学校、高等学校において、学生たちに「生と死」の問題を教えるにはどのようにすればよいのか。人が死ぬとはどういうことなのか？あるいは人間以外の生物すべてにとって「死」とはどういうことなのか？また人が「生きている」とはどういうことなのか？人間以外のあらゆる生物にとっての「生」とはどのようなことなのか？

古代より「生と死」の問題を考える時には、古今東西「宗教」や「哲学」が大きな役割を果たしてきた。しかし最近数十年の医療の進歩によって、古典的な宗教や哲学の考え方では説明不可能、解決不可能な問題が数多く提出されてきている。それらの問題のいくつかをピックアップして考察する予定である。さらに学校教育でこれらの問題をどのように取り扱っていったらよいのかについて話し合っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代の先端医療の状況
2. 現代の先端医療のどこが問題なのか？
3. 現代を生きる我々が、生と死の問題を考えるときの視座を探り出す
4. 学校教育の中での「生と死の教育」のあり方を考える

履修上の留意点

ある程度の解説が終わったあとでは、話し合いやレポート提出を何回か行いたい。レポート提出やディスカッションを避けたい人は履修しない方がよいと思います。

成績評価の方法

出席、レポート提出(回数は未定)、ディスカッションの発言等をすべて総合的に評価します。

教科書

なし

参考書等

講義の中でその都度お知らせします。

その他

講義と討論を両方行ないます。
OHP、ビデオ等も数多く使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(12) 〔生命倫理〕(後期)	やなぎ ぼり 柳 堀 素雅子	12以降入学生/教職2・3必	2

講義のねらい

「生命倫理」とは「バイオエシックス」という英語の日本語訳である。1960年代後半にアメリカで生まれた新しい英語であり、新しい学問分野である。脳死、臓器移植、ヒトゲノム解析、遺伝子治療、出生前診断、生殖補助技術や安楽死、尊厳死の問題などの先端医療技術にまつわる問題を取り扱う学問として誕生した。根底にあるのは、「患者の権利」という権利意識、人権の考え方である。アメリカでも以前は、医療者が患者の意志や希望を無視して治療を行っていたことに対して、患者が自らの身体を自分で守り、患者の望む治療を受けられるようにするために市民運動が基盤となって誕生したのが、バイオエシックスという学問である。

このような現代の医療にまつわる問題を現代の学校教育の中で取り扱っていくには、どのような点に注意しなくてはならないのかという問題について、受講者全員で考えていきたい。なぜならば先端医療の問題は、大人の問題であると同時にすべて子どもたちの問題にもなりうるからである。したがって子どもの人権という視点にも注意して先端医療の問題を考えていかなければならない。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代の先端医療の状況の説明
2. 先端医療の問題点と解決方法
3. 学校教育で生命倫理の問題を取り扱うときの方向性、望ましい授業のしかたについて

履修上の留意点

先端医療の問題に常に注意を向けると同時に、この問題について現代の学校教育でどのように扱えばよいのかについて考えるようにすること。

成績評価の方法

出席、レポート提出、討論の発言などのすべてを総合的に評価します。

教科書

なし

参考書等

講義の中でその都度お知らせします。

その他

講義と討論の両方。ビデオ、OHP 使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(13) 〔現代的学習課題とジェンダー〕(前期)	たが い 高 井 葉 子	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

私が担当する総合演習は、前期と後期にあります。どちらか一つを受講することも可能ですが、可能な限り両方を受講して下さい。どちらも、貧困、差別、暴力など、現代社会が抱える問題をジェンダーや学校教育との関連で取り上げますが、特に、前期は、家族や子どもをめぐる社会問題をジェンダーとの関連で理解します。いずれも、学校教育、社会教育に携わる者にとって重要な問題ですが、単に理解するだけではなく、これらの問題にどのように取り組むことができるか、あるいは、どのように指導したらよいかを考える場にします。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の柱は次の通りです。①近代家族とジェンダー ②家族・暴力・ジェンダー ③子育てとジェンダー ④子ども・学校・ジェンダー。授業でとりあげる具体的な問題は、「ドメスティック・バイオレンス」、「児童虐待」、「スクール・セクシュアル・ハラスメント」、「単親家族」などです。

成績評価の方法

出席(10%)、課題(発表、レポート)(50%)、小テスト(40%)。成績評価の条件については、最初の授業で詳しく説明します。

教科書

最初の授業時に説明します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 演 習 (14) 〔学校教育におけるジェンダー〕(後期)	たか い よう こ 高 井 葉 子	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

前期の「総合演習 (13)」では、ジェンダーに関連する具体的な問題をあらかじめ設定し授業をすすめましたが、後期の演習では、教育学の知見や理論を紹介しながら、教育とジェンダーの問題をより広い範囲で考えます。また、各テーマに関連した問題を受講者の関心領域から選び授業時に発表してもらいます。

講義の内容・
授業スケジュール

この演習で扱う内容は次の通りです。

①教育制度とジェンダー ②教育投資とジェンダー ③教育機能とジェンダー ④学校文化とジェンダー

成績評価の方法

出席 (10%)、課題 (発表、レポート) (50%)、小テスト (40%)。成績評価の条件については、最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

最初の授業時に説明します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 演 習 (15) 〔持続可能性と技術〕(前期)	きた むら みつ こ 北 村 三 子	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

自然環境をこれ以上悪化させないためにはどうしたらよいのだろうか。中学・高等学校の「総合的な学習」の指導力を高めることも念頭に置きながら、様々な生産技術や生活技術について考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

共通文献として、石弘之他『環境と文明の世界史 人類史 20 万年の興亡を環境史から学ぶ』を読む他、各自技術について調べ、発表し、それをもとに考え合うこともしたい。

履修上の留意点

演習なので、積極的な参加が求められる。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる。

教 科 書

石弘之・安田喜憲・湯浅越男『環境と文明の世界史』(洋泉社) 720 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習 (16) [豊かさの多様性](後期)	きた 北 むら 村 みつ 三 こ 子	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

自然と調和して生きていくために、私たちはどのような社会を築いていったらよいのだろうか。経済、政治、教育などについて、新たなシステムが創り出されねばならないが、その手掛りを、先駆的な試みの中に探してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

シユタイナー関係の共同体、地域通貨など、ローカルな共同性を追求する試みを中心に検討したい。

履修上の留意点

演習形式なので、積極的な参加が求められる。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる。

参考書等

河邑厚徳+グループ現代『エンデの遺言 根源からお金を問うこと』(NHK 出版) 1,500 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習 (17) [現代家族の諸問題と教育](前期)	すず 鈴 き 木 とも 朋 み 実	12以降入学生/教職2・3必 (全学科)	2

講義のねらい

現代社会の諸問題のなかでも、子どもの発達の基盤として重要な意味をもつ家族について、今日の諸問題を取り上げ、教育の観点から、その実態、背景、原因を解明し、有効な問題解決の方策をさぐることをねらいとしている。社会的に憂慮されている社会性の発達の遅れなど子どもの発達をめぐる問題、不登校・いじめ・校内暴力など学校における問題、その他の非行問題の背景には、少子高齢化とともに大きく変容しつつある現代家族の在り方をめぐる問題がある。「家庭崩壊」「家族解体」といわれる現象は、子どもの発達と教育に重大な影響を及ぼしている。この点を十分に理解し、どのように対応すればよいかを考察するところに講義のポイントがある。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次の3セクションに分けて行う。
第1セクション：「家族集団と子どもの発達」－4月
第2セクション：「産業の発展にともなう家族の変容と教育機能の衰退」－5月
第3セクション：「現代の家族をめぐる問題の諸相と人間形成」－6・7月

履修上の留意点

家族問題への関心。

成績評価の方法

出席状況・レポート・試験により、総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業方法－講義に討論場面を加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 科 教 育 法	こ や ま か ず の り 小 山 一 乗	教職3必	4

講義のねらい

講義と模擬授業とで構成する。教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育職員免許法を概観する。特に、各教科と宗教科との関係、「宗教科教育」と「宗教教育」との異同点にも留意する。我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学学習指導要領の文言との関係等を検証する。その上で、「宗教の定義集」への着目をし、『『宗教に関する寛容の態度』の涵養』への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。

宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。適宜、童歌なども、導入し、幼稚園教育から高等学校教育までの接続も考察に含めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

『仏教概論 —— 分かりやすい仏教 —— 』をテキストにして、原則として模擬授業(50分)を課します。教材研究の実際、学習指導要領、学習指導案の基礎的・基本的事項を講義する。その上で、具体的に、学習指導案の様式と教育観との関係が思量でき、主体的に選択した様式に基づいて実際に学習指導案を作成してもらおう。模擬授業は、その様子をビデオに収録し、再生して、爾後の授業分析の鏡利用とし、自己分析に供する。

履修上の留意点

学年、他教科との関連を常に勘案すること。

成績評価の方法

模擬授業、レポート、出席点により総合的に評価する。

教 科 書

小山一乗著『教育と寛容—宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点—』(宣協社) 2,940円

『仏教概論—分かりやすい仏教—』(曹洞宗宗務庁) 800円

小中高各『学習指導要領』各 230円 250円 370円

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

講義を基調とするが、実際には、講義と模擬授業(演習)を折衷した形態となろう。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語科教育法	かみ や みち のり 神 谷 道 倫	教職3必	4

講義のねらい

中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、さらに各領域・教材に応じたそれぞれの指導方法等について概観したのち、実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方、指導事項、指導方法、指導過程等について、主に模擬授業の形式で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

重点的に以下の三点を中心に進める。

- ① 国語科教育の現況の確認
- ② 国語科教育の方法、実践等について先人の試みの意義を探る。
- ③ 教育実践の準備

以上のうち①②については、教科書・プリント等を用いて講義形式で行う。③については、教材研究の実際、指導案の作成など課題形式のもの提出と、実際の教材による模擬授業の形式（グループ分けにより全員が何らかの形で必ず参加）で行う。基礎学力の点検にも配慮する予定。

履修上の留意点

科目の性質上、出席は当然重視する。（なお、中学校・高等学校時代使用の国語の教科書・副読本があれば、手元に整理して必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。）

成績評価の方法

定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加（出席）の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教科書

全国大学国語教育学会編 新訂中学校・高等学校『国語科教育研究』（学芸図書株式会社）
2,200円＋消費税

参考書等

国語科教育法に関するもの、特に後半使用する教材に関するもの等少なからずあるが、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道科教育法	な す たか よし 那 須 隆 吉	教職3必	4

講義のねらい

長い歴史を持つ書道の特徴を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出により評価する。

教科書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）約2,000円

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語科教育法	佐藤 眞二	教職3必	4

講義のねらい

中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

主に取り上げる内容は以下のとおりである。

1. 英語科教育の目標
2. 主な教授法
3. 言語材料と指導
4. 言語活動
5. 授業の展開
6. 指導形態
7. 評価とテスト
8. 教具・視聴覚機器
9. 教育と学習者

履修上の留意点

自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

試験、レポートのほか、授業内の発表も評価に加える。

教科書

塩沢利雄他著『新英語科教育の展開』（英潮社）

参考書等

教場において指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理歴史科教育法Ⅰ（前期）	生田 清人	教職3必	2

講義のねらい

地理と歴史の授業をつくるために、どのような学力（考え方・知識・技術など）を形成することが求められているのでしょうか。この講義では、毎回、具体的な実践例を使って、教師論・学習論・カリキュラム論・教材論・評価論・学方論などと関連づけながら展開する予定です。なお、この講義では「授業をつくる」を分析する方向で展開し、地理歴史科教育法Ⅱではこの講義での学習をもとに、「授業をつくる」を総合化する方向で展開する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 地理と歴史、それぞれの科目の学習目標について、アメリカ合衆国の西部開拓、イギリスの穀物法、日本の産業発達などを例に、これらの学習項目を地理と歴史がそれぞれどのように扱っているかを比較しながら、学習論や方法論などと関連づけて考えます。
- (2) 地理と歴史の年間カリキュラム、単元カリキュラム、学習指導案の作成について、学習論、カリキュラム論と関連づけながら考えます。また、学習指導要領を読んだり、カリキュラムを作成したりする演習を行います。
- (3) 地理と歴史の授業で使う教材について、学習内容論や方法論に関連づけて考えます。また、1時間分の教材を作成する演習を行います。また、「歴史新聞」・「空想旅行記」などのロールプレイングゲームや「遊牧民ゲーム」などのシミュレーションゲームなどを取り入れた授業について、実際にゲームをしながら考えます。さらに、国際理解教育・開発教育・平和教育など新しいパラダイムの教育に地理や歴史はどのように向き合えばよいのか、実践例をもとに考えます。
- (4) 地理と歴史の単元テストについて、学習内容論や評価論と関連づけて考えます。さらに、学校の地理と歴史の学力とは何かを考えます。そして、1単元分の確認テスト作成する演習をします。また、互いの授業を評価しあって、授業を改善する方法について考えます。

成績評価の方法

学習指導案・教材プリント・単元テストなどをまとめたレポートの到達度評価と出席状況により評価します。試験は実施しません。なお、詳細は、第1回の講義において説明します。

教科書

授業では毎回教材のプリントを配布する予定ですが、次の書物を教科書とします。
 社会認識教育学会編『改訂新版 地理歴史科教育』（学術図書出版）1,751円
 社会認識教育学会編『改訂新版 中学校社会科教育』（学術図書出版）1,854円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理歴史科教育法Ⅱ(後期)	い く た きよ と 生 田 清 人	教職3必	2

講義のねらい

社会科の授業をつくるために、どのような学力(考え方・知識・技術など)を形成することが求められているのでしょうか。この講義では、毎回、具体的な実践例を使って、教師論・学習論・カリキュラム論・教材論・評価論・学力論などに関連づけながら展開する予定です。

なお、この講義では、地理歴史科教育法Ⅰでの学習をもとに、「授業をつくる」を総合化する方向で展開する予定です。また、高校の地理、歴史だけでなく、高校にくらべ学習指導がむずかしい中学社会科(地理・歴史・公民)についても扱い、具体的な実践例を紹介したり、模擬授業も取り入れて展開する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 地歴科は、かつては政経・倫理とを合わせて社会科という教科でした。この講義では、地理、歴史、だけでなく政経、倫理をふくめ総合化した形での学習指導を考えます。そのために、まず、社会科教育の歩みの概観を解説し、中学社会科の学習指導要領を読みます。
- (2) 社会科の単元カリキュラム、学習指導案の作成について、学習論、カリキュラム論だけでなく、生徒の学習発達とも関連づけながら考え、単元を設定したり、学習指導案を作成したりする演習を行います。また模擬授業を行います。
- (3) 課題学習や野外学習など、教室での授業とは異なる授業形態での学習指導について、実践例を紹介しながら考えます。また、調べ学習と発表学習の進め方や評価について考え、野外活動を行う予定です。さらに、それを発展させて、総合的な学習の時間でつかう地域学習のプランを作成する演習を行います。
- (4) ここまでの講義のまとめとして、模擬授業を行います。この模擬授業は、ゲーム教材をつかった授業、歴史新聞をつかった授業、新聞記事をつかった授業などの条件を設け、単元の設定や学習指導案、教材プリントの作成を含めた総合的なものです。
- (5) 社会科の単元テストについて、学習内容論や評価論と関連づけて考えます。さらに、社会科の学力とは何かを考えます。そして、1単元分の確認テストを作成する演習をします。また、模擬授業を行うときには、互いに評価しあって、授業を改善する方法について話し合います。

成績評価の方法

学習指導案・教材プリント・単元テストなどをまとめたレポートの到達度評価と出席状況により評価します。試験は実施しません。なお、詳細は、第1回の講義において説明します。

教 科 書

授業では毎回教材のプリントを配布する予定ですが、次の書物を教科書とします。
 社会認識教育学会編『改訂新版 地理歴史科教育』(学術図書出版) 1,751円
 社会認識教育学会編『改訂新版 中学校社会科教育』(学術図書出版) 1,854円

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理歴史科教育法Ⅰ(前期)	小池とみ子	教職3必	2

講義のねらい

高等学校地理歴史科の教師として、地理歴史教育をどうとらえ、どのように教えるかについて地理教育を中心に考察する。地理歴史教育の歴史、教材研究、指導案作成を通して具体的に理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 地理歴史教育の歴史
- 2) 学習指導要領について
- 3) 教材研究
- 4) 授業指導案の作成
- 5) 評価論

履修上の留意点

後期の地理歴史科教育法Ⅱにおいて、前期地理歴史科教育法Ⅰで学んだ事項をもとに模擬授業実践を行う予定である。

成績評価の方法

期末に試験を行う。また平常時のミニレポートも参考にする。

教科書

とくに指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

地理教育研究会『現代世界をどう教えるか1999』（古今書院）1999
 その他は講義の中で順次紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理歴史科教育法Ⅱ(後期)	小池とみ子	教職3必	2

講義のねらい

高等学校地理歴史科の教師として、どのように授業を作り、どのように授業を展開するか実践を通して学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

地理歴史科教育法Ⅰで学んだ教材研究や授業展開の方法をふまえて、模擬授業を行う。発表者以外の学生は生徒として参加し、互いに批判検討して授業方法を学ぶ。

履修上の留意点

授業計画上、前期の地理歴史科教育法Ⅰとセットで授業計画を組むので、Ⅰ・Ⅱを連続して履修することが望ましい。事情により、Ⅱのみを希望する場合は事前に申し出ること。

成績評価の方法

期末に模擬授業案のレポートを提出する。なお、授業実践中心の授業であるので、出席を重視する。

教科書

とくに指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

地理教育研究会『現代世界をどう教えるか1999』（古今書院）1999 2,100円
 その他は講義の中で、順次紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理歴史科教育法Ⅰ(前期)	ふじ き まさ くに 藤 木 正 国	教職3必	2

講義のねらい

高等学校地歴科（特に日本史・世界史）の教師として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養う。直接的には次年度の教育実習にそなえる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 日本教育制度の変遷
- (2) 地理歴史科の目標
- (3) 日本史・世界史（A・B）の目標と内容
- (4) 学習指導案の作成
- (5) グループ別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員をみざし努力すること。安易な単位修得は考えない。出席状況と提出物は特に重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。

成績評価の方法

出席状況（重視）、提出物、考査などを総合し評価する。

教 科 書

『高等学校学習指導要領解説・地理歴史編』（文部省・実教出版）と高等学校日本史Bもしくは世界史Bの教科書を一冊用意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理歴史科教育法Ⅱ(後期)	ふじ き まさ くに 藤 木 正 国	教職3必	2

講義のねらい

高等学校地歴科（特に日本史・世界史）の教師として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養う。直接的には次年度の教育実習にそなえる。また、中学校社会科歴史的分野にもふれる。

講義の内容・授業スケジュール

- ①戦後日本教育制度の変遷
- ②学習指導要領の変遷
- ③中学校社会科歴史的分野の目標と内容
- ④学習指導案の作成
- ⑤グループ別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員をみざし努力すること。安易な単位修得は考えない。出席状況と提出物は特に重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。

成績評価の方法

出席状況（重視）、提出物、考査などを総合し評価する。

教 科 書

『中学校学習指導要領解説－社会編－』（文部省・大阪書籍） 中学校社会科歴史的分野の教科書を一冊用意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公民科教育法Ⅰ（前期）	ほし づめ さとし 橋 爪 敏	教職3必	2

講義のねらい	この授業は、高等学校公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献講読を主とした。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、公民科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。
履修上の留意点	教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。
成績評価の方法	最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。
教科書	使用するが、未定。
参考書等	適宜、授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公民科教育法Ⅱ（後期）	ほし づめ さとし 橋 爪 敏	教職3必	2

講義のねらい	この授業は、高等学校公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献講読を主とした。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、社会科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。
履修上の留意点	教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。
成績評価の方法	最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。
教科書	使用するが、未定。
参考書等	適宜、授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 民 科 教 育 法 I	谷 敷 正 光 や しき ただ みつ	教職3必	2

講義のねらい

本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方まで公民科教師としての資質・力量形成を行います。できれば、前後期の履修をのぞみます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 教育の意義
2. 社会科の成立
3. 社会科の意義
4. 高等学校公民科学習指導要領の変遷
5. 教育課程の意義
6. 高等学校の教育課程と公民科
7. 高等学校公民科の指導計画
8. 高等学校公民科の授業設計
9. 高等学校公民科学習指導案の意義と作成
10. 高等学校公民科と思考力を育む授業
11. 高等学校公民科の教育評価

履修上の留意点

- (1) 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- (2) 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法

- (1) 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- (2) 定期試験、追再試は行いません。小テストは授業中に実施します。

教科書

毎時間、講義の教材として年間数十枚のプリントを配布するので、教科書は使用しません。

参考書等

- 講義に関係する参考文献は適宜紹介します。(1)～(6)の書物は図書館で読んで下さい。
- (1) 大田堯『教育とは何か』(岩波新書)
 - (2) 梶一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)
 - (3) 谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)
 - (4) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)
 - (5) 福山憲市『資料提示の技術』(明治図書)
 - (6) 大森・谷敷『社会科教育研究』(梓出版)
 - (7) 高等学校社会科(現代社会、政治経済、倫理)の教科書
 - (8) 文部省『高等学校学習指導要領』、文部省『高等学校学習指導要領解説 公民編』(実教出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 民 科 教 育 法 Ⅱ	や しき ただ みつ 谷 敷 正 光	教 職 3 必	2

講義のねらい

本講は中学校社会科で教育実習を行う学生や社会科教師を目指す学生に、「教育とは」「社会科教育とは何か」といった社会科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方をふまえた上で、後期は、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで社会科教師としての資質・力量形成を目標に行います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 高等学校公民科の目標
2. 高等学校公民科の内容・取扱い
3. 高等学校公民科の教材開発と資料の活用法
4. 高等学校公民科の板書計画と板書法
5. 高等学校公民科の発問の仕方と指導法
6. 高等学校公民科の学習形態と指導法
7. 4年生による模範授業（授業研究）
8. 公民科教師による授業1（授業ビデオ）
9. 公民科教師による授業2（授業参観・予定）
10. 模擬授業による公民科の授業実践研究
11. 高等学校公民科教師論
12. 公民科教師と教員採用試験
（教員採用試験の受験希望者には「特別演習」を開講しています。）

履修上の留意点

- (1)教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- (2)現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚室に変更することがあります。

成績評価の方法

- (1)授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- (2)定期試験、追再試は行いません。小テストは授業中に実施。

教科書

毎時間、講義の教材として年間数十枚のプリントを配布するので、教科書は使用しない。

参考書等

- 講義に関係する参考文献は適宜紹介します。(1)～(9)の書物は図書館で読んで下さい。
- (1)大田堯『教育とは何か』（岩波新書）
 - (2)無着成恭『山びこ学校』（角川文庫）
 - (3)灰谷健次郎『兎の眼』（新潮文庫）
 - (4)大森・谷敷『社会科教育研究』（粹出版）
 - (5)槐一男『社会科教材発掘の技術』（日本書籍）
 - (6)谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』（黎明書房）
 - (7)谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』（明治図書）
 - (8)浜上薫『発問づくりの技術』（明治図書）
 - (9)鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』（明治図書）
 - (10)高等学校社会科（現代社会、政治経済、倫理）の教科書
 - (11)文部省『高等学校学習指導要領』、文部省『高等学校学習指導要領解説 公民編』（実教出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
公民科教育法Ⅰ	小川輝之	教職3必	2

講義のねらい

公民科教育の目的、公民及び公的資質概念の検討、公民科教育の歴史、公民科及び各科目の目標、内容構成等について検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会科教育・公民科教育の変遷
 - ①社会科の成立と意義
 - ②社会科の変遷（31年版、35年版、45年版、53年版学習指導要領）
 - ③社会科の再編成と公民科の創設（平成元年版学習指導要領）
2. 平成11年版学習指導要領の研究
 - ①公民科及び各科目の目標
 - ②公民科各科目の内容構成と取扱い
 - ③公民科各科目の指導計画の作成と指導上の配慮事項
 - ④総合的な学習の時間及び特別活動等との関連性
3. 在り方生き方教育の実践
 - ①在り方生き方教育の意義と課題
 - ②在り方生き方教育の指導計画
 - ③教科、特別活動、総合的な学習の時間等における在り方生き方教育

履修上の留意点

公民科の指導に要請される広い視野を養うために、各自の専門領域だけでなく公民科の各科目に関心を持ち、教材研究に努めること。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、授業中に提出するレポート、出席状況等で総合的に評価する。

教科書

文部省編『高等学校学習指導要領解説・公民編』（実教出版）を教科書として使用するので、購入すること。他に授業で使用するプリント類はその都度配布する。

その他

講義を中心とするが、2の平成11年版学習指導要領の研究は、分担研究発表を行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公民科教育法Ⅱ	小川輝之	教職3必	2

講義のねらい

公民科教育法Ⅰの履修を踏まえ、公民科教育法Ⅱでは、主として公民科各科目に関する授業研究を行い、実践的な指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

前半は公民科教育法Ⅰで使用した『学習指導要領解説・公民編』の後半部を学習する。後半は、①配布資料を中心に公民科の先進的な授業実践例を学び、続いて②各自が公民科の1科目を選択して、学習指導案を作成し、模擬授業を行い、合評会及び相互評価を行う。最後に評価問題を作成する。

履修上の留意点

実践的指導力を養うことを目的とするので、主体的に取り組むことを期待する。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、学習指導案や評価問題、出席状況等で総合的に評価する。

教科書

教科書として文部省『高等学校学習指導要領解説・公民編』（実教出版）220円を購入すること。また、授業研究用として公民科の教科書を1冊購入する（1科目だけでよい）。これについては、別途授業の中で指示する。

その他

前半は講義、後半は発表学習の形態をとるので積極的な授業参加を期待する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科教育法Ⅰ (前期)	なか あき とし やす 中 明 敏 康	教職3必	2

講義のねらい

中学校学習指導要領の社会科編に示された教科の目標の実現のためにどのような学習指導を進めれば良いのか、具体的な事例からその方法論を研究する。

まず諸資料に基いた多面的・多角的な考察の方法を追及し、問題解決能力をどの様に身に付けさせるのかを考える。次に、社会科三分野の目標である日本の国土や歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培う方法を考える。さらに、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うための指導方法を考える。この講義では社会科三分野の地理的分野、歴史的分野の学習指導について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 地理的な見方・考え方の基礎的考察 | 8 歴史の学び方 |
| 2 地図情報の活用方法 | 9 関心ある主題の設定の方法 |
| 3 自然環境の見方・考え方 | 10 身近な地域の歴史の調べ方 |
| 4 開発・生活活動を通じた見方・考え方 | 11 「古代までの日本史」の取扱い方 |
| 5 身近な地域の取り上げ方 | 12 「中世の日本」の取扱い方 |
| 6 都道府県の取り上げ方 | 13 「近世の日本」の取扱い方 |
| 7 世界の国々の取り上げ方 | 14 「近現代の日本と世界」の取扱い方 |
| | 15 国際社会の中の日本への関心の高め方 |

成績評価の方法

小レポート、定期試験により評価する。出席状況を重視する。

参考書等

参考文献は授業の際に示す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科教育法Ⅱ (後期)	なか あき とし やす 中 明 敏 康	教職3必	2

講義のねらい

中学校学習指導要領の社会科編に示された教科の目標の実現のためにどのような学習指導を進めれば良いのか、具体的な事例からその方法論を研究する。

まず諸資料に基いた多面的・多角的な考察の方法を追及し、問題解決能力をどの様に身に付けさせるのかを考える。次に、社会科三分野の目標である日本の国土や歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培う方法を考える。さらに、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うための指導方法を考える。この講義では社会科三分野の公民的分野について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 公民的分野の学習の課題 | 9 「民主政治と政治参加」の取扱い方 |
| 2 公民的分野の見方・考え方 | 10 「世界平和と人類の福祉の増大」の取扱い方 |
| 3 公民的分野の目標 | 11 地理的分野と歴史的分野の学習成果の活用方法 |
| 4 「現代日本の歩みと私たちの生活」 | 12 多様な学習方法の導入 |
| 5 「個人と社会生活」の取扱い方 | 13 情報化と人々の生活の変化の取扱い方 |
| 6 「私たちの生活と経済」の取扱い方 | 14 「国際社会への変容」への関心の向け方 |
| 7 「国民生活と福祉」の取扱い方 | 15 国際理解教育の課題 |
| 8 「日本国憲法の基本的原則」の取扱い方 | |

成績評価の方法

毎回実施する小レポート、定期テストによって評価する。出席状況を重視する。

参考書等

参考文献は授業の際に示す。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅰ (前期)	小川輝之	教職3必	2

講義のねらい

社会科教育の目的、公民及び公的資質概念の検討、社会科教育の歴史、社会科及び各分野の目標、内容構成等について検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 社会科教育の変遷
 - ①社会科の成立と意義
 - ②社会科の目標
 - ③社会科の指導内容
 - ④社会科の学習指導
2. 平成10年版学習指導要領の研究
 - ①社会科及び各分野の目標
 - ②社会科各分野の内容、内容の取扱い
 - ③指導計画の作成と内容の取扱い

履修上の留意点

社会科の指導に要請される広い視野を養うために、各自の専門領域にとどまらず広く社会科の各分野に関心を持ち、教材研究等に努めること。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、授業中に提出するレポートと出席状況等で総合的に評価する。

教科書

文部省『中学校学習指導要領解説社会科編』（大阪書籍）を教科書として使用するので購入すること。他に授業で使用するプリント類はその都度配布する。

その他

講義を中心とするが、2. の平成10年版学習指導要領の研究では、教科書を分担して発表学習を行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	小川輝之	教職3必	2

講義のねらい

社会科教育法Ⅰの履修を踏まえ、社会科教育法Ⅱでは、主として社会科各分野に関する授業研究を行い、実践的な指導力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、「社会科教育法Ⅰ」で使用した『学習指導要領解説社会編』の後半部を学習する。後半は①配布資料を中心に社会科各分野の先進的な授業実践例を学び、続いて②社会科の1分野を選択して、学習指導案を作成し、模擬授業を行い、合評会及び相互評価を行う。最後に評価問題を作成する。

履修上の留意点

実践的指導力を養うことを目的とするので、主体的に取り組むことを期待する。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、学習指導案や評価問題、出席状況等で総合的に評価する。

教科書

教科書として、文部省『中学校学習指導要領解説社会編』（大阪書籍）95円を購入すること。また、授業研究用として社会科の教科書を1冊購入すること（1分野だけでよい）。これについては、別途授業の中で指示する。

その他

前半は講義、後半は発表学習の形態をとるので、積極的な授業参加を期待する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科教育法Ⅰ (前期)	に い まさ ひろ 二 井 正 浩	教職3必	2

講義のねらい

「社会科教育法Ⅰ・Ⅱ」は、中学校「社会科」の原理（社会科とは何のために、何を、どのように教える教科なのか？）と方法（一定の内容を教えるために、どのような授業を設計し、実践し、評価すればよいのか？）について学ぶ科目である。

具体的には、中学校社会科の学習指導要領、代表的な社会科論や授業実践などについて考察し、社会科教育の現状と課題を明らかにするとともに、地理的分野、歴史的分野、公民的分野に関する教材研究、授業設計および評価の実践的能力を身に付けることを目標としている。

講義の内容・
授業スケジュール

「社会科教育法Ⅰ」では、主に中学校「社会科」の原理について扱う。

履修上の留意点

テキストは必ず購入すること。また、授業への出席とは、単にその教室にいることではなく、参加することであるということを、忘れないように。

成績評価の方法

レポート、学習指導案、授業への出席などで総合的に評価する。

教科書

星村平和編『社会科授業の理論と展開－社会科教育法－』（現代教育社）2,500円

参考書等

森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』（明治図書）2,620円＋税
 森分孝治、片上宗二編『社会科 重要用語 300の基礎知識』（明治図書）2,660円＋税
 文部省『中学校学習指導要領（平成10年12月）解説－社会編－』95円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科教育法Ⅱ (後期)	に い まさ ひろ 二 井 正 浩	教職3必	2

講義のねらい

「社会科教育法Ⅰ・Ⅱ」は、中学校「社会科」の原理（社会科とは何のために、何を、どのように教える教科なのか？）と方法（一定の内容を教えるために、どのような授業を設計し、実践し、評価すればよいのか？）について学ぶ科目である。

具体的には、中学校社会科の学習指導要領、代表的な社会科論や授業実践などについて考察し、社会科教育の現状と課題を明らかにするとともに、地理的分野、歴史的分野、公民的分野に関する教材研究、授業設計および評価の実践的能力を身に付けることを目標としている。

講義の内容・
授業スケジュール

「社会科教育法Ⅱ」では、主に中学校「社会科」の方法について扱う。

履修上の留意点

テキストは必ず購入すること。また、授業への出席とは、単にその教室にいることではなく、参加することであるということを、忘れないように。

成績評価の方法

レポート、学習指導案、授業への出席などで総合的に評価する。

教科書

星村平和編『社会科授業の理論と展開－社会科教育法－』（現代教育社）2,500円

参考書等

森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』（明治図書）2,620円＋税
 森分孝治、片上宗二編『社会科 重要用語 300の基礎知識』（明治図書）2,660円＋税
 文部省『中学校学習指導要領（平成10年12月）解説－社会編－』95円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 科 教 育 法	谷 敷 正 光 <small>やしきただみつ</small>	教職3必	4

講義のねらい

「専門教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にもなつてめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「専門学科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従つて、この講義のねらいは、「専門教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 専門教育・商業教育の現状
2. 専門教育・商業教育の改革動向
3. 専門教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の授業設計
8. 商業科の指導法
9. 商業科の教材開発と資料の活用
10. 商業科学習指導案の作成(実践)
11. ビデオによる商業科教師の授業研究
12. 4年生による模範授業(授業研究)
13. 模擬授業を通じての商業科の授業実践研究
14. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
15. 商業科における評価
16. 商業科教育実習における「教師教育」
17. 商業科教師論
18. 商業科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

履修上の留意点

- (1) 年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- (2) 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

成績評価の方法

- (1) 授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価する。小テストは授業中に実施。
- (2) 定期試験、追再試は実施は行いません。

教 科 書

年間数十枚のプリントを配布予定ですので使用しない。

参 考 書 等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- (1) 大田 堯『教育とは何か』(岩波新書)
- (2) 産経新聞社『学校ってなんだろう』(新潮社)
- (3) 灰谷健次郎『兎の眼』(新潮文庫)
- (4) 斎藤喜博『授業入門』(国土社)
- (5) 毎日新聞社『教育改革 現場の試み』(毎日新聞社)
- (6) 岩下 修『指導案づくりの技術』(明治図書)
- (7) 新牧賢三郎『やる気を引き出す技術』(明治図書)
- (8) 高等学校商業科の教科書(「流通経済」「商業経済」など)
- (9) 文部省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(大日本図書)

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業科教育法	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職3必	4

講義のねらい

授業は中学校における職業科目の理解とその科目内の商業教育を中心に進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

職業・労働・生活。
職業科教育の成立。
職業科教育の目標と意義。
職業科教育と技術家庭科教育。
職業科目の概要。
商業における授業と指導。
授業実践。

成績評価の方法

平常点とレポートで成績評価。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	教職4必	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必	5

講義のねらい

中学・高校での教育実習を充実させるための準備を行なうことと、実習をとおしてみえてきた教育のさまざまな課題について、ともに考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

事前指導

- ・実習の心がまえ
- ・生徒指導について
- ・教科指導について
- ・指導案作成
- ・模擬授業

訪問指導

- ・研究授業訪問指導

事後指導

- ・授業実習の検討

成績評価の方法

実習ノート、実習校からの評価、授業での実習報告、レポート。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習 I	さか もと のぶ あさ 坂 本 信 昭	教職 4 必	3
教育実習 II		12以降入学生/教職 4 必	5

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくすることよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導（教育）も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成（提出）、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何かーどうあるべきかーについて、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

(1) 実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、(2) 教育実習報告（口頭報告）及び報告レポート、(3) ビデオ視聴のコメント（感想）、(4) 年度末試験（または、課題レポート）によって、総合的に評価します。なお、(1)～(4)について重視する度合は、全て同グレードに考えている。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』（宣協社）1,500 円

参考書等

寺崎昌雄他編『教育実習 57 の質問』（学文社）1,000 円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習 I	はぎ わら けん じろう 萩 原 建次郎	教職 4 必	3
教育実習 II		12以降入学生/教職 4 必	5

講義のねらい

教育実習をはさんで、教育実践体験を受講者同士で深め合い、教育現実を深くつかんでいくまなざしや、教師としての身体技法を養っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には実習に関するビデオを見たり、模擬授業をおこないながら、指導案作成の方法を学び、実習することの意義や心がまえなどを考えたい。実習後は各自体験レポートを持ち寄り、実習のふりかえりと分かち合いをおこなう。そこから共通して考えるべきテーマ、話題があれば適宜取り上げて受講者同士と共に考えていききたいと思っている。

履修上の留意点

教育実習を中心とした体験学習、参加型の学習なので、受講者の主体的な参加が求められる。

成績評価の方法

実習校からの評価、レポート、出席状況、参加度を総合して評価する。

教科書

教科書・参考書はそのつど指示する。

参考書等

教科書・参考書はそのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	きたむらみつこ 北村三子	教職4必	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必	5

講義のねらい

中学・高校での教育実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。実習生とはいえ教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、実習のための準備と、実習体験を他の人々と共有し深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、以下に述べるような様々なことを試みたい。また実習後は、教える立場から新たに見えてきた学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を考え合いたい。

講義の内容・授業スケジュール

実習の準備としては、全般的な注意、学習指導案の作成に関する指導、模擬授業などを行なう。実習後は、実習体験を語り合い、その中から後期に検討すべきテーマを考えていく。夏休み明けには、それにそった資料を用意し、討議を中心とした授業を進める。具体的内容は話し合いの上で決めたい。

履修上の留意点

実習の準備としては、教材研究を各自よくやること。後半は積極的に参加すること。

成績評価の方法

実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテスト。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	いとうしげき 伊藤茂樹	教職4必	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必	5

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関しての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献購読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	えん どう 遠 藤	教職4必	3
教育実習Ⅱ	つかさ 司	12以降入学生/教職4必	5

講義のねらい

中学・高校での教育実習を行うにあたり、教育実践の体験を自らの人生の中での意義深い体験とすることが、この授業の目的である。そのために、実習前には、実習に向けての準備を万全なものとするために、実習することの意義や心構えを考えたい。そして、実習後には、実習の体験をより深めていくために、自らが教育現場で体験したことを基に、現代日本の教育について、様々な問いを共有し、考えを深め合っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義、目的、内容に関しての講義、ビデオによる概要の把握、模擬授業等を行う予定である。実習後は、実習体験を語り合い、様々な問題やテーマを共有し、その中からいくつかのテーマについて取り上げ、お互いに考えを深め合う場としたい。

履修上の留意点

教育実習という実際の活動を中心とした授業である。体験するための準備、体験後の深め合いをするために、主体的、積極的な参加を望む。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習レポート、授業への参加度、学期末のテストまたはレポートを、総合して評価する。

(2) 教科又は教職に関する科目〔平成12年度以降入学生〕
 教職に関する科目（選択）〔平成11年度以前入学生〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 関 係 法 規	ひろ <small>ひろ</small> さわ <small>さわ</small> 明 <small>あきら</small>	教職2・3・4選(全学科)	4

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 学校の種類
2. 教育の機会均等（民族・性・障害）
3. 義務教育
4. 教育の中立性（政治・宗教）
5. 教育行政
6. 懲戒

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教 科 書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参 考 書 等

授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 評 価	おお <small>おお</small> はま <small>はま</small> きく <small>きく</small> こ <small>こ</small>	教職2・3・4選(全学科)	4

講義のねらい

狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに、教育心理学の研究方法（実験・観察・調査・テスト）の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じパソコンも活用していく。

履修上の留意点

ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。

成績評価の方法

平常点による。

参 考 書 等

資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育哲学	きたむらみつこ 北村三子	教職2・3・4選(全学科)	4

講義のねらい

今日、近代社会の矛盾が様々な形で人間の生活を脅かしており、その中で、かつての人々が当然のこととしてあてにできた子育ての社会的、自然的基盤も揺るがされている。この混迷の時代に、私たちはどのようなありかたに向けて、またいかにして、次の世代を育み、支えてゆくことができるのだろうか。この授業では、生命とは何か、また、生命的な知とは何かを学ぶことを通して、そうしたことを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ウンベルト・マトゥラーナ、フランシスコ・バレラ『知恵の樹—生きている世界はどのようにして生まれるのか』を読む。

履修上の留意点

ゼミ形式で行なう。毎回テキストを読んでもることが必要となる。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる。

教科書

H. マトゥラーナ、F. バレラ『知恵の樹』（ちくま学芸文庫）1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育情報学	おぐらやすよし 小倉康仁	教職2・3・4選(全学科)	4

講義のねらい

家庭・個人へのパソコンの普及や初等・中等・高等の各教育段階における情報教育の拡充によって、近年一般大学生のコンピュータリテラシー（基礎知識・技能）は着実にレベルアップしてきている。このような社会情勢を受けて、また他の開講科目（とくに「教育とメディア」）との関連性を考慮して、この授業のねらいを次の三つとする。

1. 初歩的なレベルを超えて、一歩進んだ情報技術・知識を身に付ける。（この延長線上には、情報処理関連の資格検定・試験への挑戦ということも視野に入れる）
2. 教育分野でのコンピュータ利用方法・形態の変化について教育学の視点から理論的に分析・考察するとともに、コンピュータの教育的活用とは何かをより具体的に探る。
3. 普遍性のあるソフトウェアの操作実習を通して、実社会で必要とされる実際的なコンピュータ（パソコン）活用能力とセンスを育成する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせる授業を進める。

前期の授業内容としては、以下のものを予定している。

情報科学の基礎知識（講義）、エンドユーザコンピューティングの基礎知識・技能（講義・実習）、表計算ソフトの基本操作（実習）、教育分野でのコンピュータ利用形態の分類・整理（講義）、コンピュータの教育的活用とは？（講義）、教育用ソフトウェアの選択・活用方法について（講義と実習）、

後期の授業内容としては、以下のものを予定している。

表計算ソフトのより高度な利用1—関数の組み合わせ—（実習）、表計算ソフトのより高度な利用2—マクロとVBAプログラミング—（実習）、リレーショナルデータベースの概念（講義）、データベースソフトの基本操作（実習）、SQLの基礎知識（講義・実習）

履修上の留意点

パソコン初心者も履修可能であるが、後期は少々高度な内容を取り上げる予定である。また、授業内容に関する質問をEメールでも受け付ける予定なので、個人のメールアドレスを持っていない人はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。また、実習中心の授業ですので、履修者は継続的な出席が要求されます。

成績評価の方法

平常点（出席、学習態度）、小テスト（ペーパーテスト）、提出物（レポート、課題など）の総合点によって、成績評価を行なう。

教科書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

参考書等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 臨 床 心 理 学	小 野 けい子	教職2・3・4選(全学科)	4

講義のねらい

青年期についての理解を深めるとともに、教育の領域に起こる様々な問題に具体的にどうかかわるか、臨床心理学的視点から学ぶことを目的としている。その中で、サイコ・ドラマ、描画法など、臨床心理学の技法も習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 臨床教育学とは何か
- 第2章 青年期の理解1：青年期のつまずき
- 第3章 青年期の理解2：大人になること
- 第4章 青年期の理解3：こころとからだ
- 第5章 青年期の理解4：人とのつながり
- 第6章 青年期の理解5：大人と子ども
- 第7章 文化社会のなかの教育
- 第8章 個性の教育
- 第9章 教育における人間関係
- 第10章 授業の臨床教育学

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

夏休みと年度末に提出するレポートと出席によって評価を行う。

教 科 書

河合隼雄著『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）1,500円
河合隼雄『臨床教育学入門』（岩波書店）1,700円

参 考 書 等

講義の中で紹介する

そ の 他

授業方法：受講者数によって決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 社 会 学	伊 藤 茂 樹	教職2・3・4選(全学科)	4

講義のねらい

教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内での人間関係や相互作用といったミクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちがともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたいうえて、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして、教育社会学の対象と方法、学校の歴史と機能、社会化とその変容、情報化社会と青少年、教育制度、カリキュラムと知識、学校の組織と文化、階層と教育、教育問題と教育改革、などを予定している。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を求める。

成績評価の方法

課題とレポートにより評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育史	山本敏子 <small>やまもととしこ</small>	教職2・3・4選(全学科)	4

講義のねらい

今日、近代の教育システムは様々な問題を抱え、子どもや若者の日々の暮らしを生きにくいものになっています。それらは、地球環境問題や南北問題、少数民族問題など、人類が直面している難問とも深く関わっています。この授業では、改めて近代学校とは何かを問い、このシステムを成り立たせている前提や、それが抱え込んだ矛盾、病理などを発生史に沿って検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、下記教科書を共通文献に近現代日本の教育史の大きな流れを捉えることに重点を置きます。ただし、適宜、史・資料を配布して講読、補足講義する時間も入れます。

後半は、私たちの直面する課題の一つとして環境問題を取り上げ、その解決に向けて学校や教師（〈私〉）がどう変わっていかなければならないかを、近代学校の性格や限界について考察した論文や次の文献などを読みながら考えていきたいと思います。

北村和夫著『環境教育と学校の変革』（農文協）2,900円（税込み）。

履修上の留意点

歴史の授業ですが、現代の子どもや若者が置かれている社会状況や教育諸問題などにも関心をもって受講されることをのぞみます。

成績評価の方法

授業時間内の発表および期末レポート。

教科書

海後宗臣・仲新・寺崎昌男著『教科書でみる近現代日本の教育』（東京書籍）1,800円＋税。

その他

最初は講義や史料講読の時間を多く入れますが、徐々にゼミ形式へ移行させていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育調査	鈴木規夫 <small>すずきのりお</small>	教職2・3・4選(全学科)	4

講義のねらい

人間の行動について科学的な方法によるリサーチの技術と推論の論理を身につけるため、教育にかかわる身近な問題について具体的に調査を実施する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な調査内容は受講者自身が主体的に提案するものとし、授業ではその内容について議論するとともに調査を実施するにあたっての必要な基本プロセスを学習する。また、実際に調査を実施し、コンピュータを利用して調査結果をまとめる。その際、結果を要約するために不可欠なデータの解析法や推論の論理についても分かりやすく解説する。

履修上の留意点

調査内容は受講者自身が提案することになるので、受講前に何を調査したいのか予め考えておくことが望ましい。また、コンピュータを利用して分析を行うので多少のコンピュータに関する知識を有していることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は提出された調査結果報告書によって行う。

教科書

講義要旨および資料のコピーを授業当日配付する。

参考書等

特に指定しない。

その他

授業は討論中心の形態をとる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 教 育	古 関 すま子	11以前入学生/教職2・3・4選	4

講義のねらい

現在の青少年文化の特徴として、友人達との体を通した遊びや交わりが消え、代わってテレビゲームなど、直接身体を介さず一人で遊ぶことが増えたことがあげられる。本講義ではこのような状況の中で、「身体的無意識の集成的カタルシス」という演劇・舞踊などの舞台芸術の持つ意味を考える。更に自ら演劇および身体表現の基礎を学び、今後の教職等における実践に結びつく体験とすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を一年にわたって行う。
 学問的基盤－言語獲得の様相など人間の根源的社会性に関する発達心理学の基礎に触れる。また世界の舞踏や仮面劇など文化人類学的知見も広げ、「身体の記憶を通し、集成的無意識のカタルシスに向かう」という舞台芸術のダイナミズムを捉え、教育の場におけるその意味を把握する。
 具体的実践－シェークスピアなど幾つかの戯曲を学び、またビデオ鑑賞などを行う。身体の感覚や表現力を高めるための、腹式呼吸・マチエール・摺り足歩行など5段階からなるレッスンを体験する。

履修上の留意点

動ける服装で。積極的に楽しんでください。

成績評価の方法

授業中の発表・レポート提出・実技の三つの総合点。

教科書

授業中に指示するが多くはプリント。

参考書等

授業中に指示するが多くはプリント。

その他

この科目は、平成11年度までに「児童文化」の単位を修得したものは、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後期)	鈴 木 朋 実	12以降入学生/教職2・3・4選 (全学科)	2

講義のねらい

現代の社会は急激な変化に伴って解決の難しい多くの問題を発生させている。これらの問題は、教育の在り方に直接的、間接的に重大な影響をおよぼしている。わが国の場合、社会的変化は、とりわけ、1960年代の経済成長政策以降、テンポを速め、激しさを増している。講義では、わが国の高度経済成長期以降の社会的変化の過程で生じた重要な問題と教育との関係を明らかにして、将来を展望し、問題解決の方途を探ることをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次の3セクションに分けて行う。
 第1セクション：「高度経済成長にともなう社会の諸問題と教育」－9月
 第2セクション：「情報化にともなう問題と生涯学習」－10月、11月
 第3セクション：「自由化をめぐる問題と教育」－12月、1月

履修上の留意点

現代の社会への問題意識。

成績評価の方法

出席状況・レポート・試験により、総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業方法－講義に討論場面を加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年問題研究	さぬき 眞佐子	教職2・3・4履(全学科)	4

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不適応状態や問題が長期化傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す一つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心のテーマになると思われる。講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達や事例に即して具体的に学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中での青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

履修上の留意点

授業は講義中心となるが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況（授業態度を含む）も重視する。

成績評価の方法

出席状況と定期試験

教科書

必要な資料は適宜配布する

参考書等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』
『日本人の深層分析』第9巻と10巻（有斐閣）
- ・季刊『仏教——特集癒し』No. 31（法蔵館）2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（楡出版）『子どもの宇宙』（岩波新書 386）
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）1,200円
- ・小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』（心理臨床の実際 2）金子書店 4,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教教育	小山一乗	教職2・3・4選(全学科)	4

講義のねらい

命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教(の)教育」の法的思考(Legal mind)、そこに看取されるいわゆる宗教的思考(religious mind)、教育的思考(educational mind)の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しさは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。この不均衡を醸成してきた歴史的背景も検証する。

講義の内容・授業スケジュール

種々様々な事例を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬等を注意深く観察する。(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア等を狙上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胎動していた異文化理解問題の史実も見る。

履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

レポート、出席点による。特に出席を尊重する。

教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』(宣協社) 2,940円

参考書等

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』(大法輪閣) 1,600円

その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅰ (前期)	豊田千代子	教職2・3・4選(全学科)	2

(P.127) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	豊田千代子	教職2・3・4選(全学科)	2

(P.128) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
視聴覚教育	佐野博彦	教職2・3・4選(全学科)	4

(P.145) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育施設	はぎ わら けん じろう 萩 原 建次郎	11以前入学生/教職2・3・4選	4

(P.131) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

(P.119) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

(P.119) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しやう きゆう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

(P.120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	しの だ よう 子 篠 田 耀 子	教職2・3・4選	2

(P.120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しやう きゆう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	しの だ よう 子 篠 田 耀 子	教職2・3・4選	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

(P.122) 参照

(3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋思想史	末木 恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>	教職教科	4

講義のねらい

初めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。1. 試験又はレポート（年1回以上）2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教科書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口 貢 <small>たに ぐち みつぎ</small>	教職教科	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概説	小池とみ子	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい	地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	現代世界の地域構成を理解することを目指して、前期は主として民族・国家の観点から各地域における民族問題・地域紛争などを取り上げる。後期は経済地理学的視点から、経済発展と地域の変容を世界の諸地域について検討し、現在の課題を追求する。
履修上の留意点	地図帳を持参していただきたい。
成績評価の方法	試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。
教科書	特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。
参考書等	高校用地図帳（『新詳高等地図』帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。） その他の参考書は講義の中で順次紹介する。
その他	授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概説	高橋健太郎	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい	社会、文化、政治、経済などの諸要素を関連づけて地域社会の実態を把握するという、人文地理学の基本概念について、具体的な事例をあげて検討する。
講義の内容・授業スケジュール	全体としては、人々の生活や地域社会のあり方を理解する際に、空間的側面からのアプローチがいかに有効であるかということ論じたい。具体的には、以下の項目を取り上げる予定である。 ◇人文地理学の位置づけ、◇地域のとらえ方、◇分布論、◇景観論、◇生業・生活様式、◇居住、◇言語、◇空間認知、◇地名、◇観光、◇エスニシティ、◇宗教・巡礼、◇中国。
履修上の留意点	講義内容についての理解の具合を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し、提出していただく。
成績評価の方法	定期試験の結果にレポートの提出状況を考慮して評価する。
教科書	特定の教科書は使用せず、授業時にプリントを配布する。
参考書等	高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学概説	高木正博 <small>たかぎまさひろ</small>	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい	自然地理学の分野のうち、河川や地下水などにかかわる水の地理学を中心に講ずる。 近年、河川環境や地下水の汚染・保全などに関心が寄せられている。これらのテーマを考 えるため、その基礎となる河川や地下水の水文特性について、地域事例をもとに説明する。
講義の内容・ 授業スケジュール	次の諸点について講ずる。 1) 水循環・水収支など水文学の基礎について 2) 河川や地下水の水量・水質などの特性と地域とのかかわりについて 3) 河川地形と水災害について 4) 身近な水源としての地下水・湧水の保全などについて 地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても概説する。
履修上の留意点	講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う 課題を提示する。地概要域を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。
成績評価の方法	学年末定期試験と夏休みの課題の他、授業中に随時実施する課題など平常点も加味して行う。
教科書	授業時間にプリントを配布する。
参考書等	配布プリントをとおり随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学概説	早船元峰 <small>はやふねげんぽう</small>	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい	人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかに あるべきかを災害などの環境問題を通して考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人 間と自然とのかかわりあい（人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ）を主に環境 地誌的立場から論じる。
講義の内容・ 授業スケジュール	・関東平野の地形発達史 ・北海道本部の気候地形 ・傾斜地の土地利用の変化と環境保全 ・気温と湖水温の垂直分布の季節的变化と人間とのかかわり ・その他
履修上の留意点	国土地理院発行の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業（高度別着色・ 地形断面図など）をして、理解を一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレース紙・硬質色鉛 筆・黒色水性ペンを各自用意すること。
成績評価の方法	課題・小テスト・出席状況などによる平常点。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	かわもととよかず 川元豊和	教職教科	4

※経 B・法 B・営 B（12 年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい

南アジア・東南アジアの地誌について授業を進める。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960 年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴や工業化・都市化にともなう村落の変貌などについて、最近の地域研究の成果を紹介してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

①地域研究について ②稲作における「緑の革命」 ③バングラデシュ農村における近年の農業の変化 ④バングラデシュ農村における土地所有と小作制度 ⑤バングラデシュ村落の変貌と都市化 ⑥マレーシアにおける多民族社会の形成 ⑦半島マレーシアにおける地方都市の発展 ⑧サラワク州におけるイバンの生活

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教 科 書

特に定めず、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業内において、その都度紹介する。

そ の 他

講義中心の授業であるが、スライドやビデオの使用も予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	あら い さい ほ 新 井 祥 穂	教職教科	4

※経 B・法 B・営 B（12 年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい

農山村が現在直面する問題を、机上の空論や過剰な思弁を避け、現場の感覚から理解すること。

講義の内容・
授業スケジュール

わが国の農村・山村・離島部では、かつて基幹産業であった第一次産業が長く停滞しており、そこに居住する人々は、就業先の確保をはじめ生計の組み立て方に様々な困難を抱えてきた。高度成長期以降、これらの地域に多大な公共投資がなされてきたのもこうした理由による。

しかし、国家財政が逼迫するなかで、1990年代以降は政策的な介入が簡単には認められなくなってきている。つまり現在は、いったい何が公共的に解決すべき問題であるか、改めて吟味すべき時期にきているといえよう。この作業には、現場からの精確な情報とそれにもとづいた検討が不可欠であるが、これらの地域について、そしてそもそも政策と人間の関係については、理念やイメージが先行し、その経済・社会に政策が何をもたらしたかという本質的な情報は以外に少ない。

本講義では、日本の農村・山村・離島部がどのような経済社会であるのかについて、具体的に精確な理解を目指す。その際に、これまでの公共政策ではこれらの地域の内実がどのようなものと理解され、いかなる方向に誘導されていたのか、という点との比較を強く意識する。また随時、ヨーロッパや東南アジア等海外の農山村の状況やそこでの関係した公共政策との比較も織り込む予定である。

履修上の留意点

参加者には休暇等を利用して農村・山村・離島部を旅行し、地域のリアリティを体感することを期待する。

成績評価の方法

成績評価は年度末の試験（1回）で行う。これに、随時とる出席も考慮する。

教 科 書

特に指定しない。オリジナルな配布資料をこちらで用意する。

参 考 書 等

ピンチ著 神谷浩夫監訳 2001.『福祉の世界』（古今書院）

そ の 他

講義形式をとる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学概説	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	教職教科	4

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

世界と日本の地域システムとその変化について学習する。特に、教職教科であるので、講義だけでなく地誌の教育と学習という観点から、テストや地図作業なども取り入れたい

講義の内容・授業スケジュール

①地誌学とは何か(地誌と地理学の研究、地誌の教育と学習)、②地図を活用する(地図帳、主題図、地形図を読む)、③世界の諸地域(北米大陸、ヨーロッパ、東南アジア)、④日本の諸地域(自然景観の特色、災害と日本列島、農業地域・都市地域・余暇地域の特色)などについて、最近の地理学の地域研究成果を紹介しながら概説する。
講義だけでなく、地図の読図作業や地誌に関するテスト(高校生レベル)も随時実施する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫編『ジオグラフィー入門』(古今書院)1996年 2575円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、配布プリントとOHPを利用して行い、課題や小テストも実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	まつもと のぶみち 松 本 信 道	11以前入学生/教職教科	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を政治的・社会的・思想的・宗教的環境のなかで有機的にとらえてゆくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的な視点とし、古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートで評価したい。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史』古代編(吉川弘文館)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	やまぐちまさひろ 山 口 祐 弘	教職教科	4

講義のねらい

「すべての真の歴史は現代の歴史である」というクローチェの言葉を手引きとして、「歴史とは何か」という問題を様々な思想家の見解によりつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生の様態と歴史の類型（ニーチェ）
2. 歴史の哲学的考察（カント）
3. 哲学的歴史の構想（ヘーゲル）
4. 歴史認識と価値（ヴィンデルバンド）
5. 文化科学の客観性（ウェーバー）
6. ホモ・ファーベルとポイエーシスの世界（西田幾多郎）
7. 歴史の存在構造（メルロ・ポンティ）

成績評価の方法

出席を重視する。成績は平常の学習態度と期末に課す小論文の評価によって判定する。

教 科 書

E・H・カー『歴史とは何か』（岩波新書）
B・クローチェ『歴史の理論と歴史』（岩波文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説	てぐちひろゆき 出 口 宏 幸	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい

日本の歴史を概説的に学ぶことにより、各時代の社会のあり方について考える。その際、できるだけ現代社会との対比をすることで、歴史上の問題をより身近な感覚で捉えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

古代～近・現代へと続く時代の流れには、いくつもの画期があり、社会的にも様々な変化を遂げてきた。そこで、日本の歴史を概説的に学び、その展開過程を考えることで、各社会を有機的に捉えたい。なかでも、近代社会の直前に位置し、幕藩体制が260年もの間続いた近世社会に注目し、その多様性と独自性などについて、時間が許す範囲で詳しく言及したい。

また、歴史を理解するには、政治・経済・文化、あるいは都市と農村など、様々な角度からのアプローチが可能であるが、できるだけその時代に生きた人々に焦点をあて、その生活をピットに描くことに努めたい。

歴史上に起こった事件や、いろいろな問題の背景を探りながら、その時代を追体験する。そのことが年代や事件を記憶することから、一歩踏み込んだ歴史学の世界への入り口になれば、と思う。

成績評価の方法

試験 80% 平常点 20%

教 科 書

特に指定しない。必要な資料はコピーを配布する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	小松としはる 寿治	教職教科	4

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

社会科教員として最低限の日本史に関する知識をつけてもらえればと思います。したがって高校時代に日本史の経験がなくても問題はありません。

講義の内容・授業スケジュール

講義は日本史全般を話すつもりですが、武士の時代が中心になります。板書を多くしますのでノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

成績の評価は試験で行いますが、出席を重視しますので、より多く出席することを望みます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
世界史概説	井村ゆきこ 行子	教職教科	4

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

講義のねらい

西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1講 世界史の成立
- 第2講 古代オリエント
- 第3講 古代地中海世界(1)
- 第4講 古代地中海世界(2)
- 第5講 中世ヨーロッパ世界
- 第6講 ビザンツ帝国と正教世界
- 第7講 近世ヨーロッパ(1)
- 第8講 近世ヨーロッパ(2)
- 第9講 近世ヨーロッパの社会経済(1)
- 第10講 近世ヨーロッパの社会経済(2)
- 第11講 オスマン帝国と東ヨーロッパ
- 第12講 革命の時代
- 第13講 自由主義と発展主義
- 第14講 諸国民の春
- 第15講 帝国と国民統合
- 第16講 ベル・エポック
- 第17講 ハプスブルク帝国とラテンアメリカ
- 第18講 世界戦争の衝撃
- 第19講 大衆動員の時代
- 第20講 大恐慌と一国主義的分立状況の出現
- 第21講 社会主義的ユートピア
- 第22講 戦後世界と冷戦
- 第23講 冷戦の終結と新世界秩序
- 第24講 エスニシティとジェンダー

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績による。

教科書

近藤和彦編『西洋世界の歴史』(山川出版社)1999 3,200円(必ずしも購入しなくてよい)

参考書等

開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

その他

歴史映画のビデオ等によって歴史的なイメージの喚起に努めたいが、扱わなければならない事項は多く、時間は限られているので、現実にはなかなかむずかしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	わた なべ 渡 辺 惇	教職教科	4

※経 B・法 B・営 B (12 年度以降入学生) も履修できます。

講義のねらい

世界史概説は担当者の関係により、東洋史と西洋史の二つの部分に分けて行われます。受講者はこのいずれか1つをとればよい。

上記のうち、私は東洋史の部分を担当します。東洋史はアジア全体を対象とするもので、その領域は非常に広く、かつ多面的です。この授業は教職科目であり、また時間の関係から、以下に記すような順序で、広く浅く行うことになります。換言すれば“アジア歴史散歩”とでもいえましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 世界史教育の歩み

学校教育における世界史という科目は戦後の教育の中で新しく成立したもので、はじめは東洋史と西洋史を東ねたようなものであったが、やがてヨーロッパ中心主義、大国（中国）中心主義が批判され、よりグローバルな世界史が求められるようになった。以上の経緯を文部省の世界史指導要領の変遷等を折り込んで説明したい。

(2) アジアの歴史世界は多面的でモザイクである。それゆえ、以下のような5つの世界に分けて、それぞれの世界の歴史の舞台となった自然環境、風土、そして歴史展開の特色などについて概観する。

- a. 東アジア世界；中国を中心とし、その周辺を含む地域。農耕生活。
- b. 中央（内陸）アジア；海への出口をもたない砂漠と草原の地域。遊牧とオアシス農耕の生活。
- c. 西アジア世界；オリエント及び地中海の一部を含む乾燥風土の地域。オアシス農耕と遊牧生活。
- d. 南アジア世界；インドを中心とした地域。農耕生活。
- e. 東南アジア世界；半島部と世界最大の多島海よりなる地域。海洋生活。

履修上の留意点

出席は必ずとります。

成績評価の方法

評価は定期試験、平常点に出席点を加味する。

そ の 他

またビデオを活用して、各地域の特色を視覚を通して把握することも行いたい。その際感想文を書いてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原論	わた なべ ちと き 渡 辺 源 樹	教職教科	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容とそれに必要な準備

- 第1回 社会学とは何か
社会的事実／実証性“予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為
なぜ“action”からなのか／社会の基礎的単位としての行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程
人間の行為は“inter”して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
1、役割の取得－社会化 フロイドとパーソンズの“社会化の過程”を中心に
- 第5回 2、役割の準拠－準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
- 第6回 3、役割の葛藤－マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとしての職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為
1、規範と同調－逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
- 第8回 2、ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論 マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1、社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
- 第12回 2、社会有機体説と構造・機能／機能連関／機能要件（AGIL 図式）
- 第13回 3、集団と構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第14回 4、集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM 理論とリーダーシップ
- 第15回 5、集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第16回 前期試験 集団・文化・パーソナリティ
- 第17回 組織論と官僚制
1、組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第18回 2、官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原則（ウェーバー、ミヘルス）／支配・権力・権威
- 第19回 3、官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／グールドナー、ブラウの官僚制論
- 第20回 社会意識
1、社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第21回 2、ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第22回 3、社会的性格
イ、フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第23回 ロ、ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第24回 4、社会的態度（社会心理） 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第25回 全体社会の構成
1、経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第26回 2、政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
- 3、法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
- 4、教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第27回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）。

教科書

開講時に提示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤憲昭	教職教科	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とマナ（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポートで評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社、学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あ べ ひろし 阿 部 弘	教職教科	4

講義のねらい

「経済理論」という科目は「経済学の体系」を示すものです。この講義は、経済学部で設置している「経済理論」のIAであり、主としてマルクスの『資本論』を土台として講義・演習をおこないます。

一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」としていて、階級社会における、「体制的な経済学」に対する批判を展開しています。この講義では、現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組について、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判したその内容と現在の問題とを比較しながら、「経済学」はどうあるべきかを、受講生の皆さんと共に考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- I 「富」とは何か
 - 1 「富」とは何か
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
 - 1 資本の生産
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 資本の運動法則
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会—まとめ

成績評価の方法

- レポートによる評価
- (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2) レポートは、第1回目：7月
第2回目：10月
第3回目：11～12月
第4回目：1月

このばあい、第1回目は講師が受講生全体に共通のテーマを提起します。そして2回目以後は受講生の皆さん各自が作成したレポートからテーマをそれぞれ設定します。

- 2 その他：「定期試験」、それに付随する「追試」、そして「再試」は行いません。

教科書

教科書・参考書等については講義の中で指定しますが、講義の性格上、マルクスの『資本論』は必読文献です。ですから、基本として次の文献を指定しておきます。

マルクス：『資本論』（大月書店）（国民文庫）1-9分冊。

池上惇：『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリー）

その他

講師との連絡方法

受講生と講師が連絡できるように、次に講師の住所等を掲載しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204 TEL 03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2358、TEL 03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	はた なか たかし 畠 中 貴	教職教科	4

講義のねらい

ミクロ経済学の基礎的な内容（家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、市場機構が果たしている基本的な役割、市場機構がうまく機能しないケース）を講義する。初歩的な数学（関数、微分）も併せて一から講義する。

この講義の目標とするところは、以下の2点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための能力を磨く。
- (ii) 注意深く筋道だった思考ができるようになるための訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に教科書に沿って行う。数学については、適宜プリントを配布する。前期は、第1章（価格理論の考え方）、第2章（需要と供給）、第3章（消費者の選択行動）、第4章（消費者行動と需要曲線）、第5章（純粋交換経済）を扱う予定。後期は、第6章（費用と供給）、第7章（生産と費用最小化）、第8章（費用曲線と供給曲線）、第9章（競争市場と市場均衡）、第10章（長期均衡の性格）、第11章（独占と寡占）、第12章（市場機構と効率性）を扱う予定である。

履修上の留意点

上に挙げた目標を達成するためにはまず、教科書に書かれている内容を正確に理解し、ミクロ経済学の理論体系をしっかりと頭に入れる必要がある。抽象的な理論の内容は、一度説明を聞いただけではなかなか頭に入らない。根気よく予習・復習を行い、1年を通して頭を働かせ続けることが肝要である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。

教 科 書

倉澤資成著『入門価格理論』第2版（日本評論社）3000円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	教職教科	4

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。現在わが国の失業率は上昇傾向にあるというが、その要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるさきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
2. 国民経済計算と国民所得の考え方
3. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化とGDPの関係
5. 消費と投資
6. IS-LMモデルと財政金融政策
7. インフレとデフレについて
8. 国際貿易
9. 政府の経済的役割
10. 総需要と総供給
11. 貨幣とマクロ経済
12. 貨幣政策と金融政策
13. 為替市場と金融政策
14. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよ。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立ちおすすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、ノートをしっかりととり、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケイタイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートの成績を総合評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミクス』（成蹊堂）1995年。

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）2003年。これは公務員試験の問題集だけど他の国家試験の受験対策にも十分通用する。できる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の内容や主なトピックスをKOMSYに掲載するし、経済学部浅野ゼミのHPにも練習問題やその模範解答を載せるから、必要に応じて参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	教職教科	4

講義のねらい

乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解、経済成長と技術進歩の理解という5つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容は次の通り。

1. 国民経済の成立
2. 所得の循環図式
3. 国民所得の概念
4. 国民所得の決定
5. 政府・輸出入の導入
6. 乗数理論
7. ビルト=イン=スタビライザー
8. 貨幣とは何か
9. 信用通貨の成立
10. 信用創造理論
11. 貨幣数量説と古典派学説
12. 流動性選好説
13. LM 曲線
14. 投資関数
15. IS 曲線
16. IS=LM 曲線による均衡実質国民所得の決定
17. マンデル=フレミングの定理
18. IS=LM=BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解
19. コブ=ダグラス生産関数に基く経済成長率の算出
20. ハロッド=ドーマーモデル
21. 新古典派成長理論
22. 期待理論その1
23. 期待理論その2

成績評価の方法

再試験実施。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	おののてつし 小野哲司	教職教科	4

講義のねらい

この授業ではミクロ経済学の初歩的な講義を行う。1年生も受講する授業なので、経済学の知識がゼロでも理解できるように、最も基本的なところから話を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

経済分析の基本である需要曲線と供給曲線の性質およびその変化、需要と供給の均衡についてまず理解してもらう。その後消費者余剰分析、独占均衡との比較、外部性の考慮など、均衡分析の応用を講義する。以下のような内容を予定している。

1. 消費と需要
 - 消費者行動と需要
 - 需要曲線の性質
 - 需要曲線の移動
2. 生産と供給
 - 企業行動と費用
 - 費用と供給曲線
 - 供給曲線の移動
3. 需要と供給の均衡
 - 競争と市場の均衡
 - 経済状況の変化と価格の変化
4. 生産の社会的利益
 - 消費者余剰
 - 生産者余剰
 - 余剰分析の応用
5. 独占
 - 競争と不完全競争
 - 独占と完全競争の比較
 - 寡占とゲーム理論
 - 競争促進政策
6. 外部性
 - 私的費用と社会的費用
 - 外部不経済と課税・補助金

成績評価の方法

基本的に試験による。学年末試験1回のみか、中間試験も実施するかは未定。中間試験を行う場合は1月前位までに予告する。

教 科 書

授業中にプリントを配布するので、いまのところ教科書使用の予定はない。

参 考 書 等

授業の中で言及する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 I	おお <small>みや</small> たかし 大 宮 隆	教職教科	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活(財産関係と家族関係)を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。よって講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んでくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

『新民法概説(1) 総則・物権』(有斐閣双書) 1,900円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学原論	井戸正伸 <small>いどのまさのぶ</small>	教職教科	4

講義のねらい

大学で学ぶ政治学は、高校の「政治・経済」、「日本史」、「世界史」（特に、近現代史の部分）の理解を前提としています。大学の政治学が難しいという場合、意外にも（？）、学生の皆さんの高校での授業内容の理解があやふやである、ということがその理由となっていないでしょうか？この講義では特に、高校の「政治・経済」と大学の政治学との橋渡しを行うことによって、政治学への導入を試みたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

次のスケジュールで、授業を進めていきます。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 大学における政治学とは？ | 13. 日本における議院内閣制 |
| 2. 社会契約説 | 14. 日本の利益集団 |
| 3. アメリカ建国の政治思想 | 15. 日本の選挙 |
| 4. 反革命の政治思想 | 16. 日本の政党 |
| 5. 自由主義の政治思想 | 17. 日本の地方自治 |
| 6. 社会主義の思想 | 18. 国際連合 |
| 7. 20世紀の思想 | 19. 冷戦から「文明の衝突」へ？ |
| 8. 政治制度：議会制と大統領制 | 20. 民主政治と平和 |
| 9. 現代民主政 | 21. 国際政治と人権 |
| 10. 非民主的体制 | 22. むすび |
| 11. 政党と政党制 | |
| 12. 日本の国会と立法過程 | |

履修上の留意点

教科書に沿って、授業を進めていきますので、予習をして講義に出てください。

成績評価の方法

出席、中間試験、期末試験の成績にもとづいて、総合的に判定する。

教科書

松本・川出『近代国家と近代革命の政治思想』（放送大学教育振興会）2,000円
 眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）1,800円
 安部・新藤・川人『概説 現代日本の政治』（東京大学出版会）2,500円
 鴨武彦『世界政治をどう見るか』（岩波書店）800円

参考書等

その都度、プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 宗 教 文 化 史	お ^{がわ} 小 ^{とし} 川 ^{ゆき} 順 敬	教職教科	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）
ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。
山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

レポートその他で評価する。

教 科 書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 衆 宗 教 成 立 史	つ ^{しろ} 津 ^{ひろ} 城 ^{ふみ} 寛 文	教職教科	4

講義のねらい

この講義は、民衆宗教の前提となる、基層文化、民衆文化、深層文化などと呼ばれるテーマを、日本を領域として考察し、民衆宗教、民俗宗教の理解に役立つことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにそって、歴史的深層、文化・心理的深層、民族主義的な深層、宗教文化の深層について、解説を加えながら進める。

履修上の留意点

基本的に板書はしないので、テキストを必ず準備すること。

成績評価の方法

成績評価は、講義中の態度、質疑、随時のレポート、学期末の最終レポートの総合によって行なう。基本的に出席はとらない。

教 科 書

津城寛文『日本の深層文化序説』（玉川大学出版部）1990年

参 考 書 等

参考書は、テキストに掲載してあるほか適宜紹介する。

そ の 他

とくになし。通常の講義スタイル。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい	テーマは「生活の中の宗教」。現代人にも身近な生活のトピックを取り上げ、比較宗教学的な視点から考察する。
講義の内容・授業スケジュール	具体的なトピックとしては、「儀礼と祭り」「弔いと供養」「イスラームとは何か」「憑依の諸相」などを考えている。各種のビデオを活用したい。
履修上の留意点	学生参加型の授業とする。受講者には最低1回は発表してもらう。
成績評価の方法	課題の発表、授業中の議論、出席状況から、総合的に評価する。
参考書等	講義のなかで適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	あらい けん 洗 建	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい	宗教学は、宗教現象を実証的に研究し、宗教を信じるのが、人間生活や社会にどのような意味を持ち、どのような働きをするものであるかを明らかにしようとする学問である。宗教学においてこれまでどのような研究が行なわれ、どのようなことが明らかにされたのかを概観し、宗教学的ものの見方を理解してもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	宗教学の立場、原始宗教、神と法、宗教的世界観、宗教儀礼、宗教と社会、宗教体験、宗教の機能などについて考察する。
履修上の留意点	事実を覚えることより、宗教学の考え方を理解してもらいたいので、できるだけ出席してもらいたい。私語のないように願う。
成績評価の方法	期末試験による評価を原則とするが、出席点、レポート提出なども配慮する。
教科書	脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）940円＋消費税
参考書等	その都度、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい

宗教のもつさまざまな側面のうち、ここでは、人間が他界を志向するという面と、信仰は社会的表現をとるという面と、この二面に注目し、「宗教と他界」「宗教と社会」という大きなテーマの中で、宗教の多面性を考える。

講義の内容・授業スケジュール

「宗教と他界」のテーマの中では、呪術、シャーマニズム、スピリチュアリズム、神秘主義、死後生命の信仰、などを論じる。「宗教と社会」のテーマの中では、政治と宗教、市民宗教、公共宗教、現代宗教、などを論じる。

履修上の留意点

宗教に関心のない者、知的向上心の弱い者は、履修を遠慮してもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、講義中の態度、質疑、随時のレポート、学年末の最終レポートの総合によって行なう。基本的に出席はとらないので、自主的な参加と、自主的な学習意欲が求められる。

教科書

テキストは用いない。

参考書等

参考書は、適宜紹介する。

その他

とくになし。通常の講義スタイルである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 概 説	す え き や す ひ こ 末 木 恭 彦	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。一哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい——そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理學の主要著作の中から『新原道』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新原道』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する。）

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山書房）／佐藤慎二編『近代中国の思索者たち』（大修館書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	なかむらともたろう 中村友太郎	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい	自己と他者の関わりの問題を中心とする現代思想の展開を学びつつ、自ら哲学的思考のいとなみに参与する機会を提供することを主眼とする。
講義の内容・授業スケジュール	そのために、まずは近代思想における自己意識の確立・形成を展望した上で、現代世界にあって問い進められている他者論の探求へと思索を進める。
履修上の留意点	単なる知識の習得よりも、共に考えることを重視するので、何よりもまず能動的な参加の姿勢が前提として求められる。
成績評価の方法	レポートや試験の課題と共に、日頃の授業への積極的な参加態度も含めて、総合的に成績評価する。
教科書	教材に関しては開講時に提示するが、適宜にプリントを配布し活用する。
その他	なるべく多くの時間を、参加者相互の意見交換・討論に当てるように工夫したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学概説	かわたにあつし 河谷淳	教職教科	4

※経B・法B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい	倫理学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では (a) 古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で (b) 現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では概ね次のような内容を取り扱う。 (a) 西洋倫理思想史 徳倫理学（古代ギリシア）：プラトン、アリストテレス 義務論：カント 功利主義：ベンサム、ミル (b) 現代倫理学の諸問題 生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題 （インフォームド・コンセント、安楽死・尊厳死、クローン技術などをめぐる諸問題）
履修上の留意点	授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。
成績評価の方法	中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

【職業】

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業概説	前田 幸一 <small>まえ だ ゆき かず</small>	教職教科	4

※経Bも履修できます。

講義のねらい	戦後の日本経済の発展と産業構造の変化について考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	①日本経済の成長と低成長、産業構造、工業構造、経済のサービス化・ソフト化、経済のグローバル化、中小企業、ベンチャービジネス、先端技術産業、そして各産業界を概説していく。 ②授業では、新聞紙上等で得られた自分の興味ある産業や企業のニュースを各自短く発表してもらう。
履修上の留意点	日経新聞などの経済・産業欄には目を通しておくこと。
成績評価の方法	レポートや平常点で成績評価をする。
教科書	開講時に提示する。
参考書等	開講時に提示する。
その他	工場見学等実施予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業指導	前田 幸一 <small>まえ だ ゆき かず</small>	教職教科	4

※経B・営B（12年度以降入学生）も履修できます。

講義のねらい	わが国の職業教育制度史及び職業指導発達史を概観し、現代の職業指導を考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	職業指導の概念と問題 工業化と職業教育・職業指導 現代の職業 職業指導の方法 学校における職業指導 職業と生涯教育
成績評価の方法	レポートや平常点で成績評価をする。
教科書	開講時に提示する。
参考書等	開講時に提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業実習	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経Bも履修できます。

講義のねらい

商業活動における事務処理の基礎的な知識及び技術を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

国民経済における流通の動きや売買を中心とした商業活動を概観する。
手形・小切手の取扱い
簿記の基本原則
企業の事務文書の作成
決算報告書

成績評価の方法

平常点とレポート提出で成績評価する。

教科書

開講時に提示する。

参考書等

開講時に提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
農業実習	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	教職教科	4

※経Bも履修できます。

講義のねらい

日本の農業は土地不足、生産コスト高騰、高齢化など多くの問題を抱えている。そうした中で、保護貿易主義の高い壁を守り続けることで、日本農業の窮地を救うのか、それとも生産基地を海外に移すのかという二者択一の選択を迫られている。
本実習では、農作業体験を通して、農業が食料生産だけでなく、多様な公益的機能（たとえば洪水防止、教育効果、自然文化資源の提供など）を果たしていることを学んでもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

数回の農作業体験を行う。農村での合宿も計画している。

履修上の留意点

実習を受け入れてくれる農家に迷惑をかけることにならないよう、それなりの心構えで参加すること。

成績評価の方法

農作業体験に基づき、食農教育をいかに考えたらいいかについて、レポートを提出、それにより評価を行う。

【商業】

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業指導	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

(P.92) 参照

※経B・法B・営B(12年度以降入学生)も履修できます。

[フレックスB・第2部]

(1) 教職に関する科目 (必修)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 職 入 門 (後期)	ふじ き あつ のり 藤 木 篤 典	12年度以降入学生/教職1必	2

講義のねらい

高度消費社会のもと、国際化・情報化の進展の中で、過密・過疎、少子化による人間関係への影響、近年の不況等が及ぼす多様化した生徒をどう教育するか。日本の教育界は価値観の多様化で多くの問題を抱えている。

それらの問題を解決するための力量が教師に求められる。制度面でも多様な高校（通信制、昼夜固定時制、全・定単位制、総合学科）が設立されている。

この講義では、教師になるための勉強の第一歩として、知ってほしいことを学びます。生徒は、教師の接し方、アドバイス等で大きく変化します。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ・教員免許状と学校
- ・特別教育活動
- ・教育相談
- ・採用試験
- ・指導面：各教科、選択科目・種目
単位・科目の成立 板書の工夫
- ・教育内容：知・徳・体育 教育目標
禁止される教育
- ・教育方法
- ・制限・禁止されるもの——校内委員会
セクシャルハラスメント 両性の平等
性・人種・民族・出自による差別
- ・地域との関係：学校評議員制度
- ・関係団体：PTA 同窓会 後援会
- ・研修：内地留学制度 校外での研修
- ・その他：ジェンダー 国際交流
障害児教育
- ・生徒指導：生徒の身分に変化のあるもの

- ・教育課程の成立

- ・学校行事

- ・特色ある学校

- ・勤務条件と身分

成績評価の方法

出席点とレポート等の提出による評価

教 科 書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想（前期）	伊藤 茂樹	教職2必	2

※経A・法Aおよび商・政治・営Aの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・近代社会と教育
- ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会（後期）	伊藤 茂樹	教職2必	2

※経A・法Aおよび商・政治・営Aの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学(前期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	教職 2 必	2

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史的変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

ない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学」「青年心理学」の単位を取得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習(後期)	かわだみつお 川田三夫	12年度以降入学生/教職2必	2

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- 1) 教授-学習課程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習（教育）をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育学・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史の変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程（学校教育の基本について）
- 8) 教授-学習過程（学習指導、学級集団、生徒指導）
- 9) 教育評価の歴史の変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領（改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等）
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題（授業時間、教科書、教科書検定、等）
- 13) その他（教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等）
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、前期に「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア(後期)	いし ばし たつ や 石 橋 達 也	教職2・3必	2

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育/学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な操作や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の注意点や問題点についても検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会の参加態度など。

履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、毎回まじめに出席することと授業に積極的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

参考書等

授業の中で必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく予定です。

その他

授業の中で、毎回コンピュータを使用する実習時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも積極的な「学ぶ意欲」があれば、安心して学習していけるはずです。

教室のパソコンの台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、学部(昼間)の後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究(前期)	やま だ ただ ゆき 山 田 忠 行	教職2・3必	2

※経A・法Aおよび商・政治・営Aの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「道徳教育」の充実、我が国の大きな課題であり、学校教育全体において充実した取り組みが必要である。そのために、小・中学校においては教育課程に「道徳」が位置付けられ、高校においては、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行わなければならない。この「道徳教育」の教育的意義や目標及び内容、方法等について理論と実践の両面から研究を行う。道徳教育を進めるに当たっては、豊かな体験を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成が求められる。教師としての実践的な指導力を身につけるために、道徳教育の内容や活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

①道徳教育の歩み ②今求められる心の教育 ③道徳教育の基本的な在り方 ④道徳教育の目標 ⑤道徳の指導計画 ⑥道徳の指導内容 ⑦道徳の学習指導案 ⑧道徳の資料の開発と活用 ⑨全教育活動における道徳教育 ⑩内面に根ざした道徳性の育成 ⑪家庭や地域社会との連携 ⑫道徳教育の充実のための課題

履修上の留意点

文献に基づく道徳や道徳教育に関する理論的な研究とともに、道徳教育の具体的な指導計画の作成や指導内容、指導方法等について理解を深め、指導力を身に付けてほしい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成やレポート等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説－道徳編－』（財務省印刷局）260円

参考書等

七條正典・押谷慶昭編著『中学校新教育課程の解説－道徳－』（第一法規）1,300円

その他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した、小レポートを提出する等

科目名	担当者名	配当学科	単位
特別活動(後期)	やま だ ただ ゆき 山 田 忠 行	教職2・3必	2

※経A・法Aおよび商・政治・営Aの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「特別活動」は、望ましい集団活動を通して、好ましい人間関係を形成し、社会の一員としての自覚と責任ある態度を身につけるとともに、人間としての生き方を探求し自己を生かす能力などを養うものである。この「特別活動」の教育的意義や目標及び内容、方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。特に、実践的な面では、特別活動の活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行い、実践的な指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

①特別活動の教育的意義 ②特別活動の歴史の変遷 ③特別活動の目標 ④学級の役割 ⑤学級活動の特質 ⑥学級活動の内容 ⑦学級活動の展開と生徒指導 ⑧学級活動の指導案 ⑨生徒会活動の特質と活動内容 ⑩学校行事の特質と活動内容 ⑪ボランティア活動、地域との連携 ⑫ガイダンスの機能の充実、総合的な学習の時間

履修上の留意点

人間形成に果たす特別活動の役割について研究を深めるとともに、特別活動の具体的な指導計画の作成や指導内容、指導方法など、実践的な指導力を身に付けてほしい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成やレポート等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説－特別活動編－』（ぎょうせい）70円

参考書等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『中学校新教育課程の解説－特別活動－』（第一法規）1,300円

その他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した、小レポートを提出する等。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生徒指導論 (進路指導を含む)(前期)	えん どう つかさ 遠 藤 司	教職2・3必	2

※経A・法Aおよび商・政治・営Aの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒（他者）の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷 2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題 3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察 4. 教師-生徒関係の中での生徒指導、進路指導 5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。また、「ただその場にいる」だけではなく、積極的に参加しているということを、授業者に伝えるよう努めることを望む。

成績評価の方法

学期末のレポート提出を基とするが、授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

その他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育臨床(後期)	えん どう つかさ 遠 藤 司	12年度以降入学生/教職2・3必	2

※経A・法Aおよび商・政治・営Aの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

心の教育が重視されている現在の教育現場において、生徒が自らの生き方を考え、自己を確立するために、一方的な指導ではなく、相互の対話を基に生徒との関係を作ろうとする教師の姿勢が求められている。特に、カウンセリングに代表されるような、臨床心理学的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業においては、臨床心理学的視点に学びながら、生徒が陥りやすい心の危機に対する対処法や援助法について、実践的に学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人が人と関係をもつことの意味 2. カウンセリングマインドとは 3. 教師としてカウンセリングマインドをもつことの意味 4. 教師-生徒関係の見直しと再生の過程 5. 人間の生涯における思春期・青年期の諸問題

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。また、「ただその場にいる」だけではなく、積極的に参加しているということを、授業者に伝えるよう努めることを望む。

成績評価の方法

学期末のレポート提出を基とするが、授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

その他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(1)(前期) 〔障害児と教育〕	<small>えん どう</small> 遠藤 <small>つかさ</small> 司	12年度以降入学生/教職2・3必	2

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「総合的な学習の時間」の本質やその意義について理解するという目的の上に、本時間の運営のために必要な教師としての諸能力や態度を養う。この授業においては、あらゆる教育の根本に位置するという意味で、教育問題を考える上で非常に重要な問題であるところの障害児教育問題について、障害児教育の在り方について、実践を含めて現在の在り方まで総合的に学んでいく。最終的には、このテーマに即した授業プランを作成できるように学びを深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

「総合的な学習の時間」を実際に授業することを仮定した案を参加者に作成してもらい発表してもらうことをもとに授業を進めていくことを考えている。具体的には、参加者の数や問題意識等を把握した上で決定する。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。また、「ただその場にいる」だけではなく、積極的に参加しているということ、授業者に伝えるよう努めることを望む。

成績評価の方法

学期末のレポート提出を基とするが、授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

その他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習(2)(後期) 〔子ども・自然・家庭〕	<small>やま もと とし こ</small> 山本 敏子	12年度以降入学生/教職2・3必	2

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

家族を中心とする人間の暮らしは、人間が生命過程を維持していく上で最も大切な生存の基盤ともいうべきものですが、自然と人間との関係が近代になって大きく変容したことにより、今日では、様々な局面で危機の状態に置かれています。私たち人類はどんな難問にも直面しており、それを乗り越えていくにはどうしたらよいか。人間の生命過程に直接関わってくる「食」の問題を切り口に、子どもと自然と家庭という3つの視点を入れて考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業そのものが「総合的な学習の時間」の実践となるよう、授業の内容、進め方については受講者の皆さんと共に考え、工夫していきたいと思っています。導入として、鶴見良行著『アジアの歩きかた』（ちくま文庫）および村井吉敬著『エビと日本人』（岩波新書）を読みながら、取り上げる具体的なテーマや方法などを検討し、その後、実際に調べ考えていきます。授業全体を通して、フィールドワークにおける知のあり方や、「食」をめぐる自然-人間関係、人間-人間関係の変容、子どもにとって家庭の食卓のもつ意味などの諸問題について考察していく予定です。

履修上の留意点

受講される皆さんの主体的な参加を期待いたします。

成績評価の方法

課題への取り組み方や授業時間内の発表・報告、学期末レポートなどの総合評価。

その他

ゼミ形式で進めます。
この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	伊藤茂樹	教職4必	3
教育実習Ⅱ		12年度以降入学生/教職4必	5

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関しての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献購読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科教育法Ⅰ(前期)	なかあきとしやす 中明敏康	教職3必	2

講義のねらい

中学校学習指導要領の社会科編に示された教科の目標の実現のためにどのような学習指導を進めれば良いのか、具体的な事例からその方法論を研究する。

まず諸資料に基いた多面的・多角的な考察の方法を追及し、問題解決能力をどの様に身につけさせるのかを考える。次に、社会科三分野の目標である日本の国土や歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培う方法を考える。さらに、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うための指導方法を考える。

この講義では社会科三分野の地理的分野、歴史的分野の学習指導について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 地理的な見方・考え方の基礎的考察 | 9 関心ある主題の設定の方法 |
| 2 地図情報の活用方法 | 10 身近な地域の歴史の調べ方 |
| 3 自然環境の見方・考え方 | 11 「古代までの日本史」の取扱い方 |
| 4 開発・生活活動を通じた見方・考え方 | 12 「中世の日本」の取扱い方 |
| 5 身近な地域の取り上げ方 | 13 「近世の日本」の取扱い方 |
| 6 都道府県の取り上げ方 | 14 「近現代の日本と世界」の取扱い方 |
| 7 世界の国々の取り上げ方 | 15 国際社会の中の日本への関心の高め方 |
| 8 歴史の学び方 | |

成績評価の方法

小レポート、定期試験により評価する。出席状況を重視する。

参考書等

参考文献は授業の際に示す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科教育法Ⅱ(後期)	なかあきとしやす 中明敏康	教職3必	2

講義のねらい

中学校学習指導要領の社会科編に示された教科の目標の実現のためにどのような学習指導を進めれば良いのか、具体的な事例からその方法論を研究する。

まず諸資料に基いた多面的・多角的な考察の方法を追及し、問題解決能力をどのように身につけさせるのかを考える。次に、社会科三分野の目標である日本の国土や歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培う方法を考える。さらに、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うための指導方法を考える。

この講義では社会科三分野の公民的分野について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 公民的分野の学習の課題 | 9 「民主政治と政治参加」の取扱い方 |
| 2 公民的分野の見方・考え方 | 10 「世界平和と人類の福祉の増大」の取扱い方 |
| 3 公民的分野の目標 | 11 地理的分野と歴史的分野の学習成果の活用方法 |
| 4 「現代日本の歩みと私たちの生活」 | 12 多様な学習方法の導入 |
| 5 「個人と社会生活」の取扱い方 | 13 情報化と人々の生活の変化の取扱い方 |
| 6 「私たちの生活と経済」の取扱い方 | 14 「国際社会への変容」への関心の向け方 |
| 7 「国民生活と福祉」の取扱い方 | 15 国際理解教育の課題 |
| 8 「日本国憲法の基本的原則」の取扱い方 | |

成績評価の方法

毎回実施する小レポート、定期テストによって評価する。出席状況を重視する。

参考書等

参考文献は授業の際に示す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公民科教育法Ⅰ(前期)	や しき ただ みつ 谷 敷 正 光	教職3必	2

講義のねらい

本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方まで公民科教師としての資質・力量形成を行います。できれば、前後期の履修をのぞみます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 教育の意義
2. 社会科の成立
3. 社会科の意義
4. 高等学校公民科学習指導要領の変遷
5. 教育課程の意義
6. 高等学校の教育課程と公民科
7. 高等学校公民科の指導計画
8. 高等学校公民科の授業設計
9. 高等学校公民科学習指導案の意義と作成
10. 高等学校公民科と思考力を育む授業
11. 高等学校公民科の教育評価

履修上の留意点

- ①教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ②現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法

- ①授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ②定期試験、追再試は行いません。小テストは授業中に実施します。

教 科 書

毎時間、講義の教材として年間数十枚のプリントを配布するので、教科書は使用しません。

参 考 書 等

- 講義に関係する参考文献は適宜紹介します。①～⑥の書物は図書館で読んで下さい。
- ①大田堯『教育とは何か』(岩波新書)
 - ②槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)
 - ③谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)
 - ④谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)
 - ⑤福山憲市『資料提示の技術』(明治図書)
 - ⑥大森・谷敷『社会科教育研究』(梓出版)
 - ⑦高等学校社会科(現代社会、政治経済、倫理)の教科書
 - ⑧文部省『高等学校学習指導要領』、文部省『高等学校学習指導要領解説 公民編』(実教出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
公民科教育法Ⅱ(後期)	谷 敷 正 光 やしきただみつ	教職3必	2

講義のねらい

本講は中学校社会科で教育実習を行う学生や社会科教師を目指す学生に、「教育とは」「社会科教育とは何か」といった社会科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方をふまえた上で、後期は、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで社会科教師としての資質・力量形成を目標に行います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 高等学校公民科の目標
2. 高等学校公民科の内容・取扱い
3. 高等学校公民科の教材開発と資料の活用法
4. 高等学校公民科の板書計画と板書法
5. 高等学校公民科の発問の仕方と指導法
6. 高等学校公民科の学習形態と指導法
7. 4年生による模範授業(授業研究)
8. 公民科教師による授業1(授業ビデオ)
9. 公民科教師による授業2(授業参観・予定)
10. 模擬授業による公民科の授業実践研究
11. 高等学校公民科教師論
12. 公民科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者には「特別演習」を開講しています。)

履修上の留意点

- ①教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ②現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚室に変更することがあります。

成績評価の方法

- ①授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ②定期試験、追再試は行いません。小テストは授業中に実施。

教科書

毎時間、講義の教材として年間数十枚のプリントを配布するので、教科書は使用しない。

参考書等

講義に関係する参考文献は適宜紹介します。①～⑨の書物は図書館で読んで下さい。

- ①大田堯『教育とは何か』(岩波新書)
- ②無着成恭『山びこ学校』(角川文庫)
- ③灰谷健次郎『兎の眼』(新潮文庫)
- ④大森・谷敷『社会科教育研究』(梓出版)
- ⑤槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)
- ⑥谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)
- ⑦谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)
- ⑧浜上薫『発問づくりの技術』(明治図書)
- ⑨鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』(明治図書)
- ⑩高等学校社会科(現代社会、政治経済、倫理)の教科書
- ⑪文部省『高等学校学習指導要領』、文部省『高等学校学習指導要領解説 公民編』(実教出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 科 教 育 法	や しき ただ みつ 谷 敷 正 光	教職3必	4

講義のねらい

「専門教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなってめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「専門学科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従って、この講義のねらいは、「専門教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 専門教育・商業教育の現状
2. 専門教育・商業教育の改革動向
3. 専門教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の授業設計
8. 商業科の指導法
9. 商業科の教材開発と資料の活用
10. 商業科学習指導案の作成(実践)
11. ビデオによる商業科教師の授業研究
12. 4年生による模範授業(授業研究)
13. 模擬授業を通じての商業科の授業実践研究
14. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
15. 商業科における評価
16. 商業科教育実習における「教師教育」
17. 商業科教師論
18. 商業科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

履修上の留意点

- (1) 年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- (2) 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

成績評価の方法

- (1) 授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価する。小テストは授業中に実施。
- (2) 定期試験、追再試は実施は行いません。

教 科 書

年間数十枚のプリントを配布予定ですので使用しない。

参 考 書 等

- 講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。
- (1) 大田 堯『教育とは何か』(岩波新書)
 - (2) 産経新聞社『学校ってなんだろう』(新潮社)
 - (3) 灰谷健次郎『兎の眼』(新潮文庫)
 - (4) 斎藤喜博『授業入門』(国土社)
 - (5) 毎日新聞社『教育改革 現場の試み』(毎日新聞社)
 - (6) 岩下 修『指導案づくりの技術』(明治図書)
 - (7) 新牧賢三郎『やる気を引き出す技術』(明治図書)
 - (8) 高等学校商業科の教科書(「流通経済」「商業経済」など)
 - (9) 文部省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(大日本図書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 科 教 育 法	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職3必	4

講義のねらい

授業は中学校における職業科目の理解とその科目内の商業教育を中心に進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

職業・労働・生活
 職業科教育の目標と意義
 職業科教育の成立
 職業科教育と技術家庭科教育
 職業科授業の概要
 商業における授業と指導
 授業実践

成績評価の方法

平常点とレポートで成績評価。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

(2) 教科に関する科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説	北條文彦	教職教科	4

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

将来、中等・高等学校教員を志す者にとって必要な基礎的教養ともいえるべき日本史の、上古より現代に至る各時代の政治・経済・宗教・文化等について概説する。

成績評価の方法

筆記試験を前期と後期、夫々1回あて、授業時間内に実施し、評価する。

教科書

宝月圭吾・児玉幸多編『新稿日本史概論』（吉川弘文館）1,597円

参考書等

児玉幸多編『標準日本史年表』（B5判）（吉川弘文館）600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
世界史概説	松本弘	教職教科	4

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本年度の世界史概説の東洋史は、中東の歴史を扱う。近い将来、学生諸君が教職について世界史を担当する際、最も困難を憶える部分は、おそらく中東やイスラムに関わるものであろう。近年、教科書における中東やイスラムに関わる記述は増えており、また中東和平問題やイスラム原理主義などの報道も大きく扱われている。にもかかわらず、中東は未だ「遠いところ」であり、その理解のための情報提供や教育はますます困難さを増しているように思われる。それゆえ本講義では、イスラム成立以後の中東の歴史を詳解し、学生諸君が教職につくという前提の下、中学及び高校において中東やイスラムに関する授業を行うために、最低限必要な情報と解説を示すことを講義の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「中東（Middle East、地理用語では西アジア及び北アフリカ）」という言葉の意味から始めて、中東における民族や宗教を概観し、アイデンティティの問題を論じることによって、その社会の特質を明らかにする。加えて、ユダヤ教、キリスト教、イスラムという中東で成立した一神教の流れから、イスラムの占める位置も確認する。

次いで、預言者ムハンマドから正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝のイスラム史を概観し、その政治史や政治体制を解説するとともに、イスラム神学・法学やイスラム神秘主義といった思想史も扱いたい。

その後は、オスマン帝国の概説から中東の近代史に入り、ヨーロッパ列強の進出とそれに対する抵抗の過程を通して、「中東の近代」に関わる特質を論じる。そして、アラブ民族主義や中東和平問題から現代史に入り、イスラム原理主義や湾岸戦争後の情勢などを解説して、中東における歴史と現状の関わり合いについて、筆者なりの評価を示してみたい。

成績評価の方法

前後期2回の試験によって、成績を評価する。

教科書

教科書は特に用いない

参考書等

参考書は適宜紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学概説	かわもと とよ かず 川元豊和	教職教科	4

※経 A・法 A および商・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	主に南アジア・東南アジアを対象として、「地域の変貌」について授業を進める。
講義の内容・授業スケジュール	前半では、まず、地誌学の基本的な考え方について解説し、次に、さまざまな人文地理的事象から世界のなかにおけるアジアの特殊性や他地域とアジアの共通性などについて考えてゆきたい。後半では、まず、バングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。さらに、マレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。
履修上の留意点	高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。
成績評価の方法	出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。
教科書	特に定めず、プリントを配布する。
参考書等	授業内において、その都度紹介する。
その他	講義中心の授業であるが、スライドやビデオの使用も予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学概説	わたなべ たてお 渡邊盾夫	教職教科	4

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	この講義では、学生諸君が教職につく時の基本事項、または就職試験の時の一般教養（人文科学系）問題が解けることを目標として、進めます。 次に地理学の一つの見方である地誌を、「ある場所」を具体的にとり上げ、その場所にはさまざまな自然環境（気候、地形など）や社会環境（サービス業、農業など）があり、この中にさまざまな人間活動が営まれている。これらを総合的に分析をし、その現象を明らかにしていく方法を考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	ここでは、前期にある場所の自然環境を理解するために気候、地形そして地形図の基礎的なことを学習する。後期には、各国を地誌的な見方で説明する。
履修上の留意点	基本的には、学生諸君が日本や世界各国の様子を「何んでそこにその様な現象があるのか」という疑問で接してほしい。地誌学または地理は暗記の科目ではない。 また講義を聞く時には、高校時代に使った地図帳を必ず持参して下さい。その方が理解が早くなります。
成績評価の方法	年度末に定期試験があり、これに出席の様子を加えています。答えは自分が他の人に説明をし、理解してもらえる様を書いて下さい。その方が勉強になります。
教科書	教科書等については、特に指定しません。講義の進行に合わせて、プリントを配布します。このプリントの中に各自で必要事項を加えて下さい（試験の時に参考になります）。
参考書等	講義の時、それぞれの分野での参考図書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概説	わた なべ たて お 渡 邊 盾 夫	教職教科	4

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	ある場所の自然環境の上には、さまざまな人間活動が行われています。この人間活動を産業の点から講義を進めます。
講義の内容・授業スケジュール	前期に人文地理学の研究方法を説明し、後期には、具体的な人間活動（産業）についてプリントを配布しながら説明します。
履修上の留意点	高校時代に使用した地図帳を持参して下さい。
成績評価の方法	学年末の筆記試験と出席とを総合して評価します。
教科書	教科書については、特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。プリントの中に各自で必要事項を加えて下さい（試験の時に参考になります）。
参考書等	講義の時、それぞれの分野での参考図書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学概説	た なか こ 田 中 かの子	教職教科	4

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	昔、教職は「聖職」として尊ばれていました。今日ではあまり言及されなくなっていますが、その意味は決して失われていないはずですが。 例えば、「教諭」という言葉は、教科を教えるだけではなく、生徒の人間の成長を助けるために教師みずからの全人格的なエネルギーが注がれるべきことを示しています。それを受けとめる生徒の側にも、あらゆる人格的な応答の仕方があります。両者の関わりあい、神や仏と、その慈愛や導きを「祈り求める」者たちとの関係をあえて観ることもできるでしょう。人間としての「教諭」には躓きや弱さもありますが、「教諭」としての権威を行使するうえでは、いわば神や仏のごとく英断をくだし、智慧をはたかせる必要があるのではないのでしょうか。 教職課程の履修者が「宗教学概説」を受講すべき理由のひとつは、以上のような事情に由来するのです。 本講は、世界の諸宗教における信仰対象と信仰者の関わりあいをメイン・テーマとしながら、人間の「祈り」について様々な角度から考え、現代世界に存続する「宗教」の意義を見いだしてゆくことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	1) これまでに体験した「祈り」「祈るような想い」（自分のため・誰かのため・何かのために）、2) 誰かの「祈り」にふれて感銘を受けたこと、3) 日常生活における「祈り」とは何か、4) いのちが終わりに臨むとき、何を「祈る」だろうか、5) 「祈り」と「願い」の違いは何か、6) （植物や動物は祈らないようだが、）人間はなぜ「祈る」のだろうか、7) 教職にあるものとしての「祈り」とは何か。
履修上の留意点	講義形式だけではなく、対話形式も大切にしますので、積極的に発言してください。
成績評価の方法	夏休みと学年末の課題レポート、受講態度、出席状況にもとづく総合的評価。
教科書	必要に応じてプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	須 藤 寛 人 <small>す とう ひろ と</small>	教職教科	4

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拝、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われます。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民族の意味と歴史とを考察することによって、仏教と新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

- 先祖崇拝 今日日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、先祖祭祀という民族的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拝の考察は重要なテーマであると考えられる。
 - 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。
 - 日本の民俗 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりあげたい。
- 以上の三点を本講義の機軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着音音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートを20%、学期末の定期試験を80%とし、出欠状況を加味し総合的に評価します。

教科書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 概 説	河 谷 淳 <small>かわ たに あつし</small>	教職教科	4

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義では哲学史上のいくつかのパラドックス(逆説・逆理)を題材として取り上げながら、哲学の諸問題(認識論・存在論・行為論)について考えてみることにしたい。「パラドックス(paradox)」とは日常的な思いなし(ドクサ)から逸脱した(パラ)主張のことであって、「哲学する」ことがいわば「世界についての見方を学び直す」営みであるとするならば、パラドックスを導きの糸として思考をめぐらすことは哲学することそのものだとも言えよう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は哲学の基本的な概念を理解してもらうためにギリシア哲学を主題とした講義を行い、後期はテーマ別の講義を行う予定である。
具体的には次のようなパラドックスを題材にしたい。
ゼノンのパラドックス、ソクラテスのパラドックス、探求のパラドックス、囚人のディレンマ、嘘つきのパラドックス、自由のパラドックス、未来をめぐらるパラドックス etc.。

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験(それぞれ40点満点)と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

参考書等

中村秀吉『パラドックス』(中公新書)
林晋(編著)『パラドックス』(日本評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか 大 塚 桂	教職教科	4

※経 A・法 A および商・政治・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、および方法

B 政治の原理的究明

①政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

②共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

①制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

②機能論的究明

～政党、圧力団体

成績評価の方法

本年度もまた、受講者との相談のうえ A・B 両方式のうちのいずれかに決定します。

A 方式（レポートによる単位認定）

複数回（前・後期）のレポートを提出してもらい成績を評価します。課題報告（レポート）の作成をとおして、文献の読解力と書く能力を涵養します。

B 方式（試験による単位認定）

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。

※A 方式の場合には、追・再試験は実施しません。B 方式は、実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 概 説	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経 A および商の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	戦後の日本経済の発展と産業構造の変化について考えていく。
講義の内容・ 授業スケジュール	① 日本経済の成長と低成長、産業構造、工業構造、経済のサービス化・ソフト化、経済のグローバル化、中小企業、ベンチャービジネス、先端技術産業、そして各産業界を概説していく。 ② 授業では、新聞紙上等で得られた自分の興味ある産業や企業のニュースを各自短く発表してもらう。
履修上の留意点	日経新聞などの経済・産業欄には目を通しておくこと。
成績評価の方法	レポートや平常点で成績評価する。
教科書	開講時に指示する。
参考書等	開講時に指示する。
その他	工場見学等実施予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 実 習	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経 A および商の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	商業活動における事務処理の基礎的な知識及び技術を習得する。
講義の内容・ 授業スケジュール	国民経済における流通の動きや売買を中心とした商業活動を概観する。 手形・小切手の取扱い 簿記の基本原則 企業の事務文書の作成 決算報告書
成績評価の方法	平常点とレポートで成績評価をする。
教科書	開講時に指示する。
参考書等	開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 実 習	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	教職教科	4

※経 A および商の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

日本の農業は土地不足、生産コスト高騰、高齢化など多くの問題を抱えている。そうした中で、保護貿易主義の高い壁を守り続けることで、日本農業の窮地を救うのか、それとも生産基地を海外に移すのかという二者択一の選択を迫られている。

本実習では、農作業体験を通して、農業が食料生産だけでなく、多様な公益的機能（たとえば洪水防止、教育効果、自然文化資源の提供など）を果たしていることを学んでもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

数回の農作業体験を行う。農村での合宿も計画している。

履修上の留意点

実習を受け入れてくれる農家に迷惑をかけることにならないよう、それなりの心構えで参加すること。

成績評価の方法

農作業体験に基づき、食農教育をいかに考えたらよいかについて、レポートを提出、それにより評価を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 指 導	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経 A および商・営 A の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

わが国の職業教育制度史及び職業指導発達史を概観し、現代の職業指導を考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

職業指導の概念と問題
工業化と職業教育・職業指導
現代の職業
職業指導の方法
学校における職業指導
職業と生涯教育

成績評価の方法

レポートや平常点で成績評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

Ⅱ 学校図書館司書教諭講座

Ⅱ 学校図書館司書教諭講座

必修科目

学校経営と学校図書館〈山 田 節 子〉	119
読書と豊かな人間性〈山 田 節 子〉	119
学校図書館メディアの構成〈源 昌 久〉	120
学校図書館メディアの構成〈篠 田 耀 子〉	120
情報メディアの活用〈源 昌 久〉	121
情報メディアの活用〈篠 田 耀 子〉	121
学習指導と学校図書館〈山 田 節 子〉	122

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教諭2・3・4必	2

講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

成績評価の方法

レポートと小テストによる平常点

参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』
- 福永義臣編著『学校経営と学校図書館』（樹村房）

その他

講義・討論・ビデオ

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教諭2・3・4必	2

講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子どもの読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

成績評価の方法

レポートと小テストによる平常点

参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 赤星隆子編著『読書と豊かな人間性』（樹村房）

その他

この科目の受講は下記の1、2を終了してからが望ましい。

1. 学校経営と学校図書館（前期）
 2. 学習指導と学校図書館（前期）
- 講義・ビデオ・読みきかせ等の演習

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょう きゆう 源 昌久	司書教諭2・3・4必	2

講義のねらい	本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教科書	『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円 『日本目録規則 1987年版 改訂版2版』(日本図書館協会)3,500円
参考書等	講義中に指示する。
その他	必要に応じて、ビデオを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校図書館メディアの構成 (前期)	しの だ よう こ 篠田耀子	司書教諭2・3・4必	2

講義のねらい	図書および視聴覚メディア、その他多様なメディアの構成を学校現場に合わせて考え、選択できる実務能力の育成をはかる。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1) 学校図書館メディアの種類と特性 (2) 学校図書館メディアの選択と構成 (3) 学校図書館メディアの組織化 ・分類の意義と機能、日本十進分類法等の解説 ・目録の意義と機能、日本目録規則の解説 ・目録の機械化(コンピュータ化) (4) 多様な学習環境と学校図書館メディアの配置 ◆授業スケジュール 上記(1)(2) 4~5月 講義 (3) 6~7月 講義および実習
履修上の留意点	出欠席状況を重視するので、遅刻・欠席には十分注意すること。
成績評価の方法	5時間(5回)以上の欠席は、評価対象外。 15分までの遅刻は認めるが、その遅刻も3回で1欠席とする。 試験は行わない。 前期では、分類と目録のところで、演習を行なう。4回の演習を行なわないと、実際に、司書教諭になった場合、非常に困るので、欠かせない演習である。さらにレポートを1回提出し、出欠席状態と合わせて、評価する。4年生の場合は、教育実習の欠席を補う意味で、実習校での図書館に関するレポートを提出。
参考書等	新学校図書館学2『学校図書館メディアの構成』「新学校図書館学」編集委員会編 全国学校図書館協議会発行 1,400円
その他	現役の司書教諭という立場で、学校図書館の現状と将来への展望など実践を活かした授業を心がけたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょう きゆう 源 昌久	司書教諭2・3・4必	2

講義のねらい	学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教科書	講義中に指示する。
参考書等	志保田務(他)編『図書館と情報機器・特論—情報メディアの活用12章—』2,000円
その他	必要に応じて、ビデオを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	しの だ よう こ 篠田耀子	司書教諭2・3・4必	2

講義のねらい	学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解をはかる。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1) 高度情報化社会と人間(情報メディアの発達と変化を含む) (2) 情報メディアの特性と選択 (3) 視聴覚メディアの活用 (4) コンピュータの活用 ・教育用ソフトウェア活用 ・データベースと情報検索 ・インターネットによる情報検索と発信 (5) メディアリテラシーについて (6) 学校図書館メディアと著作権 ◆授業スケジュール (1) (2) ……10、11月 講義 (3) (4) ……11、12月、1月 講義と平行して、メディアリテラシーについてレポート (メディア分析)(11月)自己のメディア史レポート(1月)
履修上の留意点	出欠席状況を重視するので、遅刻・欠席には十分注意すること。
成績評価の方法	5時間(5回)以上の欠席は、評価対象外 15分までの遅刻は認めるが、その遅刻も3回で1欠席とする。 試験は行わない。 レポートを2回提出。メディアリテラシーと自分のメディア史というテーマで各自相当の時間をかけないと仕上がらないレポートである。この2回のレポートと出欠席状態を合わせて、評価する。
参考書等	新学校図書館学5『情報メディアの活用』『新学校図書館学』編集委員会編 全国学校図書館協議会発行 1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教論2・3・4必	2

講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学習図書館は、児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。

この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習課程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

成績評価の方法

レポートと小テストによる平常点

参 考 書 等

- 「新学校図書館学」編集委員会編『学習指導と学校図書館』（全国 SLA 刊行）
- 朝比奈大作編著『学習指導と学校図書館』（樹村房）

そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習

Ⅲ 社会教育主事講座

Ⅲ 社会教育主事講座

(1) 必修科目

社会教育計画	〈萩原建次郎〉	127
生涯学習概論Ⅰ	〈豊田千代子〉	127
生涯学習概論Ⅱ	〈豊田千代子〉	128
社会教育実習	〈豊田千代子〉	128
社会教育実習	〈萩原建次郎〉	129

(2) 選択必修科目

社会教育行政	〈荒井隆〉	130
社会教育施設	〈萩原建次郎〉	131
成人学習論	〈荒井隆〉	132
ジェンダーと教育Ⅰ	〈高井葉子〉	132
ジェンダーと教育Ⅱ	〈高井葉子〉	133
職業教育Ⅰ	〈塩川正人〉	133
職業教育Ⅱ	〈塩川正人〉	134
社会体育Ⅰ	〈古田潤子〉	134
社会体育Ⅱ	〈古田潤子〉	134
教育の思想		135
教育と社会		135
発達と学習の心理学		135
教育とメディア		135
視聴覚教育	〈佐野博彦〉	135
教育社会学	〈伊藤茂樹〉	135
教育史	〈山本敏子〉	135
教育調査	〈鈴木規夫〉	135
青少年文化	〈古関すま子〉	136
現代社会の諸問題と教育Ⅰ	〈鈴木朋実〉	137
現代社会の諸問題と教育Ⅱ	〈鈴木朋実〉	138
青少年問題研究	〈讃岐真佐子〉	138
青少年指導演習	〈平野学〉	139
博物館学Ⅰ(概論)	〈太田喜美子〉	139
博物館学Ⅱ(資料論)	〈岸上興一郎〉	140
情報メディアの活用	〈源昌久〉	140
情報メディアの活用	〈篠田耀子〉	140
読書と豊かな人間性	〈山田節子〉	140

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会教育計画	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎	社教主事2必	4

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	社会教育・生涯教育のさまざまな学習場面で取り入れられている参加型による学習プログラムを体験し、受講者自らが学習プログラムを企画・運営していく力を養いたい。
講義の内容・授業スケジュール	内容構成を以下のように考えている。 ①学習プログラムのしくみと構造 ②学習プログラムの企画・立案力 ③学習プログラムのデザイン力 ④学習プログラムの運営力 ⑤参加型学習の手法と実際
履修上の留意点	受講者数を見て判断するが、できるだけ参加型学習で行いたい。その場合、受講者の参加意欲が学習成果に反映されることを心にとめておいて欲しい。一定のグループで作業することが多いため、出席を重視する。
成績評価の方法	レポート、授業への参加度、出席状況などを総合して判断する。
教科書	廣瀬隆人、澤田実、林義樹、小野美津子『生涯学習支援のための参加型学習のすすめ方』（ぎょうせい）1,429円
その他	授業方法はワークショップ中心だが、必要に応じて講義も行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論 I (前期)	とよた ちよこ 豊田 千代子	社教主事2必	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生涯教育・生涯学習という観点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、今日、生涯学習の観点からの教育の見直しが課題となっている。 授業では、OECDやILOなどの国際機関ならびにわが国における生涯学習政策の動向を概観し、その検討を通して、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯教育・生涯学習の理念 ・生涯教育・生涯学習の国際的動向 ・わが国における生涯学習政策 <ul style="list-style-type: none"> ・国レベルの政策－「生涯学習振興整備法」の制定とその後の動き ・地方自治体における生涯学習政策の展開 ・生涯学習と学校計画 ・生涯学習と社会教育 ・社会教育の概要（歴史、法、施設など）
成績評価の方法	レポート等により成績評価を行なう。
教科書	教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	適宜紹介する。
その他	この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	とよ たちよこ 豊 田 千代子	社教主事2必	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、わが国では、生涯学習の観点での教育の見直しが、学校教育でも社会教育でも求められている。授業では、とくに社会教育に焦点を当て、改革の方向性を探ることを目的としたい。そのために、社会教育の歴史や社会教育行政の役割等とともに「おとなの学び」に注目しながら、社会教育についての理解をはかりたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・社会教育とは
 - ・社会教育の定義
 - ・社会教育の歴史
 - ・社会教育法
 - ・社会教育施設（公民館など）
 - ・社会教育行財政
- ・成人教育としての社会教育
 - ・「おとなが学ぶ」とは
 - ・「おとなの学び」の事例
 - ・おとなの学びに関わる職員の役割
- ・生涯学習と社会教育

成績評価の方法

レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会教育実習	とよ たちよこ 豊 田 千代子	社教主事3必	4

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

公民館、図書館などの社会教育施設や、教育委員会での実習をとおして、社会教育についての理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 事前指導 — 社会教育の具体的なイメージをつかむために、様々な社会教育実践を取りあげ、グループで報告する。
- 訪問指導 — 実習先訪問指導。
- 事後指導 — 実習をとおして考えたこと、学んだことなどについて報告する。実習報告書を作成する。

成績評価の方法

- (1) 実習ノート (2) 授業への参加度（授業での実習報告、報告書作成への取り組みなど）

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

実習報告書の作成に関しては、企画、編集、印刷、製本のすべてを自分たちで行なう。このことをとおして、共同で学ぶ方法を身につけたり、共同で学ぶことの楽しさに気づいてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育実習	はぎ わら けんじろう 萩原 建次郎	社教主事3必	4

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会教育施設や教育委員会での実習をとおして、社会教育の実践に触れるとともに、社会教育への理解を深めることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・実習事前指導として、社会教育実践の事例を調べて具体的イメージをつかみつつ、実習の意義や心がまえの理解を目的としたい。
- ・実習中には個別訪問指導をおこなう予定である。
- ・実習の事後指導として実習ノートと体験レポートをもちより、お互いの体験を共有し、深め合う場をつくりたい。その中から「社会教育職員の役割や専門性」「学習課題」「学習者理解」などテーマを抽出して、社会教育への理解を深めていきたいと考えている。
- ・実習後に、受講生中心で実習報告書づくりを行う。

成績評価の方法

実習ノート、体験レポート、実習報告書、授業への参加度などを総合して判断する。

教科書

教科書・参考書はそのつど提示する。

参考書等

教科書・参考書はそのつど提示する。

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会教育行政	あらい 隆 荒井 隆	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会教育行政現場で永く実践を続けてきた立場からの講義により、実践的な社会教育の見方を身につけることを目指します。堅い印象の講義題ですが、内容は具体的で柔らかいものです。理論的な課題にもふれますが、体験に基づく実践的な話を中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

- ①私の社会教育行政の体験談
- ②社会教育行政の法体系
- ③東京23区の社会教育行政の特徴
- ④社会教育行政の仕組み
- ⑤社会教育行政の働き
- ⑥社会教育主事の具体的仕事

概ね以上の内容を軸に講義し、1年を通じて社会教育行政の具体像の把握を目指します。

履修上の留意点

社会教育の基礎知識があればより広く深く理解ができますが、初めて社会教育の講義に参加する場合でも、体験に基づきわかりやすい講義をしますので、安心して参加してください。

成績評価の方法

出席及び試験内容等をもって評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

講義に関係する参考書を随時紹介しますので、理解を深めるため読んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 教 育 施 設	はぎ わら けんじろう 萩 原 建次郎	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会教育施設の歴史と理念をひも解きながら、現在多様に展開している社会教育関連施設の現状やそこでの取り組みを理解し、社会教育施設の課題と展望を考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①社会教育施設の歴史と理念
 - ・公民館の歴史と理念
 - ・図書館の歴史と理念
 - ・博物館の歴史と理念
 - ・社会体育施設の歴史と理念
- ②社会教育関連施設の現状と取り組み
 - ・青少年施設（少年自然の家・青年の家・児童館など）
 - ・女性センター
 - ・生涯学習センター
 - ・文化施設（市民ホール・市民会館）
 - ・学校教育施設（学校開放・大学開放）
 - ・スポーツセンター
- ③社会教育施設の課題と展望
 - ・子ども・若者の居場所づくり
 - ・施設職員の役割－ロビーワークの意義など
- ④世田谷区内の社会教育関連施設

履修上の留意点

夏休みなどを使って、世田谷区内の社会教育関連施設をフィールドワークし、報告書を作成する予定。

成績評価の方法

平常点、報告書より評価する。

教 科 書

そのつど紹介する。

参 考 書 等

そのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
成 人 学 習 論	<small>あら</small> 荒 <small>い</small> 井 <small>たかし</small> 隆	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

成人の学習について、生涯学習時代といわれる今日、私たちはその具体的な姿を身近に見られるようになりました。講義ではその実像の一端にふれて、成人の学習のリアリティに接し、生涯学習の意義を理解するとともに、自らの学習の一助になれば幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

- ①大人も学習するのか
- ②成人の学習形態いろいろ
- ③成人の学習事例～自分史～
- ④成人の学習事例～文字を獲得する学習～
- ⑤成人の学習のあり方

履修上の留意点

実践に基づく授業です。本からの理解と異なり、できるだけ多様な方法を用いて学んでいきます。学生の学習と少し趣きの異なる成人の学習に興味のある人の参加を期待しています。

成績評価の方法

出席及び試験内容等を参考に、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

授業で随時紹介します。理解を深めるため授業で使用する場合があります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ジェンダーと教育 I (前期)	<small>たか</small> 高 <small>い</small> 井 <small>よう</small> 葉 <small>こ</small> 子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私が担当する「ジェンダーと教育」は、前期(I)と後期(II)があります。どちらか一つを受講することも可能ですが、可能な限り両方を受講して下さい。どちらも、貧困、差別、暴力など、現代社会が抱える問題をジェンダーや学校教育との関連で取り上げますが、特に、前期は、家族や子どもをめぐる社会問題をジェンダーとの関連で理解します。いずれも、学校教育、社会教育に携わる者にとって重要な問題ですが、単に理解するだけでなく、これらの問題にどのように取り組むことができるか、あるいは、どのように指導したらよいかを考える場にします。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の柱は次の通りです。①近代家族とジェンダー ②家族・暴力・ジェンダー ③子育てとジェンダー ④子ども・学校・ジェンダー。授業でとりあげる具体的な問題は、「ドメスティック・バイオレンス」、「児童虐待」、「スクール・セクシュアル・ハラスメント」、「単親家族」などです。

成績評価の方法

出席 (10%)、課題 (発表、レポート) (50%)、小テスト (40%)。成績評価の条件については、最初の授業で詳しく説明します。

教科書

最初の授業時に説明します。

その他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。
この科目は、平成11年度以前入学者には、総合演習(13)の単位として認められません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジェンダーと教育Ⅱ (後期)	高井葉子 <small>たか い よう こ</small>	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

前期の「ジェンダーと教育Ⅰ」では、ジェンダーに関連する具体的な問題をあらかじめ設定し授業をすすめましたが、後期の演習では、教育学の知見や理論を紹介しながら、教育とジェンダーの問題をより広い範囲で考えます。また、各テーマに関連した問題を受講者の関心領域から選び授業時に発表してもらいます。

講義の内容・
授業スケジュール

この演習で扱う内容は次の通りです。

- ①教育制度とジェンダー ②教育投資とジェンダー ③教育機能とジェンダー ④学校文化とジェンダー

成績評価の方法

出席 (10%)、課題 (発表、レポート) (50%)、小テスト (40%)。成績評価の条件については、最初の授業で詳しく説明します。

教科書

最初の授業時に説明します。

その他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

この科目は、平成11年度以前入学者には、総合演習(14)の単位として認められません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業教育Ⅰ (前期)	塩川正人 <small>しお かわ まさ と</small>	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本授業の使命は「就職試験に成功する学生」を育てることである。どんな就職をするかは、学生諸君の大学四年間の「総決算」となる。

悪い就職をすれば、四年間の大学生活の価値を失う。親の愛と期待に応えないことになる。就職は、諸君の人生を決める「最大の事業」である。二年、三年時に就職の本来の意味を、本気で考えることが、本授業のねらいである。講師は本業の経営コンサルタントの立場から、学生生活の意義と就職を成功するノウハウを伝えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 企業とは何か、職業とは何か
2. 企業は学生に何を期待しているか。
3. 就職への準備。
4. 企業選択の基準。

履修上の留意点

1. 講師が企業で取り組んでいる資料を多数配布するため、資料保存用のバインダーが必要。
2. 授業内容は、講義が半分以下で、意見発表や討論の時間が多い。
3. 教員や公務員志望の諸君も就職試験の基本は同じ。就職に勝つノウハウを提供する授業。

成績評価の方法

筆記試験でなく、平常授業のそのものを評価する。

その他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業教育Ⅱ (後期)	しお かわ まさ と 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

前期に続き「就職」という、学生生活最大のイベントを、いかに成功するかを、本格的に考える。「企業とは何か」を、全角度から取り上げ、併せて就職試験の仮想体験を繰り返す。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容 1. 自己分析
2. 面接試験の実習
3. 論文試験の実習 など実習をベースにした講義展開としたい。
講義の特徴 前期と同じですが、面接や自己アピールの仕方について重点をおいて取り組む。

成績評価の方法

前期同様に平常授業とレポートによって行う。

その他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会体育Ⅰ (前期)	ふる た じゆん こ 古 田 潤 子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会生活において、常に安定と他者と共生していくことの出来る創造的なからだを育てることに取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール

ここでの動きは野口体操の理論に基づいています。
人のからだは自然が生み出した自然の一部であり、自然と調和して生きる生命だということを中心とし各自自分のからだに向き合います。自然の原理に沿った動きを手がかりにして、自分のからだの内に生まれる感覚を確かなものにしなが、自分の価値観によって現実に対処していけるからだを育てていきます。

履修上の留意点

からだの内的感覚に基づく履修内容なので連続受講が必要です。

成績評価の方法

平常授業

参考書等

授業中に適宜紹介します。

その他

授業は実技を主に行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会体育Ⅱ (後期)	ふる た じゆん こ 古 田 潤 子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

前期で得た各自のからだの内側からの自然な感覚が他者とひびき合い豊かな関係を拓いていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

環境の変化に応じて、的確な判断と落ち着いて対処できる心とからだを、動きを通して自らの力でとらえて自信を身に付けます。屋外での体験実習も考えています。
また、海外でのワークショップにおける豊富な体験をもとに様々な遊び道具の製作や、それを使った楽しい遊びも加味します。同時に日本人と外国人の考え方、感じ方、環境の変化に対する即応の仕方の違いなどについても一緒に研究をしていきます。

成績評価の方法

平常授業

科目名	配当学科	単 位
教育の思想	社教主事2・3・4選	2

(P.10～13) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	配当学科	単 位
教育と社会	社教主事2・3・4選	2

(P.13～16) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学	社教主事2・3・4選	2

(P.16～18) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	配当学科	単 位
教育とメディア	社教主事2・3・4選	2

(P.22～24) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
視聴覚教育	佐野博彦 <small>さの ひろひろ彦</small>	社教主事2・3・4選	4

(P.145) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育社会学	伊藤茂樹 <small>いとう しげき</small>	社教主事2・3・4選	4

(P.64) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育史	山本敏子 <small>やまもと とし敏子</small>	社教主事2・3・4選	4

(P.65) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育調査	鈴木規夫 <small>すずき のりお</small>	社教主事2・3・4選	4

(P.65) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青 少 年 文 化	こ 古 関 さま子	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現在の青少年文化の特徴として、友人達との体を通した遊びや交わりが消え、代わってテレビゲームなど、直接身体を介さず一人で遊ぶことが増えたことがあげられる。本講義ではこのような状況の中で、「身体的無意識の集合的カタルシス」という演劇・舞踊などの舞台芸術の持つ意味を考える。更に自ら演劇および身体表現の基礎を学び、今後の教職等における実践に結びつく体験とすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を一年にわたって行う。
 学問的基盤－言語獲得の様相など人間の根源的社会性に関する発達心理学の基礎に触れる。また世界の舞踏や仮面劇など文化人類学的知見も広げ、「身体の記憶を通し、集合的無意識のカタルシスに向かう」という舞台芸術のダイナミズムを捉え、教育の場におけるその意味を把握する。
 具体的実践－シェークスピアなど幾つかの戯曲を学び、またビデオ鑑賞などを行う。身体感覚や表現力を高めるための、腹式呼吸・マチエール・摺り足歩行など5段階からなるレッスンを体験する。

履修上の留意点

動ける服装で。積極的に楽しんでください。

成績評価の方法

授業中の発表・レポート提出・実技の三つの総合点。

教科書

授業中に指示するが多くはプリント。

参考書等

授業中に指示するが多くはプリント。

その他

この科目は、平成11年度までに「児童文化」の単位を修得したものは、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代社会の諸問題と教育 I (前期)	すずきともみ 鈴木朋実	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・営 B の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現代社会の諸問題のなかでも、子どもの発達の基盤として重要な意味をもつ家族について、今日の諸問題を取り上げ、教育の観点から、その実態、背景、原因を解明し、有効な問題解決の方策をさぐることをねらいとしている。社会的に憂慮されている社会性の発達の遅れなど子どもの発達をめぐる問題、不登校・いじめ・校内暴力など学校における問題、その他の非行問題の背景には、少子高齢化とともに大きく変容しつつある現代家族の在り方をめぐる問題がある。「家庭崩壊」「家族解体」といわれる現象は、子どもの発達と教育に重大な影響を及ぼしている。

この点を十分に理解し、どのように対応すればよいかを考察するところに講義のポイントがある。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、次の3セクションに分けて行う。

第1セクション：「家族集団と子どもの発達」－4月
 第2セクション：「産業の発展にもなう家族の変容と教育機能の衰退」－5月
 第3セクション：「現代の家族をめぐる問題の諸相と人間形成」－6・7月

履修上の留意点

家族問題への関心。

成績評価の方法

出席状況・レポート・試験により、総合的に評価する。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

授業方法－講義に討論場面を加える。

この科目は、平成11年度までに「現代社会の諸問題と教育」の単位を修得した者は履修できません。また、平成11年度以前入学者には、総合演習(17)の単位としては認められません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後期)	鈴木 朋実	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	現代の社会は急激な変化に伴って解決の難しい多くの問題を発生させている。これらの問題は、教育の在り方に直接的、間接的に重大な影響をおよぼしている。わが国の場合、社会的変化は、とりわけ、1960年代の経済成長政策以降、テンポを速め、激しさを増している。 講義では、わが国の高度経済成長期以降の社会的変化の過程で生じた重要な問題と教育との関係を明らかにして、将来を展望し、問題解決の方途を探ることをねらいとしている。
--------	--

講義の内容・ 授業スケジュール	講義は、次の3セクションに分けて行う。 第1セクション：「高度経済成長にともなう社会の諸問題と教育」-9月 第2セクション：「情報化にともなう問題と生涯学習」-10月、11月 第3セクション：「自由化をめぐる問題と教育」-12月、1月
--------------------	--

履修上の留意点	現代の社会への問題意識。
---------	--------------

成績評価の方法	出席状況・レポート・試験により、総合的に評価する。
---------	---------------------------

教科書	プリント配布。
-----	---------

参考書等	授業中に紹介する。
------	-----------

その他	授業方法-講義に討論場面を加える。 この科目は、平成11年度までに「現代社会の諸問題と教育」の単位を修得したものは、履修できません。
-----	---

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年問題研究	讃岐 真佐子	社教主事2・3・4選	4

(P.67) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年指導演習	ひらの 平野 学	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が「青少年指導」について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かかわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング等の立場から、現代の青少年の状況やトピックス等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりでいる。

《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達の観点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にデモンストレーションやロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

《後期》

4. スクールカウンセラーについて及び講師自身の援助例（不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング）の提示と討議。(3回)
5. HIV・エイズ問題やカルト問題、セクハラやストーカー、ドメスティックバイオレンスの問題とそのカウンセリング(4回)
6. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験（ボランティア活動他）の報告と討議。同時にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(3回)
7. その他（全体の振り返り他）。(2回)

履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。
出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらう、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたく、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行うので安易な受講は避けてほしい。)
尚、授業の初日に年間の大まかな予定等お話しするが、履修希望者からも何を学びたいか等、記してもらいたく、必ず出席願いたい。

成績評価の方法

学年末レポート（年間授業を振り返る形でのもの）、夏休みレポート（体験報告または読書感想）、平常点（出席等）の三本柱で行なう予定。尚、出席は7割以上を求めたい。

教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る（上下）』（創元社）各1,300円

参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える（上下）』（創元社）各1,300円
同 『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）1,240円
同 『ユング心理学と仏教』（岩波書店）1,800円
佐治守夫他『カウンセリングを学ぶ』（東大出版会）2,800円
乾吉佑・平野学編『臨床心理士になるには』（ペリかん社）1,230円
他にも授業の中で随時紹介していきたい。

その他

VTRも多く使用して、具体的に学べるようにしたい。
授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	おおた 太田 喜美子	社教主事2・3・4選	2

(P.146) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅱ(資料論) (前期)	岸上興一郎 <small>かしのがみこういちろう</small>	社教主事2・3・4選	2

(P.146) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	源昌久 <small>みなもとしょうきゆう</small>	社教主事2・3・4選	2

(P.121) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	篠田耀子 <small>しのだようこ</small>	社教主事2・3・4選	2

(P.121) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	山田節子 <small>やまだせつこ</small>	社教主事2・3・4選	2

(P.119) 参照

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

IV 博 物 館 学 講 座

IV 博物館学講座

(1) 必修科目

視 聴 覚 教 育	〈佐野博彦〉	145
考古発掘実習	〈飯島武次・古庄浩明〉	145
博物館学Ⅰ(概論)	〈太田喜美子〉	146
博物館学Ⅱ(資料論)	〈岸上興一郎〉	146
博物館学Ⅲ(経営論・情報論)	〈岸上興一郎〉	147
博物館実習Ⅰ(館務)	〈太田喜美子・飯島武次・湯淺隆〉	147
博物館実習Ⅱ(収集)	〈太田喜美子・國見徹・久保田昌希 小林和幸・佐々木真・中野達哉〉	148
博物館実習Ⅲ(見学)	〈太田喜美子・瀧音能之・松本信道〉	148
教育の思想		149
教育と社会		149
生涯学習概論Ⅰ	〈豊田千代子〉	149
生涯学習概論Ⅱ	〈豊田千代子〉	149

(2) 選択必修科目

インド仏教文化史	〈金沢篤〉	150
中国仏教文化史	〈永井政之〉	150
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	151
禅美術	〈海老根聰郎〉	151
仏教美術	〈武笠朗〉	152
仏教民俗学	〈須藤寛人〉	152
日本民俗学	〈谷口貢〉	153
美術史概説	〈北野良枝〉	153
現代美術	〈矢野陽子〉	154
地形学	〈小池一之〉	154
第四紀学	〈鈴木毅彦〉	155
考古学概説Ⅰ(日本)	〈新井悟〉	155
考古学概説Ⅱ(外国)	〈飯島武次〉	156
西洋文化史Ⅱ	〈佐々木真〉	156
日本文化史Ⅰ	〈吉田政博〉	157
考古学特講Ⅱ	〈清水信行〉	157
考古学特講Ⅳ	〈矢野和之〉	158
西域美術史	〈松平美和子〉	159
宗教人類学	〈佐藤憲昭〉	160

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
視聴覚教育	さのひろひこ 佐野博彦	学芸員2・3必	4

講義のねらい

現代の教育において、メディアを適切に利用することは必要不可欠である。特に、教育放送、コンピュータ、インターネットは、その重要性がますます高まっている。こうしたメディアを対象とした教育においては、二つの考え方が存在する。一つはメディアを利用して効果的な教育を実践しようというもので、主に教科教育の面で古くから実践されてきたものである。一つは、現代のようにメディアが発達し、人間をとりまく環境のごとき存在になってきたとき、そのメディアを適切に理解し、批判していく能力を身につけようという考え方で、前者が「メディアで学ぶ」とすれば、後者は「メディアを学ぶ」という考え方であるといえよう。近年は、特にこの後者の考え方、すなわち、メディア・リテラシーの重要性が認識されてきた。視聴覚教育においても、この二つの考え方を踏まえていくことが大切であろう。

この講義では、こうした考えの下に、教育放送、コンピュータ、インターネットなどを利用して視聴覚教育が実践されている姿をできるだけVTRなどで紹介するとともに、メディア・リテラシーの実践と考え方を紹介し、視聴覚教育の方法と意義を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

「視聴覚教育」とはなにか／視聴覚メディアの分類と定義／教師から見た視聴覚メディア／学芸員から見た視聴覚メディア／視聴覚教育からみた放送／コンピュータとCAI／ツールとしてのコンピュータ／インターネット利用の教育実践／インターネット利用の方法と考え方／メディア・リテラシーの実践／メディア・リテラシーの考え方／メディアとしての博物館

成績評価の方法

評価は「出席を重視する：原則として3回欠席で単位を認めない」「遅刻は欠席と見なす」「レポートと平常点+時折、課す小テスト」

教科書

『視聴覚メディアと教育』佐賀啓男編著 樹書房 1,800円

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古発掘実習	いじま たけつぐ ふるしろう ひろあき 飯島 武次・古庄 浩明	学芸員3・4必	2

講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

考古発掘実習の履修学生は、考古学専攻学生が望ましい。また「考古学概説Ⅰ・Ⅱ」を1・2年次に履修した者か、3年次に履修予定の者を原則とする。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は出席点と平常点および発掘実習と発掘日誌

教科書

『考古学調査ハンドブックス1 野外編』（雄山閣）2,800円 1984年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館学Ⅰ(概論)(前期)	おお た きみこ 太 田 喜美子	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館学講座(学芸員課程)の必修科目である。博物館法施行規則によると、「博物館学」6単位が必修である。この「博物館学Ⅰ」は2単位であり、6単位を充たすためには、あとふたつの「博物館学Ⅱ・Ⅲ(岸上講師)、各2単位」も履修していただかないと次年度へ進めないで注意を要する。

この講義では、「博物館法」をテキストにして、博物館の意義、学芸員の仕事等を理解してもらい、いっぽう「博物館学Ⅱ・Ⅲ」では、実際の学芸員の仕事や博物館の事業について、岸上興一郎講師に講義していただいている。

履修上の留意点

この「博物館学Ⅰ」は、年度初めの第1週の授業で、駒沢大学にあって、学芸員資格を取得する手続きと方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。途中で(2回や3回目)出席して、手続きその他質問に来ても、第1回目の教室で説明したことを、欠席者に特に丁寧

に説明することはしないので注意しておいてもらいたい。
この授業は前期2単位の授業であるから、後期には無いはずであるが、実は後期になっても、数回教室に出席してもらうことにしている。したがって、水曜日3限目の後期については、「履修届」に書きこまないことをお勧めしたい。けれども、学科の必修科目にぶつかってしまうこともあるだろう。そういう方は、相談に来てほしい。

この「博物館学Ⅰ・Ⅱ」計4単位は、社会教育主事の選択科目にもなっているが、この場合も4単位履修していなければならないので、ⅠとⅡの両方を履修しないと通用しない。注意しておきたい。

成績評価の方法

試験による評価(詳細は、第1回目に説明する。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館学Ⅱ(資料論)(前期)	きし がみ こういちろう 岸 上 興一郎	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館で扱う資料とは何であるのかを問う。

講義の内容・授業スケジュール

博物館法および関連法でいう博物館資料について述べる。資料は多様な環境の中におかれている。それらの資料がいかなる過程をへて博物館に寄贈・寄託・借用・購入され、研究・収蔵そして展示されていくのかを事例をもとに展開する。

履修上の留意点

資料のもつ基礎情報を学芸員として熟知し、いかに展示空間に動と静の知的世界を構築するかを考えること。

成績評価の方法

授業態度・レポート提出。

教 科 書

財日本博物館協会編『博物館関係法令集』
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参 考 書 等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』
財日本博物館協会編 月刊『博物館研究』

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館学Ⅲ（後期） （経営論・情報論）	まし がみ こういちろう 岸 上 興一郎	学芸員2必	2

講義のねらい

博物館は学芸職と事務職によって構成されている。その経営にあたっては、各個人の暗黙知、つまり各個人のもっている情報・知識の豊かさが結果を左右する。さらにはそれを言語化・明示化して組織内で共有し、有効活用することを形式知化という。ここを講義のポイントとする。この理論は博物館経営をより発展させる重要な鍵でもある。学芸員の経営関与を問う。

講義の内容・
授業スケジュール

各博物館は、その創設時の状況によって、公立・市立・財団など種々の組織形態をとってはいるが、形式知化は、すべての博物館に共通する経営理論である。ここでは、それによって積算された予算、その執行と展開などの事例にふれる。さらには近年論議されている博物館の公設民営化、独立行政法人化などについてふれる。

履修上の留意点

予算の仕組みおよび博物館資料のもつ情報と、そのあつかいを理解すること。

成績評価の方法

授業態度・レポート提出。

教 科 書

(財)日本博物館協会編『博物館関係法令集』
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参 考 書 等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』
(財)日本博物館協会編 月刊『博物館研究』

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館実習Ⅰ（館務）	おおた きみ こ いしいま たけつぐ 太田喜美子・飯島 武次 ゆあさ たかし 湯浅 隆	学芸員3・4必	2

履修上の留意点

この授業は4月第1週から、来年の最終講義まで、1回でも欠席・遅刻・早退すると、単位が取得不可能なので注意してほしい。この方法は、本学の博物館講座開設以来20数年間不変であるので、君だけ特別に単位を出しましょう、というわけにはいかない。

この講義時間に出るということは、君が企画専任者である特別展の開幕日開幕時に君がきちんと会場にいるかどうかということと同じに考えなさい、ということである。

毎週の授業の他に、主として、夏期休暇中に、一つの博物館で、学芸員実習を行う。この実習は、他の大学の実習生といっしょに行うため、他流試合的な楽しみももっているのですが、日頃の授業時と同じように、絶対に遅刻・欠席してはいけません。一度、そういうことをすれば「駒大には遅刻した学生がいる」と、10年ぐらいいは言われ続けるので、注意してほしい。また、多くの実習博物館に本学出身の学芸員の方がいらっしゃるの、その先輩に迷惑をおかけすることにもなる。実習は夏期に行う館が80%を占めるが、別の時期に行う館もあるので、夏休みには海外短期留学などする方も相談に来てほしい。

この科目は、本学の博物館講座の締括りになる実習なので、特に心を引き締めて履修していただきたい。「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」・「博物館実習Ⅲ（見学）」に先だて、この科目を履修することはできない。つまり、この「博物館実習Ⅰ（館務）」を3年生次に履修して、「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」あるいは「博物館実習Ⅲ（見学）」を4年生次に履修してはいけない、ということである。履修にあたっての細かい事柄は、その都度、教室で話をする。後期には実習した館の実習内容につき報告会をするので、きちんとまとめることを忘れぬよう。

成績評価の方法

授業態度・実習評価・発表能力による評価。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館実習Ⅱ（収集）	太田喜美子・國見徹 久保田昌希・小林和幸 佐々木真・中野達哉	学芸員3・4必	2

講義のねらい

博物館活動の主たる3本柱のうちの「博物館資料の収集」の方法の勉強をする。博物館学芸員は、学芸員の個性を活かさなければならぬ面と、個性を殺さなければならぬ面がある。「博物館実習Ⅱ（収集）」では、一つの博物館が何年あるいは何十年にもわたって資料を収集し続けていても、恰かも、常に一人の人が収集してきたかともみえるような統一性が必要である。また、一つの展示をするにしても、その企画に参画する数人のスタッフの成果は、バラバラであってはならないのである。

その意味では、この「博物館実習Ⅱ（収集）」はあまりに個性豊かな人・あるいは協調性の乏しい人には、かなりきついようである。この実習は、必ず合宿して実施しているので、共同生活を知ろうとする意欲の有無がかなり影響をもっているらしい。

博物館学芸員を目指して履修している学生が、学芸員課程を断念するきっかけは、たいてい、この実習の直後であることが多い。つまり、合宿して収集実習を終えた時点で、これほど協調性が必要なら、自分には不向きである、と思ってしまうのであろう。そう自覚したら、確かに、君は学芸員に不向きなのかもしれない。そうした場合には、どんどん、個人的に相談に来てほしい。

また、本学で学芸員資格を取るための実習は、「Ⅰ（館務）」・「Ⅱ（収集）」・「Ⅲ（見学）」の3つが必修であるが、「Ⅱ（収集）」の代わりに、「考古発掘実習」を履修しても、学芸員課程の「実習Ⅱ（収集）」に読みかえることができる。ただし、発掘は、真夏の炎天下で1か月間参加することが必要なので、この科目を必修とする、考古学専攻生以外の方には勧められない。

この実習で、今年度予定しているのは、

1. 長野県北佐久郡望月町での近世文書調査と石仏収集調査実習。
2. 同上町での石仏収集調査実習。
3. 長野県飯田市周辺での石仏調査。

履修上の留意点

年度第1回目の授業に必ず出席のこと。

成績評価の方法

授業態度・実習評価

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館実習Ⅲ（見学）	太田喜美子・瀧音能之 松本 信道	学芸員2・3必	2

講義のねらい

本学での博物館実習は、2年次に行うこの実習と、3年次で行う、「Ⅰ（館務）」と「Ⅱ（収集）」の3つが規定されている。

つまり、この実習は、君がこの課程で、初めて行なう、学外での実習ということになる。都内あるいは周辺の博物館で見学をするのであるが、基本的には、見学館は10館。見学の度にレポートを提出する。そのレポートを添削して、原稿用紙の使い方から、字数のまとめ方等、かなり、しっかり、指導することになっている。

履修の方法は、なんとといっても、学外の博物館見学であるから、当然、1コマ90分内では無理である。そのため、履修にあたっては、学生の都合を充分、考えに入れたうえで、できるかぎり柔軟に対応して、あぶれてしまう人がでないように留意するつもりである。そのために、相談しなければならないことがあるので、年度第1週には必ず出席してほしい。学生の都合を汲んでA～Dの4組ぐらゐに分けて、異なる見学方法をとることになることと、今年度は、履修希望者が非常に多くなると予測されるので、第1週に、出席した人数で組分けしてしまう。結果的に、第1週に欠席すると、はみ出してしまうことになる。

この授業は、水曜日の3・4限を通して行うこととなるのだが、3限目あるいは5限目に学科の必修科目とぶつかってしまうこともある。そのような問題をもつ人は、必ず、第1週に出席してほしい。第1週の授業終了後に、個人的に相談に来て、もう、対応不能なので、その場合は、翌年履修する以外に方法が無い。

成績評価の方法

レポート点による評価。

科目名	配当学科	単位
教育の思想	学芸員2必	2

(P.10~13) 参照

科目名	配当学科	単位
教育と社会	学芸員2必	2

(P.13~16) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅰ (前期)	とよ た ちよこ 豊田千代子	学芸員2・3必	2

(P.127) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	とよ た ちよこ 豊田千代子	学芸員2・3必	2

(P.128) 参照

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

中国で成立した「禅」は、難解とも言える「禅問答」でその名を馳せました。しかし「問答」が繰り返されるのは、それなりの理由があるからです。方外の人である禅僧といえども、社会と全く無縁では存在しませんでした。今年の講義は中国の民衆と禅との関係を考える一環として、禅僧の言葉にあらわれた中国の文化、特に風俗習慣との関係を論じてみたいと思います。

成績評価の方法

期末試験の成績に加えて、出席、課題図書についてのレポートなどを総合して評価します。

教科書

適宜プリントを配布します。大切に保管してください。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、その問題に応じた関連文献を講読することを通じて、批判的に考察することを主眼とする。取り上げられる問題は多様になるかもしれないが、できれば、通史的に扱っていきたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

講義において取り上げられる問題やその順序をここに明記することはできないが、だいたいは、下記に示すような予定である。

- 序 : 仏教東漸—半跏思惟像
- 第1章: 「玉虫厨子」と捨身供養
- 第2章: 『往生要集』と地獄極楽
- 第3章: 『一言芳談』と後世物語
- 第4章: 『日本史』における仏教
- 第5章: 『新論』の国体論と仏教
- 結 : 仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教科書

渡辺照宏著『日本の仏教』（岩波新書、1958年第1刷、2002年4月第61刷）定価740円＋税

参考書等

末木文美土著『日本仏教史』（新潮文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅美術	えびね とし お 海老根 聰 郎	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

禅美術を、禅僧の絵画活動としてとらえて述べる。

講義の内容・授業スケジュール

禅僧の絵画活動のはじまった鎌倉時代から、南北朝、室町時代の禅僧の絵画活動をたどるが、影響を与えた中国の動きについても適宜とりあげる。毎回スライドを映写。

成績評価の方法

成績は、学年末の試験によって行なうが、出題は授業中話したことからの選択する。よって、出席することを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	武 笠 朗	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

東洋（インド・中国等）及び日本の仏教彫刻を中心とする仏教美術の流れを通覧し、信仰の変容がもたらした造形への影響を考える。前期にインドと中国、後期に日本の飛鳥から平安時代ぐらいまでを考える予定である。各時代の主要作例や重要課題を中心にして検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 仏教美術の研究手法 | 11 朝鮮半島 |
| 2 尊像の種類とその姿形 | 12 飛鳥前期1（止利仏師） |
| 3 インド1（パールフトとサーンチャー） | 13 飛鳥前期2（救世観音と百済観音） |
| 4 インド2（仏像の出現） | 14 飛鳥後期（半珈思惟像） |
| 5 インド3（ガンダーラ仏とマトゥラー仏） | 15 奈良1（興福寺阿修羅像など） |
| 6 インド4（仏伝浮彫り） | 16 奈良2（東大寺法華堂諸像と大仏） |
| 7 中国1（敦煌石窟と炳靈寺石窟） | 17 奈良3（鑑真と唐招提寺諸像） |
| 8 中国2（雲岡石窟） | 18 平安前期1（神護寺薬師如来像） |
| 9 中国3（龍門石窟） | 19 平安前期2（密教の造像） |
| 10 中国4（単独造像） | 20 平安前期3（一本造り木彫像） |

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

前・後期の試験（あるいはレポート）の成績を中心に、出席状況、展覧会見学レポートなどを総合して評価する。

教 科 書

なし。講義資料を配布する。

参 考 書 等

『カラー版日本仏像史』（美術出版社）2002年。

そ の 他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 民 俗 学	須 藤 寛 人	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

宗教学的視座を養うことが本講義の目的です。多くの日本人にとって、宗教は、必ずしも明確な形を持ったものではありません。しかし、人間や文化を理解することの、すべてではないにしても、その一部は宗教を理解することによって可能となるものであると考えられます。日本人の宗教とは何かを理解することは、日本人とは何かという問題に深く関わっていますし、ひいては自分とは何かを考えるための足がかりになると思われまます。また、日頃、目にする出来事でも、そこに何かしらの宗教的意味が見いだされることがあります。視座を少し変えるだけで、それが可能になる場合もあります。本講義がそのための助けになればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

- 宗教とは何か？ 宗教学とは何か？ 宗教と呪術。聖と俗。
 - 儀礼。呪術。シャーマニズム。噂・怪談・都市伝説。
 - 日本人の他界観。諸宗教の歴史。日本の宗教。現代の宗教状況。
- 以上の三点を本講義の基軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。また具体的な事例やタイムリーな話題を交えて講義をおこなっていききたいと思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないで下さい。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中は着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートを20%、学期末の定期試験80%とし、出欠状況を加味して総合的に評価します。

教 科 書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

参 考 書 等

授業の流れに応じて、適宜、紹介したいと思ひます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢 <small>たにぐち みつぎ</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術史概説	北野良枝 <small>きたの よしえ</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

奈良時代から明治初期に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は奈良時代から室町時代まで、後期は桃山から明治初期までを扱う予定である。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代美術	矢野陽子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げる。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきた。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているかも考察して行く。

講義の内容・授業スケジュール

現代美術を理解するにあたって、まず19世紀後半の美術を簡潔に概観する。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビスムを中心に話をする。色彩の使い方を大きく変えたフォーヴィスムと形態を問題にしたキュビスムとがその後の美術運動に与えた多大な影響を追っていく。後期はシュルレアリスムから抽象美術、ポップアート、近年の動向を紹介する。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験を合わせて評価する予定。

教科書

講義時にプリントを配布する。

参考書等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円
そのほか授業中適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、
組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形
（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税
小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
第四紀学	鈴木毅彦	学芸員3・4選	4

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、海成段丘、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもには前期末のレポートと後期末の筆記試験

参考書等

教科書は特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

その他

講義では、ビデオ、OHP、スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学概説Ⅰ (日本)	新井悟	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本考古学を成り立たせている研究の理論的な枠組みを理解し、これに基づいて各時代の内容を把握し、現状の研究を理解する素地をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

考古学の研究史・方法論を紹介しながら、調査事例などを参照しつつ、日本考古学の概説を行う予定である。

履修上の留意点

遅刻厳禁。

成績評価の方法

定期試験で採点。

参考書等

鈴木公雄『考古学入門』（東大出版会）
藤本 強『考古学の方法』（東大出版会）

その他

スライドやビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学概説Ⅱ (外国)	飯島 武次 <small>いじま たけつぐ</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。
履修上の留意点	欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。
参考書等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』(山川出版社)1985年 飯島武次『中国新石器文化研究』(山川出版社)1991年 飯島武次『中国周文化考古学研究』(同成社)1998年
その他	スライドやビデオを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史Ⅱ	佐々木 真 <small>ささき まこと</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	民衆が所属していた共同体の問題や民衆の心性をテーマとして、中世末から近代にかけてのヨーロッパ民衆文化の問題を検討する。以前のヨーロッパ史研究では、共同体の解体により個人に立脚する近代社会が成立したとされ、共同体の負の側面を強調する傾向が強かったが、最近では人と人の結びつきや紛争の解決方法など、前近代の共同体に特有の側面に注目する研究も多い。本講義ではそのような新しい研究の成果を積極的に紹介していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。 1. 共同体と人々の暮らし(シャリヴァリ、モラルエコノミーと共同体の解体) 2. 民衆の心性世界(識字と読書、空間認識、価値規範、死生観) 3. 近代と民衆の心性の変化 4. 民衆文化論の射程
履修上の留意点	授業中に紹介する参考文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。
成績評価の方法	成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加えて判定する。
教科書	教科書は特に指定しない。
参考書等	参考文献はここでは以下の2点を記し、その他は必要に応じて講義中に紹介する。 ロベール・ミュッシュャンブレッド『近代人の誕生』(筑摩書房) ピーター・バーク『ヨーロッパの民衆文化』(人文書院)
その他	授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 I	よし だ まさ ひろ 吉 田 政 博	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 中世文化史研究の動向
- ② 中世文化の成立
- ③ 鎌倉新仏教と文化
- ④ 五山文学
- ⑤ 南北朝～室町文化
- ⑥ 北山文化の形成
- ⑦ 東山文化の展開
- ⑧ 中世の職能民
- ⑨ 禅宗と文化
- ⑩ 知識人の思想
- ⑪ 連歌師の旅
- ⑫ 京都と大名領国の文化
- ⑬ 桃山文化
- ⑭ 近世文化史研究の動向

履修上の留意点

復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展覧する機会を積極的に持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用し、また禅文化歴史博物館への見学も必ず行ってほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 II	し みず のぶ ゆき 清 水 信 行	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

古代の日本と渤海の文化交流—渤海時代の寺院遺跡を中心として—沿海州及び中国東北地方にある渤海時代の寺院跡を中心にみてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

渤海遺跡から出土する遺物、特に瓦を中心としてその製作技法などを検討し、日本と大陸の文化交流の様相をみてゆきたい。主に寺院遺跡をとりあげてゆく予定であるが山城、土城その他の遺跡についての最近の発掘成果も取り入れながら、一年間を通して渤海遺跡の様相を述べ、その中で日本との交流について述べてゆきたい。

履修上の留意点

受け身ではなく、主体的に授業に参加していただきたい。

成績評価の方法

レポートによって成績評価を行なう予定。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

『高句麗と渤海』三上次男著 吉川弘文館

そ の 他

講義形式で行なうが、時には討論もとり入れてゆきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 IV	矢 野 和 之 <small>や の かず ゆき</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・日本建築史（古代）概要
 - ・遺構とその上部構造体の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教 科 書

なし

参 考 書 等

適宜指示

そ の 他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 域 美 術 史	まつ だいら みわこ 松 平 美和子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

一昨年の春、イスラム原理主義勢力、タリバンにより破壊されたパーミヤンの大仏は中央アジアの仏教文化の象徴であった。
大仏のみならず、石窟内に描かれた壁画や石窟の建築様式には、東西文化の様々な要素をみることができた。
前期は今まさに失われつつあるアフガニスタンの古代美術をとり上げ、その歴史と現状、さらに今後の復興の問題を考える。
又、後期は文化交流史の立場からガラス工芸をとり上げ、シルクロードを舞台に創始され発展してきたガラスの各様式をたどる。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・アフガニスタンの芸術
 - ・パーミヤン…失われた大仏と壁画
 - ・ベグラム…東西工芸の宝庫
 - ・スルフ・コタル…謎の宗教遺跡
 - ・アイ・ハヌーン…ヘレニズムの大遺跡
 - ・ハッタ…ヘラクレスと仏像
- 後期
- ・ガラス工芸の東西交流
 - ・古代ガラス
 - ・吹きガラスの発見
 - ・ローマングラス
 - ・ササングラス
 - ・工芸の文様史

講義にはスライド、ビデオを用いる。

成績評価の方法

夏期休暇後のレポート、学年末のレポート試験、授業中の提出物、出席状況により評価する。

教科書

前期は、谷岡清『アフガニスタンの美』（小学館ショトルシリーズ）1,680円
後期はプリント配布。

参考書等

講義時に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤 憲昭	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、
2. 宗教人類学と宗教民俗学、
3. フィールドワーク、
4. 民俗宗教の特質、
5. アニマ（霊）とmana（力）、
6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、
7. 憑霊現象と社会組織、
8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、
9. 憑霊文化と王権、
10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポートで評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社、学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

V 社会福祉主事講座

V 社会福祉主事講座

(1) 必修科目

社会福祉原論〈伊藤秀一〉	165
社会福祉原論〈船水浩行〉	166

(2) 選択科目

法学（福祉）〈小林弘人〉	167
社会福祉発達史〈林千代〉	168
社会保障論〈船水浩行〉	169
社会福祉計画論〈川廷宗之〉	170
公的扶助論〈伊藤秀一〉	171
障害者福祉論〈桐原宏行〉	171
老人福祉論〈東條光雅〉	172
児童福祉論〈澁谷昌史〉	173
女性福祉論〈林千代〉	173
医療福祉論〈休講〉	
地域福祉論〈豊田宗裕〉	174
社会学（福祉）〈武山梅乗〉	175
心理学（福祉）〈高橋良博〉	175
国際社会福祉論〈休講〉	
リハビリテーション論〈向後礼子〉	176
家庭福祉論〈武山梅乗〉	176
保健福祉論〈休講〉	

(1) 必修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 原 論	伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	社会福祉主事2必	4

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業、社会事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がどのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日の社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
- 2 社会福祉の歴史的発展
- 3 社会福祉の組織と運営
- 4 社会福祉の分野
- 5 社会福祉の方法
- 6 社会福祉における人の問題

成績評価の方法

評価は、年度末の試験と出席状況の総合評価とする。

教 科 書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

参 考 書 等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉原論	ふなみずひろゆき 船水浩行	社会福祉主事2必	4

講義のねらい

「社会福祉」という言葉は、現代社会ではとてもポピュラーな言葉となっている。新聞、テレビ等においても、しばしば目にし、また耳にする。選挙があれば、国政・地方、首長・議員いずれのレベルでも多くの候補者がその充実を公約に掲げる。

しかしながら、どちらかと言うとそのイメージだけが先行し、改めて「社会福祉とは何なのだろうか」とか、「社会福祉の援助や活動とはどのようなものなのだろうか」とか、「社会福祉の基盤となっている考え方はどのようなものなのだろうか」とか、「現代社会において何が求められているのだろうか」といったことを問われた時、多くの人々はなかなか上手く答えることができないのが現実と思われる。

一方、わが国の社会福祉は、現在、「社会保障構造改革」「社会福祉基礎構造改革」「介護保険の創設」等のキーワードに代表されるように、大きな転換期を迎えている。

本講の主題は、上記にあげたような社会福祉を学んでいくにあたってのベースとなる諸点を学習し、わが国における社会福祉のあり方を考察していくことにある。

講義の内容・授業スケジュール

以下の諸点を柱として授業を展開する。

現代社会における私たちの生活と社会福祉

・社会福祉をどうとらえるか、私たちの生活と社会福祉の課題など
社会福祉のしくみ

・社会福祉の制度体系、財政など

社会福祉とその理論の史的展開過程

・欧米における社会福祉の展開、わが国における社会福祉の展開など

社会福祉の分野

・生活保護、高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉など

社会福祉の実践方法

・社会福祉実践の専門性、基本原則など

成績評価の方法

各学期末の試験、課題レポート、出席状況、等の総合評価により実施します。詳細は、授業時に提示します。

教科書

財団法人厚生統計協会 編集、発行『国民の福祉の動向』（最新版）

参考書等

随時、紹介します。

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学（福祉）	こばやし ひろひと 小林弘人	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・ 授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理
 - 2) 基本的人権
 - 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則
 - 2) 物権
 - 3) 契約
 - 4) 不法行為
 - 5) 親族
 - 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為
 - 2) 行政不服審査
 - 3) 行政訴訟
 - 4) 行政手続き
 - 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教科書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

参考書等

授業時間中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった、きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保険論	ふなみずひろゆき 船水浩行	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉計画論	かわ 川 いてい 廷 とも 宗 もと 之 ゆき	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

- ①この科目では『社会福祉』と『社会計画』の二つの問題を扱う。
- ②社会福祉計画論は、本来は社会福祉援助技術の内容の一つを構成する専門的領域であるが、この授業では、専門に直接ふれるのではなく、その前提としての社会福祉の基本的な問題を含めて解説する。
- ③社会福祉計画を必要とする現代日本の社会福祉問題について、その内容の理解を図る。
- ④問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面が強調され、その結果、計画化が促進される現代の状況について理解を図る。
- ⑤『社会福祉計画』は、市民個人々の『福祉 (Well Being)』の保障を目指すのであるから、個人々の『福祉計画』を前提にした統合としての『社会福祉計画』として、総合的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、『社会福祉計画』の前提となる『日本の社会福祉』が扱おうとしている様々な福祉課題について学ぶ。
- ②後期は、福祉問題の解決を目指す『社会福祉計画』の詳細について学ぶ。

履修上の留意点

- ①この講義では、開講第1回目に全体のスケジュール等を説明するので、第1回には必ず出席していただきたい。
- ②講義を中心として進めるが、時に授業中に討論を行うこともあるので、積極的主体的な参加を期待します。
- ③学習者である皆さんの主体的な学習態度を尊重すべく、質問重視の授業を進めるので、関連事項について積極的な質問を期待します。

成績評価の方法

- ①前期末、後期末のレポートの成績を中心に、主体的な出席への評価を含めて成績評価を行う。
- ②前期末のレポート課題は、前期の講義に含まれる社会福祉計画が対応することになる「日本の福祉問題」を自分自身の生活課題に引きつけて論じる課題が出題される。
- ③後期のレポート課題は、社会福祉計画論の理論的課題について、テキストの課題の中から各自自由に選択して、まとめる課題が出題される。
- ④前期レポートと後期レポートは、それぞれ40%と50%の比率で成績評価に反映される。残り10%は、出席状況等を勘案する。

教 科 書

定藤丈弘・坂田周一・小林良二編集『社会福祉計画』（有斐閣）定価 2,200 円

参 考 書 等

- ①高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979 年
- ②R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳 『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980 年
- ③全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984 年

科目名	担当者名	配当学科	単位
公的扶助論	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意義のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権活動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、学年末定期試験を総合して評価する。

教科書

テキスト等については開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
障害者福祉論	桐原 宏行 <small>きりばら ひろゆき</small>	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくことが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①障害者福祉の理念
 - ②障害の概念と実態
 - ③障害者福祉の施策
 - ④障害者福祉と社会資源
 - ⑤障害者に対する援助活動
- 前期に①～③、後期に④～⑤について扱う。

成績評価の方法

出席状況、定期的なレポートの提出、前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験等を総合して評価する。

教科書

初回の授業で指示する。

参考書等

授業のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
老人福祉論	とうじょうみつまさ 東 條 光 雅	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の割合はいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないのも、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教科書

東條光雅・冷水豊編『老人福祉論』第2版、(メヂカルフレンド社) 2,000円

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童福祉論	澁谷昌史	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

児童福祉の基礎を形成する思想、歴史、現行制度及び子どもを取り巻く諸問題の実態について幅広く学習する機会を提供し、児童福祉の基礎知識を形成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 子ども家庭福祉の歴史
2. 子ども家庭福祉の思想と理念
3. 子ども家庭福祉の法体系
4. 子ども家庭福祉の実施体制
5. 子ども家庭福祉の費用
6. 子ども家庭福祉の施策体系
7. 子ども家庭福祉の施策の動向
8. 経済的支援について
9. 子ども家庭福祉の各論
～養護問題、障害問題、情緒障害問題、非行問題

成績評価の方法

期末試験によって評価する。試験会場へのノートや配布資料の持込は不可。

教科書

柏女霊峰『現代児童福祉論』（誠信書房）

参考書等

随時紹介する。

その他

少人数であれば討議法を用いるが、そうでなければ講義形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性福祉論	林千代	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に社会的、経済的、精神的なしわよせを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活上の困難や矛盾に対して、社会福祉のかかわる部分はきわめて大きい。社会福祉の分野で唯一女性に対応してきた婦人保護事業を基底に、社会構造の変動と共に複雑に多様化し、かつ重複して現れる女性の生活上の諸問題とその対応策について学ぶことを目的とする。それは、男性と共に考えるべき課題であり、社会福祉の分野において男と女の地平を求めることにほかならない。

講義の内容・授業スケジュール

1. 女性福祉に関する先行理論の検証と概念規定
2. 社会福祉事業としての婦人保護事業
3. 売春防止法の成立について
4. 婦人保護事業の現状と女性の生活問題
5. その他の女性生活問題
母子世帯の暮らし、女と老い、福祉労働と女性などなど
6. 男性と女性のあり方を考える

履修上の留意点

熱心に考えようとする学生の参加を希望する。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。その都度資料を配布する。

参考書等

林千代・慈愛会編『慈愛寮に生きた女性たち』（東京創文社）
林千代編『母子福祉を拓く』（ドメス出版）

その他

視聴覚機材を用いる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域福祉論	とよ だ むね ひろ 豊 田 宗 裕	社会福祉専攻2・3・4選	4

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

- (1) 総論としての地域福祉の枠組み（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）
 - ①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
 - ④現在の地域福祉施策の特徴
- (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法（地域福祉施策の内容と提供方法）
 - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み
 - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
- (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
 - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度
 - ③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義スケジュール（番号は授業回数ではない）

	講義テーマ	講義内容
1	地域福祉と生活問題	地域福祉の考え方と現代の生活問題
2	地域福祉とコミュニティ	地域社会の変遷とコミュニティの形成 住民の社会参加の状況とコミュニティ 他
3	地域福祉理念の変遷	地域福祉理念の歴史的変遷
4	地域福祉の概念とその範囲	地域福祉の代表的な考え方とその類型
5	地域福祉のサービス体系	地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念 地域福祉活動の体系とその内容 他
11	地域福祉の推進方法	地域援助技術の必要性和社会福祉計画 他
16	福祉教育の推進	福祉教育の考え方とその推進
17	地域福祉の財源	地域福祉の財源と共同募金の理解 等
21	地域福祉の推進組織	社会福祉協議会、行政、各種団体・機関 非営利団体の活動とNPO法 他
24	地域福祉のマンパワー	ボランティア活動とその動き 地域における地域福祉のマンパワー（民生委員を中心に）

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学（福祉）	たけやまのり 武山梅乗	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、社会福祉士及び社会福祉主事を目指す学生に社会学の基礎的な知識を提示することを通じて、現代社会における今日的な諸問題について理解してもらうことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容を以下のように予定している。

1. 社会学の基礎概念：①役割論、②自我とアイデンティティ、③官僚制、⑥ネットワークとボランティア・NPO、⑤社会階層と社会移動
2. 社会変動論：①近代化と資本主義、②大衆社会論と社会的性格、③産業社会論、④高度大衆消費社会と情報化、⑤環境と公害
3. 現代社会論：①逸脱とラベリング、②差別論、③ジェンダーとフェミニズム、④医療化
4. 現代家族論：①核家族と家族制度、②ライフサイクルとライフコース、③離婚と未婚、④高齢化と人口問題
5. 地域社会論：①シカゴ学派とアーバンイズム、②日本における都市－農村関係（過疎・過密と国土計画）、③まちづくりとQOL、④コミュニティ論と〈郊外〉
6. 国家とエスニシティ：①国民国家（日本）の成立過程、②エスニシティとしての〈沖縄〉、③グローバルゼーション

成績評価の方法

出席及び講義期間中に課すレポート、定期試験の結果で評価する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考書は開講時または講義期間中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学（福祉）	たかやしひろ 高橋良博	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。

- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
- 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
- 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
- 4 心理的援助技術の概要 ①心理療法（総論）心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論）精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』（中央法規）2,500円（税別）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
リハビリテーション論	こうごらいこ 向 後 礼 子	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

リハビリテーションには、医学・教育・職業・社会の4領域があるが、本講義では、職業リハビリテーションを中心に障害者が社会の中で働くということの意味を考える。併せて、障害者の就労を支える仕組みについて学ぶ。また、バリアフリーや障害理解の問題に関して、自分なりの考えを深めていく。

履修上の留意点

履修者には、リハビリテーション論で採りあげられるさまざまな問題を単なる知識として覚えるのではなく、自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中に随時指定する。

その他

基本的に講義形式で進める。履修人数によっては、履修者に発表などの活動を行ってもらおう。また、ビデオ等の視聴を含む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家庭福祉論	たけやまうめのり 武 山 梅 乗	社会福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、地域福祉及び在宅福祉施策の拠点とされる家族の諸問題を主として女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、家族という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 家庭福祉の視点：①家族福祉と家庭福祉、②家族と世帯(構造)、③核家族と家族の類型、⑥核家族の機能と構造、⑤家族周期とライフコース、⑥〈近代家族〉、⑦日本の家族制度
2. 女性と家庭福祉：①フェミニズムと家族、②女性労働と育児、③母子家庭の諸問題、④夫婦別姓と結婚の意義、⑤介護とジェンダー
3. 子どもと家庭福祉：①現代家族のゆらぎと子育て、②児童福祉の体系にみるこども観、③児童虐待、④ひとり親家族の子育て、⑤保育と療育、⑥子どもの教育と不登校
4. 高齢者と家庭福祉：①高齢者の家庭生活、②高齢者介護の諸問題、③高齢者の居住福祉
5. 国家・地域と家庭福祉、：①福祉国家論の中での家庭福祉、②日本における家族政策の変遷、③在宅福祉と地域、④家庭-地域福祉へ
6. 民間社会福祉と家庭福祉：①家庭福祉の市場性、②非営利セクターと家庭福祉

成績評価の方法

出席及び講義期間中に課すレポート、定期試験の結果で評価する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考書は開講時または講義期間中に随時指示する。